

NETGEAR®

Nighthawk X10 スマートWiFiルーター ユーザーマニュアル

R9000

2017年6月
202-11777-01

サポート

NETGEAR製品をお選びいただきありがとうございます。<https://www.netgear.jp/supportInfo/>にアクセスしていただくと、本製品の登録、サポート情報の入手、最新のダウンロードとユーザーマニュアルの入手、弊社コミュニティへの参加を行っていただくことができます。正式なNETGEARサポートのリソースのみをご利用になるようお勧めします。

適合

現在のEU適合宣言については、http://kb.netgear.com/app/answers/detail/a_id/11621にアクセスしてください。

適合性

各種規格との適合に関する情報は、NETGEARのウェブサイト（<http://www.netgear.com/about/regulatory>）をご覧ください（英語）。

本製品をお使いになる前に、適合性の情報を読みください。

商標

© NETGEAR, Inc.、NETGEAR、およびNETGEARのロゴはNETGEAR, Inc.の商標です。NETGEAR以外の商標は参考目的のためにのみ使用されています。

目次

第1章 ハードウェアのセットアップ

同梱物の確認.....	10
前面.....	11
背面.....	13
ルーターの設置.....	14
ケーブルの接続.....	15
LEDオン/オフスイッチの切り替え、またはLEDの点滅の無効化.....	15
LEDのオン/オフの切り替え.....	15
LEDの点滅の有効化/無効化、またはLEDのオフ.....	16

第2章 ネットワークへの接続とルーターへのアクセス

ネットワークへの接続.....	18
有線接続.....	18
無線LAN接続.....	18
WPSを使用した無線LAN接続.....	18
ラベル.....	19
ログインのタイプ.....	19
ウェブブラウザーからルーターへのアクセス.....	19
自動インターネットセットアップ.....	20
ルーターへのログイン.....	21
NETGEAR Upアプリを使用したルーターのインストール.....	21
言語の変更.....	22
NETGEAR genieアプリを使用したルーターへのアクセス.....	22

第3章 インターネット設定の指定

インターネットセットアップウィザードの使用.....	25
インターネット接続の手動設定.....	25
ログインを必要としないインターネット接続の指定.....	25
ログインを必要とするインターネット接続の指定.....	26
IPv6インターネット接続の指定.....	28
IPv6アドレスの入力要件.....	29
自動設定を使用したIPv6インターネット接続.....	29
自動検出を使用したIPv6インターネット接続.....	30
IPv6 6to4トンネルインターネット接続の設定.....	31
IPv6 6rdインターネット接続の設定.....	32
IPv6 パススルーインターネット接続の設定.....	34
IPv6 固定インターネット接続の設定.....	34
IPv6 DHCPインターネット接続の設定.....	36
IPv6 PPPoEインターネット接続の設定.....	37
MTUサイズの変更.....	38

第4章 インターネットアクセスの管理

ペアレンタルコントロールの設定.....	42
ネットワークへのアクセスの許可または禁止.....	43
キーワードを使用したインターネットサイトのブロック.....	44
インターネットからのサービスのブロック.....	45
ブロックするキーワードの削除.....	46
信頼できるPCでのブロックの回避.....	46
ネットワークのアクセス制御リストの管理.....	47
インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定.....	48
セキュリティイベントのメール通知の設定.....	48

第5章 ネットワーク設定

WAN設定の表示または変更.....	52
デフォルトDMZサーバーの設定.....	53
ルーター名の変更.....	53
LAN TCP/IP設定の変更.....	54
ルーターが割り当てるIPアドレスの指定.....	55
ルーターのDHCPサーバー機能の無効化.....	56
予約LAN IPアドレスの管理.....	57
IPアドレスの予約.....	57
予約IPアドレスの編集.....	58
予約IPアドレスエントリの削除.....	58
無線LAN接続でのWPSウィザードの使用.....	59
基本ワイヤレス設定.....	59
ワイヤレス転送速度の変更.....	61
ワイヤレスパスワードまたはセキュリティレベルの変更.....	61
ゲストネットワークの設定.....	62
無線LANのオン/オフ.....	63
無線LANオン/オフボタンの使用.....	63
無線LANの有効化または無効化.....	63
無線LANスケジュールの設定.....	64
WPS設定.....	65
無線LANアクセスポイントとしてのルーターの使用.....	66
ルーターのブリッジモードの設定.....	66
ポートグループまたはVLANタググループのブリッジの設定.....	68
ポートグループのブリッジの設定.....	68
VLANタググループのブリッジの設定.....	69
イントラネットポートをリースするためのIPTVポートの設定.....	71
カスタムの静的ルート.....	72
静的ルートの設定.....	72
静的ルートの編集.....	73
静的ルートの削除.....	74
リンクアグリゲーション.....	74
イーサネットポートアグリゲーションのセットアップ.....	75
リンクアグリゲーションステータスの表示.....	75
リンクアグリゲーションのルーターの設定の変更.....	76

第6章 パフォーマンスの最適化

Dynamic QoSによるインターネットトラフィック管理の最適化.....	78
Dynamic QoSの有効化.....	78
自動QoSデータベースアップデートの有効化または無効化.....	79
Dynamic QoSデータベースの手動アップデート.....	79
Dynamic QoSアナリティクスへの参加.....	80
Universal Plug and Playによるネットワーク接続の改善.....	80
Wi-FiマルチメディアのQoS.....	81

第7章 ネットワークの管理

ルーターファームウェアのアップデート.....	84
最新ファームウェアのチェックとルーターの更新.....	84
手動によるルーターへのファームウェアのアップロード.....	85
管理者パスワードの変更とパスワードの復元有効化.....	85
パスワード復元の設定.....	86
管理者パスワードの復元.....	87
ルーターステータスの表示.....	87
インターネットポート統計の表示.....	88
インターネット接続ステータスの確認.....	89
ルーターактивитиのログの表示と管理.....	90
ネットワーク上にある機器の表示.....	91
インターネットトラフィックの監視トラフィックメーター.....	92
ルーター設定ファイルの管理.....	93
設定のバックアップ.....	93
現在の設定の消去.....	93
設定の復元.....	94
リモートアクセス.....	95
リモート管理の設定.....	95
リモートアクセスの使用.....	96
デスクトップNETGEAR genieアプリを使用したリモートアクセス.....	96

第8章 ルーターに接続されたUSBストレージドライブの共有

USBドライブの要件.....	98
ルーターへのUSBストレージドライブの接続.....	98
ルーターに接続されたストレージドライブへのWindows PCからのアクセス....	99
WindowsネットワークドライブへのUSBドライブの割り当て.....	99
ルーターに接続されたストレージドライブへのMacからのアクセス.....	100
ReadySHARE Vaultを使用したWindows PCのバックアップ.....	100
Time Machineを使用したMacのバックアップ.....	101
MacでのUSBハードドライブの設定.....	101
大量のデータのバックアップ準備.....	102
Time Machineを使用したUSBドライブへのバックアップ.....	102
ドライブ全体またはファイルのAmazon Driveへのバックアップ.....	103
ネットワーク内でのFTPの使用.....	105
ストレージドライブのネットワークフォルダーの表示または変更.....	105
USBストレージドライブへのネットワークフォルダーの追加.....	106
USBストレージドライブでのネットワークフォルダーの編集.....	107

NETGEARダウンローダーの設定.....	107
NETGEAR Downloaderを使用したファイルのダウンロード.....	107
NETGEAR Downloaderの設定の変更.....	108
NETGEAR Downloaderのメール通知の設定.....	109
NETGEARダウンローダーのタスクの管理.....	109
USBストレージドライブの安全な取り外し.....	110

第9章 ダイナミックDNSを使用したインターネットからのUSBストレージドライブへのアクセス

ダイナミックDNSの設定と管理.....	112
インターネットからのFTPアクセスの設定.....	112
個人用FTPサーバー.....	113
個人用FTPサーバーの設定.....	113
新しいダイナミックDNSアカウントの設定.....	114
すでに作成したDNSアカウントの指定.....	114
ダイナミックDNS設定の変更.....	115
インターネットからのUSBストレージドライブへのアクセス.....	117
ReadyCLOUDを使用したUSBドライブへのリモートアクセス.....	117
ReadyCLOUDアカウントの作成.....	117
ReadyCLOUDへのルーターの登録.....	118

第10章 メディアサーバーとしてのルーターの使用

Plex Media Serverのセットアップ.....	120
USBハードドライブを使用したPlex Media Serverのセットアップ.....	120
ネットワークドライブを使用したPlexのセットアップ.....	121
ReadyDLNAメディアサーバーの設定.....	123
iTunesサーバーを使用したストレージドライブからの音楽再生.....	124
iTunesを使用したルーターのiTunesサーバーの設定.....	124
Remoteアプリを使用したルーターのiTunesサーバーの設定.....	125
NTPサーバーの変更.....	126

第11章 USBプリンターの共有

プリンタードライバーのインストールとプリンターのケーブル接続.....	129
ReadySHAREプリントユーティリティのダウンロード.....	129
ReadySHAREプリントユーティリティのインストール.....	130
NETGEAR USB Control Centerを使用した印刷.....	131
プリンターのステータスの表示または変更.....	132
多機能USBプリンターのスキャン機能の使用.....	133
NETGEAR USB Control Center設定の変更.....	133
NETGEAR USB Control Centerの自動起動の無効化.....	133
NETGEAR USB Control Centerの言語の変更.....	134
USB Control Centerのタイムアウトの指定.....	134

第12章 VPNを使用したネットワークへのアクセス

VPN接続の設定.....	136
ルーターでのVPNサービスの設定.....	136
OpenVPNソフトウェアのインストール.....	137
Windows PCへのOpenVPNソフトウェアのインストール.....	137

MacへのOpenVPNソフトウェアのインストール.....	140
iOSデバイスへのOpenVPNソフトウェアのインストール.....	141
AndroidデバイスへのOpenVPNソフトウェアのインストール.....	141
Windows PCでのVPNトンネルの使用.....	142
ルーターのUSB対応機器とメディアへのVPNを使用したアクセス.....	144
VPNを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス.....	144
ルーターでのVPNクライアントインターネットアクセスの設定.....	145
ルーターでのVPNクライアントインターネットアクセスの禁止.....	145
VPNトンネルを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス.....	146
VPNパススルー設定の変更.....	146

第13章 ポートのインターネットトラフィックルールのカスタマイズ

ローカルサーバーへのポート転送.....	149
ローカルサーバーへのポート転送の設定.....	149
ポート転送の追加.....	150
ポート転送の編集.....	151
ポート転送の削除.....	151
適用例：ローカルウェブサーバーの公開.....	152
ルーターでのポート転送ルールの実行方法.....	152
ポートトリガー.....	152
ポートトリガーの追加.....	153
ポートトリガーの有効化.....	154
適用例：インターネットリレーチャットのためのポートトリガー.....	154

第14章 トラブルシューティング

トラブルシューティングのヒント.....	157
ネットワークを再起動する手順.....	157
LANケーブルの接続の確認.....	157
ワイヤレス設定.....	157
ネットワーク設定.....	157
LEDを使用したトラブルシューティング.....	157
ルーターの電源を入れたときのLEDの動作.....	158
電源LEDが消灯または点滅している.....	158
LEDが消灯しない.....	158
インターネットまたはLANポートのLEDが消灯している.....	158
無線LAN LEDが消灯している.....	159
ルーターにログインできない.....	159
インターネットにアクセスできない.....	160
インターネット閲覧のトラブルシューティング.....	161
変更が保存されない.....	161
無線LAN接続のトラブルシューティング.....	162
pingユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング.....	162
ルーターへのLANのパスのテスト.....	162
PCからリモート機器へのパスのテスト.....	163
Plexアカウントへのログイン時の404エラーメッセージに対するトラブルシューティング.....	164

第 15 章 補足情報

工場出荷時の設定.....	166
技術仕様.....	167

ハードウェアのセットアップ

1

この章には次の内容が含まれます。

- [同梱物の確認](#) (10ページ)
- [前面](#) (11ページ)
- [背面](#) (13ページ)
- [ケーブルの接続](#) (15ページ)
- [ルーターの設置](#) (14ページ)
- [LEDオン/オフスイッチの切り替え、またはLEDの点滅の無効化](#) (15ページ)

このマニュアルに掲載されている内容の詳細については、サポートウェブサイト (<http://www.netgear.jp/supportInfo/>) を参照してください。

同梱物の確認

パッケージには、Nighthawk X10スマートWiFiルーター、電源アダプタ、黄色のLANケーブルが含まれています。



図1：同梱物の確認

前面

ステータスLEDはルーターの上部にあります。USBポートはルーターの側面にあります。

4つのアクティブなアンテナにもLEDがあります。アクティブなアンテナのLEDが点灯した場合、無線LANが動作しています。



図2：前面

表1：LEDの説明

LED	説明
電源 ①	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯 ルーターは使用できる状態です。 白点滅 ルーターが使用できない状態、ファームウェアが更新中、またはリセットボタンが押されました。 消灯 ルーターは給電されていません。
インターネット ②	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯 イーサネット接続が確立されています。 白点滅 ポートは、トライフィックを送信または受信しています。 消灯 モデムとルーターの間にイーサネットケーブルが接続されていません。

表1: LEDの説明(続き)

LED	説明
2.4 GHz無線LAN 2.4 GHz	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯 2.4 GHz無線LANが動作しています。 点滅 ルーターは、ワイヤレストラフィックを送信または受信しています。 消灯 2.4 GHz無線LANがオフです。
5 GHz無線LAN 5 GHz	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯 5 GHz無線LANが動作しています。 点滅 ルーターは、ワイヤレストラフィックを送信または受信しています。 消灯 5 GHz無線LANがオフです。
60 GHz無線LAN 60 GHz	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯 60 GHz無線LANが動作しています。 点滅 ルーターは、ワイヤレストラフィックを送信または受信しています。 消灯 60 GHz無線LANがオフです。
ゲストWiFi Guest WiFi	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯 2.4 GHzゲスト無線LANまたは5 GHzゲスト無線LANが動作しています。 消灯 ゲスト無線LANがオフです。
USB 3.0ポート1とUSB 3.0ポート2 USB 3.0 ¹ USB 3.0 ²	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯 USB対応機器が接続され、使用できる状態です。 点滅 USB対応機器が差し込まれ、接続を試みています。 消灯 USB対応機器が接続されていないか、【ハードウェアの安全な取り外し】ボタンがクリックされて、接続されたUSB対応機器を安全に取り外せる状態になっています。
10G 10G	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯 電源の入っている機器が10G LAN SFP+ポートに接続されています。 点滅 ポートは、トラフィックを送信または受信しています。 消灯 機器が10G LAN SFP+ポートに接続されていません。
イーサネットポート1-4 1 2 3 4 5 6	<p>LEDの色は速度を示します。ギガビットイーサネット接続は白、10/100 Mbpsイーサネット接続の場合はオレンジです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 点灯 電源の入っている機器がLANポートに接続されています。 点滅 ポートは、トラフィックを送信または受信しています。 消灯 LANポートに機器が接続されていません。

表1: LEDの説明(続き)

LED	説明
無線LANオン/オフボタンとLED ((•))	このボタンを2秒間押すと、2.4GHz、5GHz、および60GHz無線LANのオンとオフが切り替えられます。 このLEDが点灯している場合、無線LANはオンです。このLEDが消灯している場合、無線LANはオフであり、無線でルーターに接続できません。
WPSボタンとLED “(☞)”	このボタンを使用すると、ネットワークキー（パスワード）を入力しなくても、WPSを使用して無線LAN子機をネットワークに接続することができます。WPS処理中はWPS LEDが白で点滅し、その後白で点灯します。

注 LEDオン/オフスイッチをオフの位置に移動した場合、電源LEDを除くすべてのLEDが消灯します。

背面

背面の接続ポートとボタンを次の図に示します。



図3: 背面

左から右へ、背面には以下の機能が搭載されています。

- LEDオン/オフスイッチ**: このスイッチがオフになっている場合、4つのアクティブなアンテナのLEDを含むルーターのすべてのLEDがオフになりますが、電源のLEDはオフなりません。
- リセットボタン**: リセットボタンを押すと、ルーターがリセットされます。リセットボタンを7秒以上押し続けると、電源LEDが白で点滅し、ルーターが工場出荷時の設定に戻ります。工場出荷時の設定については、[工場出荷時の設定](#) (166ページ) を参照してください。
- イーサネットポート**: ルーターをLANデバイスに接続するための6ギガビットイーサネットRJ-45 LANポート。イーサネットポートのアグリゲーションはデフォルトで有効になっています。イーサネットアグリゲーションポート1および2を使用して、イーサネットポートのアグリゲーションをサポートするデバイスをルーターに接続します。イーサネットポート3、4、5、6は非アグリゲーションイーサネットポートです。
- インターネットポート**: ルーターをケーブルモ뎀に接続するための、1つのギガビットイーサネットRJ-45 WANポート。
- 10G LAN SFP+ポート**: SFP+モジュールを接続するための1つの10G LAN SFP+ポート。

ハードウェアのセットアップ

- 電源ボタン：ルーターの電源をオンにするには、電源ボタンを押します。
- 電源ジャック：製品パッケージに付属している電源アダプタを電源ジャックに接続します。

ルーターの設置

ルーターを使用すると、無線の届く範囲であればどこからでもネットワークにアクセスすることができます。ただし、ワイヤレス接続機器の操作距離や範囲はルーターの物理的配置によって大きく異なります。

11adの高度な機能をフル活用するには、接続先の11ad対応機器から遮るものがない6m以内の場所にルーターを配置する必要があります。

さらに、次のガイドラインに従ってルーターを配置してください。

- PCやその他の無線LAN機器が動作するエリアの中心近くで、無線LAN機器から見通しの良い範囲内に、ルーターを設置します。
- 電源コンセントに差し込みやすく、有線で接続する場合はルーターがLANケーブルの接続しやすい場所にあることを確認します。
- ルーターを高い場所に設置して、ルーターとその他の機器との間にある壁や天井の数をできるだけ少なくします。
- ルーターを次のような電子機器から離して設置します。
 - 天井のファン
 - ホームセキュリティシステム
 - 電子レンジ
 - PC
 - コードレス電話機の親機
 - 2.4 GHzのコードレス電話機
- ルーターを大きな金属面、大きなガラス面、断熱壁、および次のような物から離して設置します。
 - 金属製のドア
 - アルミニウム製の柱
 - 水槽
 - 鏡
 - レンガ
 - コンクリート

次のような要因で無線の届く範囲が制限されることがあります。

- 無線信号が通過する壁の厚さや数。
- 自宅内や周囲に他の無線LANアクセスポイントがあると、ルーターの信号が影響を受ける場合があります。
無線LANアクセスポイントとは、ルーター、リピーター、ワイヤレスエクステンダー（無線LAN中継機）、およびネットワークアクセス用の無線LAN信号を放出するその他の機器のことです。

ハードウェアのセットアップ

ケーブルの接続

ルーターの電源を入れ、モデムに接続します。



▶ ルーターを接続するには

1. モデムの電源をオフにします。モデムがすでに別のルーターに接続されている場合は、モデムとルーターの間に接続されているLANケーブルを外します。モデムにはインターネットサービスの壁の差し込み口にのみケーブルが接続されているようにします。
2. モデムに電源コードを接続し、電源を入れます。
3. ルーターに同梱の黄色のLANケーブルを使用して、モデムとルーターのインターネットポートを接続します。
4. ルーターに電源コードを接続します。
5. ルーターの背面にある電源ボタンを押します。

LEDオン/オフスイッチの切り替え、またはLEDの点滅の無効化

ルーターの背面にある**LEDオン/オフスイッチ**を使用して、ルーターLEDをオフにすることができます。ルーターにログインしてLEDの点滅を有効または無効にすることもLEDをオフにすることもできます。

LEDのオン/オフの切り替え

4つのアクティブなアンテナのLEDを含めて、LEDをオフにするには、ルーターの背面パネルにある**LEDオン/オフスイッチ**を使用します。**LEDオン/オフスイッチ**がオフの位置にある場合でも、電源LEDは点灯したままになります。

▶ LEDのオン/オフを切り替えるには

背面の**LEDオン/オフスイッチ**をオンまたはオフの位置に移動します。



LEDの点滅の有効化/無効化、またはLEDのオフ

ルーターにログインして、LEDの点滅を有効または無効にします。 LEDをオフにすることもできます。

▶ルーターのウェブインターフェースを使用して、LEDの点滅を無効にするか、LEDをオフにするには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。 デフォルトのパスワードは「**password**」です。 ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [LEDコントロール設定] を選択します。
[LEDコントロール設定] ページが表示されます。
5. LED制御設定を選択します。
 - データトラフィックが検出されたときのインターネットLED、LANポートLED、ワイヤレスLED、USBポートLEDの点滅を有効にする：標準のLED動作を許可します。 この設定はデフォルトでは有効になっています。
 - データトラフィックが検出されたときのインターネットLED、LANポートLED、ワイヤレスLED、USBポートLEDの点滅を無効にする：データトラフィックを検出したときの点滅が無効になります。
 - 電源LED以外のすべてのLEDをオフにする：電源LED以外のすべてのLEDがオフになります。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ネットワークへの接続とルーターへのアクセス

2

子機からルーターへLANケーブルを使って有線で接続するか、無線で接続することができます。この章では、接続の方法とルーター管理画面（NETGEAR genie）にアクセスしてログインする方法について説明します。

この章には次の内容が含まれます。

- ネットワークへの接続（18ページ）
- ログインのタイプ（19ページ）
- ウェブブラウザーからルーターへのアクセス（19ページ）
- NETGEAR Upアプリを使用したルーターのインストール（21ページ）
- 言語の変更（22ページ）
- NETGEAR genieアプリを使用したルーターへのアクセス（22ページ）

ネットワークへの接続

有線または無線でルーターのネットワークに接続することができます。固定IPアドレスを使用するように子機を設定している場合は、DHCPを使用するように設定を変更します。

有線接続

子機とルーターを有線で接続し、ルーターのローカルエリアネットワーク（LAN）に接続することができます。

ルーターには6個のイーサネットポートがあります。ポート1と2は、イーサネットLANポートまたはアグリゲーションポートとして使用し、ポートアグリゲーション（LACP）をサポートするNASまたはスマートスイッチに接続することができます。

▶子機とルーターを有線で接続するには

1. ルーターの電源が入っていること（電源LEDが点灯していること）を確認します。
2. LANケーブルを子機のLANポートに接続します。
3. イーサネットケーブルの他端をルーターのイーサネットポート3に接続します。

注 リンクアグリゲーションで最大のパフォーマンスを実現するには、1台目のPCの有線接続にはLANポート3を、2台目以降のPCの有線接続にはLANポート4、5、6の順に使用することを推奨します。ポート4、5、6間の最大速度は1Gbpsに制限されます。

無線LAN接続

▶手動で無線LANネットワークを探して接続します。

1. ルーターの電源が入っていること（電源LEDが点灯していること）を確認します。
2. 無線LAN子機のワイヤレスネットワーク接続から、ルーターの無線LANのネットワークを見つけて選択します。
無線LANのネットワーク名は、ルーターのラベルに記載されています。
3. ネットワークキー（パスワード）を入力します。
ネットワークキー（パスワード）は、ルーターのラベルに記載されています。
無線LAN子機が無線LANネットワークに接続されます。

WPSを使用した無線LAN接続

無線でルーターに接続するには、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を使用するか、または手動でルーターのネットワークを選択して接続します。

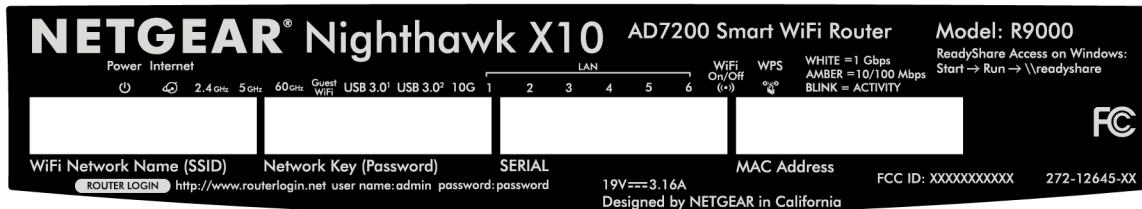
▶WPSを使用してネットワークに接続します。

1. ルーターの電源が入っていること（電源LEDが点灯していること）を確認します。
2. 無線LAN子機のWPS手順を確認します。
3. ルーターのWPSボタンを押します。
4. 2分以内に、無線LAN子機のWPSボタンを押すか、WPS接続の手順に従います。
無線LAN子機が無線LANネットワークに接続されます。

ラベル

ルーターのラベルには、ログイン情報、無線LANのネットワーク名とネットワークキー（パスワード）、MACアドレス、シリアル番号が記載されています。

図4：製品ラベル



ログインのタイプ

目的に応じて異なるログインの種類があります。それぞれの違いを理解して、いつどのログインを使用するのかを判断することが重要です。

ルーターのログインの種類

- **プロバイダーログイン**：プロバイダーから郵送などで送られてくるログイン情報を使用して、インターネットサービスにログインします。ログイン情報が見つからない場合は、プロバイダーに直接問い合わせてください。
- **ネットワークキーまたはパスワード**：ルーターには、無線LANアクセスのための固有のネットワーク名（SSID）とパスワードがあらかじめ設定されています。この情報は、ルーターに貼られているラベルに記載されています。
- **ルーターログイン**：これにより、管理者としてウェブブラウザーからルーターの管理画面（NETGEAR genie）にログインします。

ウェブブラウザーからルーターへのアクセス

Wi-Fiまたはイーサネットケーブルでネットワークに接続し、ウェブブラウザーを使用してルーターにアクセスすると、その設定の確認や変更を行うことができます。ルーターにアクセスすると、ルーターがインターネットサービスに接続できるかどうかが自動的にチェックされます。

自動インターネットセットアップ

ルーターを自動的にセットアップすることも、ウェブブラウザーを使ってルーターにアクセスして手動でルーターをセットアップすることもできます。セットアップ手順を開始する前に、プロバイダー情報を入手し、ネットワーク上の無線LAN子機がここで説明するとおりの設定であることを確認します。

インターネットサービスを開始するとき、インターネットに接続するために必要なすべての情報は、通常、プロバイダーから提供されます。DSLサービスの場合は、ルーターをセットアップするために次の情報が必要になることがあります。

- DSLアカウントのプロバイダー設定情報
- プロバイダーのログイン名とパスワード
- 固定または静的IPアドレス設定（プロバイダーによりごく稀に必要になります）

この情報が確認できない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。インターネット接続が有効であれば、インターネットにアクセスするためにプロバイダーのログインプログラムを起動する必要はなくなります。インターネットアプリケーションを起動すると、ご利用のルーターは自動的にログインします。

NETGEAR genieはWebブラウザのあるすべての機器で実行することができます。インストールおよび基本セットアップは完了するまでに15分程度かかります。

▶ルーターを自動的にセットアップするには

1. ルーターの電源が入っていることを確認します。
2. 無線LAN子機がLANケーブル（有線）または無線でルーターに接続されていること、また無線接続の場合、ルーターのラベルに記載されているセキュリティ設定が使用されていることを確認します。

注 ルーターの無線LAN設定を変更する場合は、有線接続を使用してください。これは、新しい無線LAN設定が有効になるときに無線LAN接続が切断されることを避けるためです。

3. ウェブブラウザーを起動します。
これまでにルーターにアクセスしたことがあるかどうかによって表示されるページが異なります。
 - ルーターのインターネット接続を初めて設定するときは、自動的に<http://www.routerlogin.net>に移動して、セットアップウィザードが表示されます。
 - インターネット接続の設定が完了している場合は、ブラウザーのアドレス欄に「<http://www.routerlogin.net>」と入力してインストールプロセスを開始します。
4. 画面に表示される指示に従います。
ルーターがインターネットに接続されます。
5. ブラウザーにルーターのページが表示されない場合は、次の操作を実行します。
 - 無線LAN子機がルーターのLANポートに有線で接続しているか、または無線で接続していることを確認します。
 - ルーターの電源が入っていること、および電源LEDが点灯していることを確認します。
 - ブラウザーを閉じて開き直すか、またはブラウザーのキャッシュをクリアします。
 - ブラウザーのアドレス欄に正しいアドレスが入力されていることを確認します。

- PCが静的または固定IPアドレスに設定されている場合（稀です）、IPアドレスをルーターから自動的に取得するように変更します。

- ルーターがインターネットに接続していない場合は、次の操作を行います。
 - 設定を確認します。適切なオプションを選択していて、すべてを正しく入力していることを確認します。
 - プロバイダーに問い合わせて、正しい設定情報を使用していることを確認します。
 - インターネットにアクセスできない（160ページ）を参照します。問題が継続する場合は、NETGEAR 製品を登録し、NETGEAR テクニカルサポートをご利用ください。

ルーターがインターネットに接続されると、無料のデスクトップNETGEARアプリと無料のReadySHARE Vaultアプリをダウンロードしてインストールするように促すメッセージが表示されます。

ルーターへのログイン

初めてルーターに接続してウェブブラウザーを起動すると、ルーターのウェブページが自動的に表示されます。後でルーターの設定を確認または変更する場合は、ブラウザーを使ってルーターのウェブページにログインできます。

▶ルーターにログインするには

- ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
- 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

注 「<http://www.routerlogin.com>」または「<http://192.168.1.1>」と入力することもできます。このマニュアルの手順では、<http://www.routerlogin.net>を使用します。

ログインウィンドウが開きます。

- ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

NETGEAR Upアプリを使用したルーターのインストール

NETGEAR Upアプリを使用して、ルーターを簡単にインストールすることができます。アプリはルーターを最新のファームウェアに自動的に更新するので、WiFiネットワークをカスタマイズし、ルーターをNETGEARに登録することもできます。

NETGEAR Upアプリは、iOSおよびAndroidモバイルデバイスで使用できます。

►NETGEAR Upアプリを使用してルーターをインストールするには

1. ルーターを接続します。
詳細については、[ケーブルの接続](#)（15ページ）を参照してください。
2. iOSまたはAndroidモバイルデバイスで、アーリストアに移動し、NETGEAR Upを検索してアプリをダウンロードします。
3. iOSまたはAndroidモバイルデバイスで、【設定】>【Wi-Fi】をタップし、ルーターのWiFiネットワークを見つけて接続します。
ルーターのWiFiネットワーク名（SSID）およびネットワークキー（パスワード）はルーターのラベルに記載されています。
4. モバイルデバイスでNETGEAR Upアプリを起動します。
5. アプリに表示される手順に従って、ルーターをインストールし、インターネットに接続します。

言語の変更

デフォルトでは、言語は【Auto】に設定されています。

►言語を変更します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. 右上隅にあるメニューから言語を選択します。
5. メッセージが表示されたら、【OK】ボタンをクリックします。
選択した言語でページが更新されます。

NETGEAR genieアプリを使用したルーターへのアクセス

デスクトップNETGEAR genieアプリは、ルーター管理画面（NETGEAR genie）の簡易版で、ホームネットワークの管理、監視、修復を行う使いやすいダッシュボードです。デスクトップNETGEAR genieアプリを使うと、次のようなことができます。

- 無線LANネットワークの一般的な問題を自動的に修復する。
- ペアレンタルコントロール、ゲストアクセス、インターネットトラフィックメーター、スピードテストなどのルーターの機能に簡単にアクセスする。

▶genieアプリを使用してルーターにアクセスするには

1. NETGEAR genieのウェブページ<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/netgear-genie/>にアクセスします。
2. 画面に表示される指示に従って、スマートフォンやタブレット、PCなどにアプリをインストールします。
3. デスクトップNETGEAR genieアプリを起動します。
デスクトップNETGEAR genieアプリのダッシュボードページが表示されます。

インターネット設定の指定

3

ルーターでインターネット接続を使用するように設定する場合は一般的に、ウェブブラウザーで初めてルーターにアクセスするときに、genieでインターネット接続を自動的に検出する方法が一番簡単です。また、手動でインターネット設定を行うこともできます。

この章には次の内容が含まれます。

- インターネットセットアップウィザードの使用 (25ページ)
- インターネット接続の手動設定 (25ページ)
- IPv6インターネット接続の指定 (28ページ)
- MTUサイズの変更 (38ページ)

インターネットセットアップウィザードの使用

セットアップウィザードを使用してインターネット設定を検出し、ルーターを自動的にセットアップできます。セットアップウィザードは、ルーターに最初に接続してセットアップするときに表示されるページとは異なります。

▶ セットアップウィザードを使用します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [セットアップウィザード] を選択します。
[セットアップウィザード] ページが表示されます。
5. [はい] ラジオボタンを選択します。
[いいえ] ラジオボタンを選択した場合は、[インターネット設定] ページに移動します（インターネット接続の手動設定（25ページ））。
6. [次へ] ボタンをクリックします。
セットアップウィザードは、サーバーとプロトコルに使用しているインターネット接続を検索し、お使いのインターネット設定を判別します。
ルーターがインターネットに接続されると、無料のデスクトップNETGEAR genieアプリと無料のReadySHARE Vaultアプリをダウンロードしてインストールするように促すメッセージが表示されます。

インターネット接続の手動設定

ルーターのインターネット接続設定を表示または変更することができます。

ログインを必要としないインターネット接続の指定

▶ インターネット接続設定を指定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

インターネット設定の指定

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [インターネット] を選択します。
[インターネット設定] ページが表示されます。
5. [お使いのインターネット接続はログインを必要としていますか?] セクションで、 [No] ラジオボタンを選択したままにします。
6. インターネット接続にアカウント名またはホスト名が必要な場合は、 [アカウント名（必要時のみ）] セクションの [編集] ボタンをクリックし、アカウント名を入力します。
7. インターネット接続にドメイン名が必要な場合は、 [ドメイン名（必要時のみ）] の欄に入力します。
このページの別のセクションは、通常はデフォルトの設定を使用できますが、変更することもできます。
8. [インターネットIPアドレス] のラジオボタンを選択します。
 - **プロバイダーから自動取得**：プロバイダーはDHCPを使用してIPアドレスを割り当てます。これらのアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
 - **IPアドレスを指定（固定）**：プロバイダーから割り当てられたIPアドレス、IPサブネットマスク、ゲートウェイIPアドレスを入力します。ゲートウェイは、お使いのルーターの接続先となるプロバイダーのルーターです。
9. [ドメインネームサーバー（DNS）アドレス] のラジオボタンを選択します。
 - **プロバイダーから自動取得**：プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
 - **DNSサーバーを指定（固定）**：プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。
10. [ルーターMACアドレス] のラジオボタンを選択します。
 - **デフォルトのアドレスを使う**：デフォルトのMACアドレスを使用します。
 - **PCのMACアドレスを使用**：ルーターは、現在使用中のPCのMACアドレスを取得し、使用します。プロバイダーから許可されたPCを使用する必要があります。
 - **このMACアドレスを使用**：使用したいMACアドレスを入力します。
11. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
12. [テスト] ボタンをクリックしてインターネット接続をテストします。
1分以内にNETGEARのウェブサイトが表示されない場合は、[インターネットにアクセスできない](#) (160ページ) を参照してください。

ログインを必要とするインターネット接続の指定

►インターネット設定を表示または変更します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [インターネット] を選択します。

[インターネット設定] ページが表示されます。

5. [お使いのインターネット接続はログインを必要としていますか？] セクションで [はい] ラジオボタンを選択します。

6. [インターネットサービスプロバイダー] メニューで、エスカレーション方法として [PPPoE] または [マルチPPTP] を選択します。

7. [ログイン] 欄に、プロバイダーから提供されたログイン名を入力します。

通常、このログイン名はメールアドレスです。

8. [パスワード] 欄に、インターネットサービスへのログインに使用するパスワードを入力します。

9. プロバイダーからサービス名を提供された場合は、[サービス名（必要時のみ）] 欄に入力します。

10. [接続モード] ドロップダウンリストで、[常時接続]、[要求に応じダイヤル]、または [手動接続] を選択します。

11. インターネットのログインがタイムアウトするまでの時間（分）を変更するには、[アイドルタイムアウト（分）] 欄に時間（分）を入力します。

これは、ネットワーク上でだれもインターネット接続を使用していないときにルーターがインターネット接続を維持しておく時間です。0（ゼロ）の値は、ログアウトしないことを意味します。

12. [インターネットIPアドレス] のラジオボタンを選択します。

- **プロバイダーから自動取得**：プロバイダーはDHCPを使用してIPアドレスを割り当てます。これらのアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
- **IPアドレスを指定（固定）**：プロバイダーから割り当てられたIPアドレス、IPサブネットマスク、ゲートウェイIPアドレスを入力します。ゲートウェイは、お使いのルーターの接続先となるプロバイダーのルーターです。

13. [ドメインネームサーバー（DNS）アドレス] のラジオボタンを選択します。

- **プロバイダーから自動取得**：プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
- **DNSサーバーを指定（固定）**：プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。

14. [ルーターMACアドレス] のラジオボタンを選択します。

- **デフォルトのアドレスを使う**：デフォルトのMACアドレスを使用します。
- **PCのMACアドレスを使用**：ルーターは、現在使用中のPCのMACアドレスを取得し、使用します。プロバイダーから許可されたPCを使用する必要があります。
- **このMACアドレスを使用**：使用したいMACアドレスを入力します。

15. [適用] ボタンをクリックします。

インターネット設定の指定

設定が保存されます。

16. [テスト] ボタンをクリックしてインターネット接続をテストします。

1分以内にNETGEARのウェブサイトが表示されない場合は、[インターネットにアクセスできない](#) (160ページ) を参照してください。

IPv6インターネット接続の指定

ルーターでIPv6インターネット接続が自動的に検出されない場合は、これを設定することができます。

▶ IPv6インターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、IPv6の接続タイプを選択します。
 - 不明な場合は、【自動検出】を選択するとルーターが使用中のIPv6タイプを検出します。
 - インターネット接続でPPPoEまたはDHCPを使用しない、またはインターネット接続が固定されていないが、IPv6である場合は、【自動設定】を選択します。

この情報はご利用のプロバイダーから提供してもらうことができます。IPv6インターネット接続についての詳細は、次のセクションを参照してください。

- [自動検出を使用したIPv6インターネット接続](#) (30ページ)
- [自動設定を使用したIPv6インターネット接続](#) (29ページ)
- [IPv6 6to4トンネルインターネット接続の設定](#) (31ページ)
- [IPv6 6rdインターネット接続の設定](#) (32ページ)
- [IPv6 パススルーインターネット接続の設定](#) (34ページ)
- [IPv6 固定インターネット接続の設定](#) (34ページ)
- [IPv6 DHCPインターネット接続の設定](#) (36ページ)
- [IPv6 PPPoEインターネット接続の設定](#) (37ページ)

6. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

IPv6アドレスの入力要件

IPv6アドレスは、4つの16進数を一組とした8つのグループをコロンで区切って表されます。IPv6アドレス内の4桁がゼロのグループは、1つのゼロにまとめたり、すべて省略したりできます。次のエラーがあるとIPv6アドレスは無効になります。

- 4桁の16進数のグループが9つ以上ある
- 1つのグループに16進数の英数字が5つ以上ある
- 1行にコロンが3つ以上ある

自動設定を使用したIPv6インターネット接続

▶自動設定を使用してIPv6インターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[自動設定] を選択します。
ページの表示が変更されます。
以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。
 - **ルーターのIPv6アドレス (WAN側)** : この欄には、ルーターのWAN (またはインターネット) インターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
 - **ルーターのIPv6アドレス (LAN側)** : この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
6. (オプション) [DHCPユーザークラス (必要時のみ)] 欄に、ホスト名を入力します。
ほとんどの場合、この欄は空白のままにできますが、プロバイダーから特定のホスト名を提供された場合はここに入力します。
7. (オプション) [DHCPドメイン名 (必要時のみ)] 欄に、ドメイン名を入力します。
ご利用のIPv6プロバイダーのドメイン名を入力できます。ここにはIPv4プロバイダーのドメイン名を入力しないでください。例えば、ご利用のプロバイダーのメールサーバーがmail.xxx.yyy.zzzである

場合は、「xxx.yyy.zzz」をドメイン名として入力します。プロバイダーからドメイン名を提供されている場合は、それをこの欄に入力します。例えば、Earthlink Cableではホームのホスト名が必要であり、Comcastではドメイン名が提供されることがあります。

8. [IPアドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。

- **DHCPサーバーを使う**：この方法では、LAN上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定**：これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。

9. (オプション) [このインターフェイスIDを使う] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。
ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

10. [IPv6フィルタ] ラジオボタンを選択します。

- **セキュア**：デフォルトのモードであるセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- **オープン**：オープンモードでは、ルーターはUDPパケットのみを検査します。

11. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

自動検出を使用したIPv6インターネット接続

▶自動検出を使用してIPv6インターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[自動検出] を選択します。
ページの表示が変更されます。
以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。

- **接続タイプ** この欄は、検出された接続タイプを示します。
- **ルーターのIPv6アドレス（WAN側）**：この欄には、ルーターのWAN（またはインターネット）インターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
- **ルーターのIPv6アドレス（LAN側）**：この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。

6. [IPアドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。

- **DHCPサーバーを使う**：この方法では、LAN上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定**：これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。

7. (オプション) [このインターフェイスIDを使う] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。
ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

8. [IPv6フィルタ] ラジオボタンを選択します。

- **セキュア**：デフォルトのモードであるセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- **オープン**：オープンモードでは、ルーターはUDPパケットのみを検査します。

9. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

IPv6 6to4トンネルインターネット接続の設定

リモートリレールーターとは、ルーターによる6to4トンネルの作成先となるルーターです。IPv6接続に6to4トンネル設定を適用する前に、IPv4インターネット接続が機能していることを確認します。

▶6to4トンネルを使用してIPv6インターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。

インターネット設定の指定

5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[6to4 Tunnel] を選択します。

ページの表示が変更されます。

ルーターは、[Router's IPv6 Address on LAN] 欄の情報を自動的に検出します。この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。

6. [リモート6to4リレールーター] のラジオボタンを選択します。

- **自動**：ルーターはインターネット上で利用可能な任意のリモートリレールーターを使用します。これはデフォルトの設定です。
- **静的IPアドレス**：リモートリレールーターの静的IPv4アドレスを入力します。このアドレスは通常、IPv6プロバイダーから提供されます。

7. [IPアドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。

- **DHCPサーバーを使う**：この方法では、LAN上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定**：これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。

8. (オプション) [このインターフェイスIDを使う] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

9. [IPv6フィルタ] ラジオボタンを選択します。

- **セキュア**：デフォルトのモードであるセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- **オープン**：オープンモードでは、ルーターはUDPパケットのみを検査します。

10. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

IPv6 6rdインターネット接続の設定

6rdプロトコルを使うと、サービスプロバイダーのIPv4ネットワークを使用するサイトにIPv6を導入することができます。6rdでは、サービスプロバイダー独自のIPv6アドレスプレフィックスを使用します。このため、6rdの運用範囲はサービスプロバイダーのネットワークに限定され、サービスプロバイダーの直接的な管理下に置かれます。提供されるIPv6サービスはネイティブのIPv6と同じです。6rdのメカニズムは、サービスプロバイダーのネットワーク内で使用するように割り当たられるIPv6アドレスとIPv4アドレスの間のアルゴリズムマッピングに依存しています。このマッピングにより、IPv6プレフィックスからIPv4のトンネルエンドポイントを自動的に判別することが可能になり、6rdのステートレスな運用ができます。

6rdのトンネル設定では、ルーターはRFC5969標準に従い、6rdトンネルのIPv6WAN接続を確立する2つの方法をサポートします。

- **自動検出モード**：IPv6の自動検出モードでは、ルーターがDHCPv4オプションからオプション212を受信すると、自動検出によってIPv6が6rdのトンネル設定として選択されます。ルーターは、6rdのオプションの情報を使用して6rdの接続を確立します。
- **手動モード**：【6rdトンネル】を選択します。ルーターがオプション212を受信した場合、欄は自動的に入力されます。それ以外の場合は、6rdの設定を入力する必要があります。

▶ IPv6 6rdインターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、【6rd】を選択します。
ページの表示が変更されます。
ページの表示が変更されます。以下のセクションの情報がルーターによって自動的に検出されます。
 - **6rd (IPv6 Rapid Development) の設定**：ルーターはサービスプロバイダーのIPv4ネットワークを検出し、IPv6 6rd トンネル接続を確立しようとします。IPv4ネットワークからルーターに6rdパラメーターが返された場合は、ページの表示が変更されてこのセクションに正しい設定が表示されます。
 - **ルーターのIPv6アドレス (LAN側)**：この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には【利用不可】と表示されます。
6. [IPv6ドメインネームサーバー (DNS) アドレス] のラジオボタンを選択します。
 - **プロバイダーから自動取得**：プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
 - **DNSサーバーを指定 (固定)**：プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。
7. [IPアドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。
 - **DHCPサーバーを使う**：この方法では、LAN上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
 - **自動設定**：これはデフォルトの設定です。
この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。
8. (オプション) 【このインターフェイスIDを使う】チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。

インターネット設定の指定

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

9. [IPv6フィルタ] ラジオボタンを選択します。
 - ・ **セキュア**：デフォルトのモードであるセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
 - ・ **オープン**：オープンモードでは、ルーターはUDPパケットのみを検査します。
10. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

IPv6パススルーインターネット接続の設定

パススルーモードでは、ルーターは、IPv6パケット用の2つのポート（LANポートとWANポート）を搭載したレイヤー2イーサネットスイッチとして機能します。ルーターは、IPv6ヘッダーパケットを処理しません。

▶パススルーIPv6インターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[パススルー] を選択します。
ページの表示が変更されますが、追加の欄は表示されません。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

IPv6固定インターネット接続の設定

▶固定IPv6インターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、 [固定] を選択します。
ページが調整されます。
6. WAN接続の固定IPv6アドレスを設定します。
 - **IPv6アドレス/プレフィックス長**：ルーターのWANインターフェイスのIPv6アドレスとプレフィックス長です。
 - **デフォルトIPv6ゲートウェイ**：ルーターのWANインターフェイスのデフォルトIPv6ゲートウェイのIPv6アドレスです。
 - **プライマリDNSサーバー**：ルーターのIPv6ドメイン名レコードを解決するプライマリDNSサーバーです。
 - **セカンダリDNSサーバー**：ルーターのIPv6ドメイン名レコードを解決するセカンダリDNSサーバーです。

注 DNSサーバーを指定しない場合、ルーターは、 [インターネット設定] ページで IPv4インターネット接続用に設定されているDNSサーバーを使用します。 ([インターネット接続の手動設定](#) (25ページ) を参照してください)。

7. [IPアドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。
 - **DHCPサーバーを使う**：この方法では、LAN上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
 - **自動設定**：これはデフォルトの設定です。この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。
8. [**IPv6アドレス/プレフィックス長**] 欄で、ルーターのLANインターフェイスの静的IPv6アドレスとプレフィックス長を指定します。
ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。
9. [IPv6フィルタ] ラジオボタンを選択します。
 - **セキュア**：デフォルトのモードであるセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
 - **オープン**：オープンモードでは、ルーターはUDPパケットのみを検査します。
10. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

IPv6 DHCPインターネット接続の設定

►DHCPサーバーを使用してIPv6インターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
 4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。
 5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、 [DHCP] を選択します。
ページの表示が変更されます。
以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。
 - **ルーターのIPv6アドレス (WAN側)** : この欄には、ルーターのWAN (またはインターネット) インターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
 - **ルーターのIPv6アドレス (LAN側)** : この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
 6. (オプション) [ユーザークラス (必要時のみ)] 欄に、ホスト名を入力します。
ほとんどの場合、この欄は空白のままにできますが、プロバイダーから特定のホスト名を提供された場合はここに入力します。
 7. (オプション) [ドメイン名 (必要時のみ)] 欄に、ドメイン名を入力します。
ご利用のIPv6プロバイダーのドメイン名を入力できます。ここにはIPv4プロバイダーのドメイン名を入力しないでください。例えば、ご利用のプロバイダーのメールサーバーがmail.xxx.yyy.zzzである場合は、「xxx.yyy.zzz」をドメイン名として入力します。プロバイダーからドメイン名を提供されている場合は、それをこの欄に入力します。例えば、EarthlinkCableではホームのホスト名が必要であり、Comcastではドメイン名が提供されることがあります。
 8. [IPアドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。
 - **DHCPサーバーを使う** : この方法では、LAN上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
 - **自動設定** : これはデフォルトの設定です。
- この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。

9. (オプション) [このインターフェイスIDを使う] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。
ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。
10. [IPv6フィルタ] ラジオボタンを選択します。
 - セキュア：デフォルトのモードであるセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
 - オープン：オープンモードでは、ルーターはUDPパケットのみを検査します。
11. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

IPv6 PPPoEインターネット接続の設定

▶ PPPoE IPv6インターネット接続を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] ページが表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、 [PPPoE] を選択します。
ページの表示が変更されます。
以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。

- **ルーターのIPv6アドレス (WAN側)** : この欄には、ルーターのWAN (またはインターネット)インターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
- **ルーターのIPv6アドレス (LAN側)** : この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。

6. [ログイン] 欄に、プロバイダー接続のログイン情報を入力します。

これは通常、メールアドレスで使用する名前です。例えば、お使いの主要メールアカウントが JerAB@ISP.com である場合は、この欄に「JerAB」と入力します。一部のISP (Mindspring、Earthlink、T-DSLなど) では、ログインするときに完全なメールアドレスを使用する必要があります。ISPで完全なメールアドレスが必要な場合は、このフィールドにそのアドレスを入力します。

インターネット設定の指定

7. [パスワード] 欄に、プロバイダー接続のパスワードを入力します。
8. [サービス名] 欄に、サービス名を入力します。
プロバイダーからサービス名を提供されていない場合は、この欄を空白のままにします。

注 [接続モード] ドロップダウンリストのデフォルト設定は、安定したIPv6接続を保つために [常時接続] になっています。ルーターが接続を終了することはありません。例えばモデムの電源が切れて接続が終了した場合、ルーターは、PPPoE接続が再び使用可能になるとすぐに接続の再確立を試みます。

9. [IPアドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。
 - **DHCPサーバーを使う**：この方法では、LAN上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
 - **自動設定**：これはデフォルトの設定です。
 この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。
10. (オプション) [このインターフェイスIDを使う] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。
ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。
11. [IPv6フィルタ] ラジオボタンを選択します。
 - **セキュア**：デフォルトのモードであるセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
 - **オープン**：オープンモードでは、ルーターはUDPパケットのみを検査します。
12. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

MTUサイズの変更

MTUは、ネットワーク機器が転送する最大データパケットを指します。あるネットワーク機器がインターネットを介して別のネットワーク機器と通信する場合、データパケットは途中多数の機器を経由していきます。この経由点にある機器で使用するMTU設定が他の機器より低い場合、データパケット分割またはフラグメンテーション化（断片化）され、最小MTUの機器と通信できるようになります。

ほとんどのNETGEARの機器に最適なMTUはデフォルト値です。状況によっては、この値を変更するとある問題は解決されますが、別の問題が生じる可能性もあります。次のような状況が発生した場合を除き、MTUは変更しないでください。

- プロバイダーまたは別のインターネットサービスに接続中に問題が発生し、プロバイダーまたはNETGEARのテクニカルサポートからMTU設定の変更が推奨された場合。次のようなページを開く際にMTUの変更が必要になることがあります。
 - 安全なウェブサイトが開かない、またはウェブページの一部しか表示されない
 - Yahooメール

- MSNポータル
- AOLのDSLサービス
- VPNを使用しており、重大なパフォーマンス上の問題が発生している場合。
- パフォーマンス向上のためにMTUを最適化するプログラムを使用し、これによって接続またはパフォーマンスに問題が発生した場合。

注 MTU設定が正しくないと、インターネットの通信に問題が発生する可能性があります。例えば、特定のウェブサイト、ウェブサイト内のフレーム、セキュリティで保護されたログインページ、FTPまたはPOPサーバーにアクセスできなくなることがあります。

▶ MTUサイズを変更します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [WAN設定] を選択します。
[WAN設定] ページが表示されます。
5. [MTUサイズ] 欄に、64~1500の値を入力します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

MTUの問題が懸念される場合、一般的な解決策としてMTUを1400に変更します。試してみる場合は、MTUを最大値の1500から問題が解消するまで徐々に下げることができます。次の表に、一般的なMTUサイズと用途を示します。

表2:一般的なMTUサイズ

MTU	用途
1500	イーサネットパケットの最大サイズ。この設定は、PPPoEまたはVPNを使用しない接続で一般的であり、NETGEARのルーター、アダプター、スイッチのデフォルト値です。
1492	PPPoE環境で使用。
1472	pingに使用する最大サイズ。（これより大きなパケットは断片化されます。）
1468	一部のDHCP環境で使用。

インターネット設定の指定

表2:一般的なMTUサイズ(続き)

MTU	用途
1460	大きなメール添付ファイルを送受信しない場合などに、AOLで使用可能。
1436	PPTP環境で、またはVPNで使用。
1400	AOL DSLの最大サイズ。
576	ダイヤルアップでプロバイダーに接続する際の一般的な値。

インターネットアクセスの管理

4

インターネットからの望ましくない侵入からホームネットワークを保護するようにルーターを設定することができます。

この章には次の内容が含まれます。

- ペアレンタルコントロールの設定 (42ページ)
- ネットワークへのアクセスの許可または禁止 (43ページ)
- キーワードを使用したインターネットサイトのブロック (44ページ)
- ネットワークのアクセス制御リストの管理 (47ページ)
- インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定 (48ページ)
- セキュリティイベントのメール通知の設定 (48ページ)

ペアレンタルコントロールの設定

初めて基本ホームページから [ペアレンタルコントロール] を選択すると、ブラウザーはペアレンタルコントロールのウェブサイトに移動し、そこでペアレンタルコントロールの詳細を確認したりアプリケーションをダウンロードしたりすることができます。

ペアレンタルコントロールを設定して有効にした後は、デスクトップNETGEARgenieアプリのネットワークマップのページからネットワーク上の各機器のウェブフィルタリングレベルを変更することができます。

▶ペアレンタルコントロールを設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [ペアレンタルコントロール] を選択します。
ペアレンタルコントロールのウェブサイトが表示されます。
5. ダウンロードして使用するアプリまたはバージョンのボタンをクリックします。
6. 画面に表示される指示に従って、デスクトップNETGEARgenieアプリをダウンロードしてインストールします。
7. デスクトップNETGEAR genieアプリを開いて、[ペアレンタルコントロール] を選択します。
ペアレンタルコントロールは、インストール後に自動的に起動します。
8. [次へ] ボタンをクリックし、注記を読み、もう一度 [次へ] ボタンをクリックします。
ペアレンタルコントロールでは無料のOpenDNSアカウントを使用するため、ログインするか、無料のアカウントを作成するように求められます。
9. 次のようにラジオボタンを選択します。
 - すでにOpenDNSアカウントを所有している場合は、[はい] ラジオボタンを選択したままにします。
 - まだOpenDNSアカウントを所有していない場合は、[いいえ] ラジオボタンを選択します。
 アカウントを作成する場合は、[無料の OpenDNS アカウントを作成] ページが表示されます。以下の操作を実行します。
 - a. 入力欄を完成させます。
 - b. [次へ] ボタンをクリックします。
 ログオン後、またはアカウントの作成後に、フィルタリングレベルのページが表示されます。
10. フィルタリングレベルを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
[設定は完了しました] ページが表示されます。

11. [ステータス画面を表示] ボタンをクリックします。
[ステータス] ページが表示されます。これでルーターのペアレンタルコントロールがセットアップされました。
12. ペアレンタルコントロールを有効にするには、[ペアレンタルコントロール] ボタンをクリックします。

ネットワークへのアクセスの許可または禁止

アクセス制御を使用して、ネットワークへのアクセスを禁止または許可することができます。

▶ アクセス制御を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [アクセス制御] を選択します。
[アクセス制御] ページが表示されます。
5. [アクセス制御を有効にする] チェックボックスを選択します。
アクセスルールを指定して [許可] ボタンと [禁止] ボタンを使用するには、このチェックボックスを選択する必要があります。このチェックボックスのチェックを外すと、機器が禁止リストに含まれていても、すべての機器に接続が許可されます。
6. アクセスルールを選択します。
 - **すべての新しい機器に接続を許可**：この設定では、新しく追加した機器はお使いのネットワークにアクセスできます。機器のMACアドレスをこのページに入力する必要はありません。このラジオボタンは選択されたままにすることを推奨します。
 - **すべての新しい機器の接続を禁止**：この設定では、新しい機器を追加した場合、その機器からお使いのネットワークにアクセスするには、有線接続と無線接続の機器のMACアドレスを許可リストに入力する必要があります。
 アクセスルールは、以前に禁止または許可された機器には影響しません。アクセスルールは、これらの設定の適用後に、ネットワークに接続する機器にのみ適用されます。
7. 接続されていない、許可または禁止されている機器を表示するには、以下のいずれかのリンクをクリックします。
 - 現在ネットワークに接続されていない、許可された機器のリストを表示する
 - 現在ネットワークに接続されていない、ブロックされた機器のリストを表示する
 リストが表示されます。

8. 現在使用しているWi-Fi対応PCやモバイルデバイスのネットワークアクセスを引き続き許可するには、該当するPCや機器の横にあるチェックボックスを選択し、[許可] ボタンをクリックします。
9. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

キーワードを使用したインターネットサイトのブロック

キーワードを使用して、お使いのネットワークで特定のインターネットサイトをブロックすることができます。常にブロックしたり、スケジュールに基づいてブロックしたりできます。

▶インターネットサイトをブロックします。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサイト] を選択します。
[ブロックサイト] ページが表示されます。
5. キーワードでブロックする際のオプションを選択します。
 - **スケジュール指定**：設定したスケジュールに基づいて、キーワードでのブロックをオンにします。詳細については、[インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定](#)（48ページ）を参照してください。
 - **常にブロック**：スケジュールとは関係なく、常にキーワードブロックを有効にします。
6. [ここにキーワードまたはドメイン名を入力します。] の欄に、ブロックしたいキーワードまたはドメインを入力します。
次に例を示します。
 - <http://www.badstuff.com/xxx.html>をブロックする場合は、XXXを指定します。
 - .eduや.govなどのドメインサフィックスがあるサイトだけを許可したい場合は、.comを指定します。
 - すべてのインターネットアクセスをブロックするには、ピリオド（.）を入力します。
7. [キーワードの追加] ボタンをクリックします。
キーワードがキーワードリストに追加されます。キーワードリストは、最大32個まで追加することができます。
8. [適用] ボタンをクリックします。
キーワードでのブロックが有効になります。

インターネットからのサービスのブロック

インターネットサービスは、サービスのタイプに基づいてネットワークでブロックすることができます。サービスは常にブロックしたり、スケジュールに基づいてブロックしたりできます。

▶サービスをブロックします。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサービス] を選択します。
[Block Services] ページが表示されます。
5. サービスをブロックするタイミングを指定します。
 - 常にサービスをブロックするには、[常にブロック] ラジオボタンを選択します。
 - スケジュールに基づいてサービスをブロックするには、[スケジュール指定] ラジオボタンを選択します。
 スケジュールを指定する方法については、[インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定](#) (48ページ) を参照してください。
6. [追加] ボタンをクリックします。
[ブロックサービスの設定] ページが表示されます。
7. [サービスタイプ] ドロップダウンリストにあるサービスを追加するには、アプリケーションまたはサービスを選択します。
このサービスの設定は、自動的に各欄に表示されます。
8. ドロップダウンリストにないサービスまたはアプリケーションを追加するには、[ユーザー定義] を選択し、以下の操作を実行します。
 - a. アプリケーションがTCPかUDPのどちらを使用するか分かる場合は、[プロトコル] のドロップダウンリストでどちらか適切なほうを選択してください。分からない場合は、[TCP/UDP] を選択します。
 - b. 開始ポートと終止ポートの番号を入力します。
サービスで1つのポート番号を使用する場合は、その番号を両方の欄に入力します。サービスまたはアプリケーションで使用するポート番号を知るには、アプリケーションの提供者に問い合わせるか、ユーザーグループまたはニュースグループに問い合わせるか、インターネットで調べることができます。
9. ラジオボタンでサービスをブロックするPCを選択します。
 - **このIPアドレスのみ**：1台のPCのサービスをブロックします。

- **IPアドレス範囲**：ネットワーク上の連続するIPアドレスを持つ、一定の範囲のPCのサービスをブロックします。
- **すべてのIPアドレス**：ネットワーク上のすべてのPCのサービスをブロックします。

10. [追加] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

ブロックするキーワードの削除

► ブロックするキーワードをリストから削除します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサイト] を選択します。
[ブロックサイト] ページが表示されます。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - 1つの単語を削除するには、その単語を選択し、[キーワードの削除] ボタンをクリックします。
キーワードがリストから削除されます。
 - リストのすべてのキーワードを削除するには、[リストの消去] ボタンをクリックします。
すべてのキーワードがリストから削除されます。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

信頼できるPCでのブロックの回避

1台の信頼できるPCでのブロックを除外することができます。除外するPCには、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。予約IPアドレス機能を使用してそのIPアドレスを指定できます。[予約LAN IPアドレスの管理](#) (57ページ) を参照してください。

► 信頼できるPCを指定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサイト] を選択します。
[ブロックサイト] ページが表示されます。
5. 下にスクロールして、[信頼できるIPアドレスにブロックサイトへのアクセスを許可する] チェックボックスを選択します。
6. [信頼できるIPアドレス] 欄に、信頼できるPCのIPアドレスを入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ネットワークのアクセス制御リストの管理

アクセス制御を使用して、ネットワークへのアクセスを禁止または許可することができます。

▶許可またはブロックされた機器を管理します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [アクセス制御] を選択します。
[アクセス制御] ページが表示されます。
5. [アクセス制御を有効にする] ラジオボタンを選択します。
6. [現在ネットワークに接続されていない、許可されたデバイスのリストを表示する] リンクをクリックします。
リストが表示されます。
7. 機器のチェックボックスを選択します。
8. 必要に応じて、[追加] ボタン、[編集] ボタン、[リストから削除する] ボタンを使用します。
9. [適用] ボタンをクリックします。
変更が有効になります。

インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定

ブロックのスケジュールを設定する場合は、サイトのブロックとサービスのブロックに同じスケジュールを使用します。ルーターのブロック対象を指定する方法については、[キーワードを使用したインターネットサイトのブロック（44ページ）](#) および[インターネットからのサービスのブロック（45ページ）](#) を参照してください。

▶ ブロックのスケジュールを設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [スケジュール] を選択します。
[スケジュール] ページが表示されます。
5. キーワードとサービスをブロックするタイミングを指定します。
 - **ブロックする曜日**：キーワードをブロックする曜日のチェックボックスを選択するか、**[毎日]** チェックボックスを選択し、すべての曜日のチェックボックスを自動的に選択します。
 - **ブロックする時間帯**：24時間表記で開始時刻と終了時刻を選択するか、24時間ブロックする場合は**[終日]** チェックボックスを選択します。
6. ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。
7. 夏時間を適用する地域に住んでいる場合は、**[夏時間に自動調整する]** チェックボックスを選択します。
8. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

セキュリティイベントのメール通知の設定

ルーターアクティビティのログをメールでルーターから受け取ることができます。ログには、ルーターアクティビティと、ブロックされているサイトまたはサービスにアクセスしようとしたセキュリティイベントが記録されます。

▶メール通知を設定します。

1. ネットワークに接続されているWi-Fi対応コンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [メール] を選択します。
[メール] ページが表示されます。
5. Eメール通知をオンにするチェックボックスを選択してください。
6. [プライマリメールアドレス] フィールドに、警告とログの送信先のメールアドレスを入力します。
7. [送信メールサーバー] 欄に、プロバイダーの送信（SMTP）メールサーバーの名前を入力します（mail.myISP.comなど）。
この情報は、メールソフトの設定ウィンドウに表示される場合があります。この欄を空白のままにした場合は、ログメッセージと警告メッセージは送信されません。
8. [送信メールサーバーポート番号] セクションで、[AutoDetection] ポート番号または [Specific Port Number] ラジオボタンを選択します。
この情報は、メールソフトの設定ウィンドウに表示される場合があります。この欄を空白のままにした場合は、ログメッセージと警告メッセージは送信されません。
9. [このメールアドレスに送る] 欄に、ログと警告の送信先メールアドレスを入力します。
このメールアドレスは、差出人アドレスにも使用されます。この欄が空白の場合は、ログメッセージと警告メッセージは送信されません。
10. 送信メールサーバーで認証が必要な場合は、[メールサーバーの認証] チェックボックスを選択し、以下の操作を実行します。
 - a. [ユーザー名] 欄に、送信メールサーバーのユーザー名を入力します。
 - b. [パスワード] 欄に、送信メールサーバーのパスワードを入力します。
11. 誰かがブロックされているサイトにアクセスしようとしたら警告を送信するには、[すぐに警告を送信] チェックボックスを選択します。
誰かがブロックされているサイトにアクセスしようとすると、メールによる警告がすぐに送信されます。
12. スケジュールに基づいてログを送信するには、以下の設定を指定します。

- a. [スケジュールに基づきログを送信] ドロップダウンリストから、スケジュールタイプを選択します。
- b. [日] ドロップダウンリストから、曜日を選択します。
- c. [時刻] ドロップダウンリストから時刻を選択し、[a.m.] または [p.m.] ラジオボタンを選択します。

13. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

設定したスケジュールに基づいて、ログが自動的に送信されます。指定した時刻の前にログがいっぱいになった場合、そのログは送信されます。そのログは送信後にルーターのメモリから消去されます。ルーターがログをメール送信できずにログバッファーがいっぱいになった場合、ルーターがログを上書きします。

ネットワーク設定

5

ルーターには、ワイヤレス、イーサネット、USBの接続が用意されています。ルーターのネットワーク設定はカスタマイズすることができます。ルーターのネットワーク設定を変更する前に、ルーターを設置してインターネットに接続することを推奨します。

この章には次の内容が含まれます。

- [WAN設定の表示または変更](#) (52ページ)
- [デフォルトDMZサーバーの設定](#) (53ページ)
- [ルーター名の変更](#) (53ページ)
- [LAN TCP/IP設定の変更](#) (54ページ)
- [ルーターが割り当てるIPアドレスの指定](#) (55ページ)
- [ルーターのDHCPサーバー機能の無効化](#) (56ページ)
- [予約LAN IPアドレスの管理](#) (57ページ)
- [無線LAN接続でのWPSウィザードの使用](#) (59ページ)
- [基本ワイヤレス設定](#) (59ページ)
- [ワイヤレス転送速度の変更](#) (61ページ)
- [ワイヤレスパスワードまたはセキュリティレベルの変更](#) (61ページ)
- [ゲストネットワークの設定](#) (62ページ)
- [無線LANのオン/オフ](#) (63ページ)
- [無線LANスケジュールの設定](#) (64ページ)
- [WPS設定](#) (65ページ)
- [無線LANアクセスポイントとしてのルーターの使用](#) (66ページ)
- [ルーターのブリッジモードの設定](#) (66ページ)
- [ポートグループまたはVLANタググループのブリッジの設定](#) (68ページ)
- [リンクアグリゲーション](#) (74ページ)

WAN設定の表示または変更

WAN設定を表示または設定できます。非武装地帯（DMZ）サーバーの設定、MTUサイズの変更、WAN（インターネット）ポートに対するルーターのpingへの応答有効化などを行うことができます。

▶ WAN設定を表示または変更するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [WAN設定] を選択します。
[WAN設定] ページが表示されます。
次の設定が表示されます。
 - **ポートスキャンとDoS保護を無効にする** : DoS保護では、SYN flood攻撃、Smurf攻撃、Ping of Death (PoD)、その他多くの攻撃からLANを保護します。特殊な状況でのみ、このチェックボックスを選択してください。
 - **デフォルトDMZサーバー** : この機能は、オンラインゲームまたはビデオ会議で役立つことがあります、ファイアウォールのセキュリティが低下します。 [デフォルトDMZサーバーの設定](#) (53ページ) を参照してください。
 - **インターネットポートへのPingに応答する** : ルーターの検出を許可します。診断ツールとしてのみ、または特別な理由がある場合のみ、この機能を使用してください。
 - **IGMPプロキシを無効にする** : IGMPプロキシを使用すると、ローカルエリアネットワーク (LAN) 上のPCが、対象となるマルチキャストトラフィックをインターネットから受信できるようになります。この機能が必要ない場合は、このチェックボックスを選択して無効にすることができます。
 - **MTUサイズ (バイト)** : ほとんどのイーサネットネットワークの場合、通常のMTU値は1500バイト、PPPoE接続の場合は1492バイトです。プロバイダー接続で必要なことが確定な場合のみ、MTUを変更してください。 [MTUサイズの変更](#) (38ページ) を参照してください。
 - **NATフィルタ** : NATルーターはが受信トラフィックをどう処理するかを決めるものです。 [安全] なNATは、LAN上のPCをインターネットからの攻撃から保護しますが、一部のインターネットゲーム、ポイントツーポイントアプリケーション、マルチメディアアプリケーションが動作しなくなることがあります。 [オープン] なNATは、ファイアウォールの安全性が大幅に低下しますが、ほぼすべてのインターネットアプリケーションが動作できます。
 - **SIP ALGを無効にする** : SIP ALGが有効になっていると、いくつかの音声/ビデオアプリケーションが正しく動作しない場合があります。 SIP ALGを無効にすると、音声/ビデオアプリケーションで、ルーターを介して通話を作成および受信できます。
5. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

デフォルトDMZサーバーの設定

デフォルトDMZサーバー機能は、NATと互換性のないオンラインゲームやビデオ会議アプリケーションを使用しているときに便利です。ルーターは、このようなアプリケーションの一部を認識して正しく処理するようにプログラムされていますが、正しく機能しないアプリケーションもあります。ローカルPCのIPアドレスをデフォルトDMZサーバーとして入力していれば、そのPCでアプリケーションを正しく実行できる場合もあります。



警告

DMZサーバーにはセキュリティ上のリスクがあります。デフォルトDMZサーバーとして指定されたPCは、ファイアウォールの保護を失い、インターネットの危険にさらされることになります。万が一障害が発生すると、DMZサーバーのPCはネットワーク上の他のPCを攻撃するために使われる可能性もあります。

通常、インターネットからの受信トラフィックがローカルPCや、[ポート転送/ポートトリガー] ページで設定したサービスに反応しない限り、ルーターはそのトラフィックを検出して破棄します。トラフィックを破棄する代わりに、トラフィックをネットワーク上のPCに転送するように指定できます。そのようなPCは、デフォルトDMZサーバーと呼ばれます。

▶ デフォルトDMZサーバーを設定します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [WAN設定] を選択します。
[WAN設定] ページが表示されます。
5. [デフォルトDMZサーバー] チェックボックスを選択します。
6. IPアドレスを入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ルーター名の変更

ルーターのデフォルトの機器名は、R9000などのモデル番号が基になっています。この機器名は、ネットワークを参照するとファイルマネージャーに表示されます。

▶ ルーターの機器名を変更するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [設定] > [LAN設定] を選択します。

[LAN設定] ページが表示されます。

5. [デバイス名] の欄に、新しい名前を入力します。

6. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

LAN TCP/IP設定の変更

ルーターは、LAN側でプライベートIPアドレスを使用し、DHCPサーバーとして動作するようにあらかじめ設定されています。ルーターのデフォルトLAN IP設定は次のとおりです。

- LAN IPアドレス 192.168.1.1
- サブネットマスク 255.255.255.0

これらのアドレスは、プライベートネットワーク内で使用する指定プライベートアドレスの範囲内であり、ほとんどのアプリケーションに適しています。ネットワークで別のIPアドレス指定スキームが必要な場合は、設定を変更できます。

ネットワーク上の1台以上の機器で使用する特定のIPサブネットが必要な場合、または同じIPスキームを使用する競合サブネットを使用する場合、これらの設定を変更できます。

▶ LAN TCP/IP設定を変更します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。

2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [設定] > [LAN設定] を選択します。

[LAN設定] ページが表示されます。

5. [IPアドレス] の欄に、IPアドレスを入力します。

6. [サブネットマスク] の欄に、ルーターのサブネットマスクを入力します。

IPアドレスと組み合わせて、サブネットマスクはどのアドレスがローカルであり、どのアドレスがゲートウェイやルーターを通さなければならないかを機器に知らせることができます。

7. RIP設定を変更します。

RIPは、ルーター同士のルーティング情報のやり取りを可能にします。

a. RIPの方向を選択します。

- **両方**：ルーターは、ルーティングテーブルを定期的にブロードキャストし、受信する情報を追加します。
- **送信のみ**：ルーターは、ルーティングテーブルを定期的にブロードキャストします。
- **受信のみ**：ルーターは、受信するRIP情報を追加します。

b. RIPのバージョンを選択します。

- **無効**：これはデフォルトの設定です。
- **RIPバージョン1**：この形式は、ユニバーサルにサポートされています。正常なネットワーク設定を使用している場合、ほとんどのネットワークで利用できます。
- **RIPバージョン2**：この形式では、より多くの情報を伝送します。RIPバージョン2（ブロードキャスト）とRIPバージョン2（マルチキャスト）はどちらもRIPバージョン2形式でルーティングデータを送信します。RIPバージョン2（ブロードキャスト）はサブネットブロードキャストを使用します。RIPバージョン2（マルチキャスト）はマルチキャストを使用します。

8. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

ルーターのLAN IPアドレスを変更した場合は、この変更が有効になると接続が切断されます。

9. 再接続するには、ブラウザーを閉じてから再起動し、ルーターにログインします。

ルーターが割り当てるIPアドレスの指定

デフォルトで、ルーターはDHCPサーバーとして動作します。ルーターは、LANに接続しているすべてのPCに対して、IPアドレス、DNSサーバーアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレスを割り当てます。割り当てられるデフォルトゲートウェイアドレスは、ルーターの LAN アドレスです。

これらのアドレスは、ルーターのLAN IPアドレスと同じIPアドレスサブネットに属している必要があります。デフォルトのアドレス割り当て方式を使用した場合は192.168.1.2から192.168.1.254の範囲を指定しますが、固定アドレスを使用する機器用に範囲の一部を確保しておくことができます。

▶ルーターが割り当てるIPアドレスのプールを指定するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [設定] > [LAN設定] を選択します。
[LAN設定] ページが表示されます。
5. [ルーターをDHCPサーバーとして使用する] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ルーターが割り当てるIPアドレスの範囲を指定します。
 - a. [開始IPアドレス] の欄に、ルーターと同じサブネット内でIPアドレスプールの開始アドレスを入力します。
このIPアドレスは、ルーターと同じサブネット内にある必要があります。
 - b. [終止IPアドレス] の欄に、ルーターと同じサブネット内でIPアドレスプールの終止アドレスを入力します。
このIPアドレスは、ルーターと同じサブネット内にある必要があります。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ルーターは、DHCP を要求する LAN 機器に対し、次のパラメータを提供します。

- 指定した範囲内のIPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ IP アドレス (ルーターの LAN IP アドレス)
- DNSサーバーのIPアドレス (ルーターの LAN IP アドレス)

ルーターのDHCPサーバー機能の無効化

デフォルトで、ルーターはDHCPサーバーとして動作します。ルーターは、LANに接続しているすべてのPCに対して、IPアドレス、DNSサーバーアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレスを割り当てます。割り当てられるデフォルトゲートウェイアドレスは、ルーターの LAN アドレスです。

ネットワーク上の別の機器をDHCPサーバーとして使用したり、すべてのPCのネットワーク設定を指定したりすることもできます。

▶ルーターのDHCPサーバー機能を無効にするには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN設定] を選択します。
[LAN設定] ページが表示されます。

5. [ルーターをDHCPサーバーとして使用する] チェックボックスのチェックを外します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
7. (オプション) このサービスが無効のときに、ネットワーク上に他のDHCPサーバーがない場合は、PCのIPアドレスを手動で設定してPCがルーターにアクセスできるようにします。

予約LAN IPアドレスの管理

LAN上のコンピュータに予約IPアドレスを指定すると、このコンピュータはルーターのDHCPサーバーにアクセスするたびに同じIPアドレスを受けます。予約IPアドレスは永久IP設定の必要なPCまたはサーバーに割り当てます。

IPアドレスの予約

▶IPアドレスを予約します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN設定] を選択します。
[LAN設定] ページが表示されます。
5. [予約アドレステーブル] のカテゴリで、[追加] ボタンをクリックします。
6. [IPアドレス] の欄に、PCまたはサーバーに割り当てるIPアドレスを入力します。
ルーターのサブネットからIPアドレスを選択します。192.168.1.xなど
7. PCまたはサーバーのMACアドレスを入力します。

ヒント すでにPCがネットワーク上にある場合は、そのMACアドレスを [接続デバイス] ページからコピーしてここに貼り付けることができます。

8. [適用] ボタンをクリックします。
予約アドレスが表に入力されます。

予約アドレスは、コンピュータが次にルーターのDHCPサーバーに接続するまで割り当てられません。PCを再起動するか、またはPCのIP設定にアクセスして強制的にDHCPをリリースして更新します。

予約IPアドレスの編集

▶予約アドレスエントリを編集します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN設定] を選択します。
[LAN設定] ページが表示されます。
5. 予約アドレスの隣にあるラジオボタンを選択します。
6. [編集] ボタンをクリックします。
7. 設定を変更します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

予約IPアドレスエントリの削除

▶予約アドレスエントリを削除します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN設定] を選択します。
[LAN設定] ページが表示されます。
5. 予約アドレスの隣にあるラジオボタンを選択します。
6. [削除] ボタンをクリックします。
アドレスが削除されます。

無線LAN接続でのWPSウィザードの使用

WPSウィザードを使用すると、無線LANのパスワードを入力しなくても、WPS対応デバイスを無線LANのネットワークに追加できます。

▶WPSウィザードを使用します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [WPSウィザード] を選択します。
WPSに関する説明が表示されます。
5. [次へ] ボタンをクリックします。
WPSのページが表示されます。
6. 設定方法を選択します。
 - **プッシュボタン**：画面に表示される [WPS] ボタンをクリックします。
 - **PIN**：ページの表示が変更されます。クライアントセキュリティPINを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。
7. 2分以内に、WPS対応デバイスで、WPSソフトウェアを使用して、WiFiネットワークに接続します。
WPSプロセスにより、接続時にネットワークパスワードを使用してWPS対応デバイスが自動的に設定されます。ルーターのWPSページに、確認メッセージが表示されます。

基本ワイヤレス設定

ルーターには、セキュリティがあらかじめ設定されています。つまり、ネットワーク名（SSID）、ネットワークキー（パスワード）、セキュリティオプションが工場出荷時に設定されています。デフォルトのSSIDとパスワードは、ルーターのラベルで確認できます。

注 セキュリティを高めるため、デフォルトのSSIDとパスワードは、機器ごとに一意です。

デフォルトのセキュリティ設定を変更する場合は、新しい設定をメモしておき、簡単に探せる安全な場所に保管してください。

SSIDまたはその他のセキュリティ設定を変更するときにPCが無線LANで接続されている場合、[適用]ボタンをクリックすると無線LAN接続が切断されます。この問題を回避するため、有線接続を持つコンピュータでルーターにアクセスしてください。

▶ 基本ワイヤレス設定を指定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [ワイヤレス] を選択します。
[ワイヤレス設定] ページが表示されます。
2.4 GHz帯、5 GHz帯、60 GHz帯の設定を指定することができます。
お使いのルーターで表示される情報は、この例と異なる場合があります。
5. [地域] ドロップダウンリストから、地域を選択します。
この項目は変更できません。
6. SSIDブロードキャストを管理するには、【SSIDブロードキャストを有効にする】チェックボックスを選択、または選択を解除します。
このチェックボックスが選択されている場合、ルーターはネットワーク名をブロードキャストします。PCや無線LAN子機で無線LANのネットワークをスキャンしたときにネットワーク名（SSID）が表示されるようになります。
7. ネットワーク名（SSID）はデフォルトのままにしておくことを推奨します。変更するには、新しい名前を【ネットワーク名（SSID）】の欄に入力します。
名前は32文字まで、大文字と小文字を区別します。デフォルトのSSIDはランダムに生成され、ルーターのラベルに記載されています。名前を変更する場合は、新しい名前を書き留めて、安全な場所に保管してください。
8. 無線LANチャンネルを変更するには、番号を【チャンネル】ドロップダウンリストで選択します。
一部の地域では、利用できないチャンネルがあります。干渉（接続が失われたり、データ転送速度が低下したりする）が発生しない限り、チャンネルを変更しないでください。干渉が発生する場合は、別のチャンネルを試してみてください。
複数のアクセスポイントを使用する場合は、干渉を抑えるために近隣のアクセスポイントで異なるチャンネルを使用することを推奨します。近隣のアクセスポイント間で推奨されるチャンネル間隔は、4チャンネルです（例えば、チャンネル1と5や、6と10を使用します）。
9. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
ネットワークに無線で接続していてSSIDを変更した場合は、ネットワークから切断されます。
10. ネットワークに新しい設定で無線接続できることを確認します。
無線接続できない場合は、次の点を確認してください。
 - ご利用の無線LAN子機がエリア内の別のWi-Fiネットワークに接続していませんか？一部の無線LAN子機は、最初に検出されたネットワークに自動的に接続します。

- ご利用の無線LAN子機が（設定を変更する前の）古い設定でネットワークに接続されていませんか？その場合は、無線LAN子機の接続情報を更新し、ネットワークの現在の設定と一致させます。

ワイヤレス転送速度の変更

高速送信のデータ転送速度は通常、メガビット/秒（Mbps）で示されます。デフォルトでは、ルーターは、2.4 GHzワイヤレス帯で最大800 Mbps、5 GHzワイヤレス帯で最大1,733 Mbps、60 GHzワイヤレス帯で最大4.6 Gbpsで動作するように設定されます。それより遅い設定を選択することができます。

▶ワイヤレス転送速度を変更します。

- ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
- 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
- ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
- [ワイヤレス]** を選択します。
[ワイヤレス設定] ページが表示されます。
- 2.4 GHzワイヤレス帯の場合は、[Wireless Network (2.4 GHz b/g/n)] セクションで、[Mode] ドロップダウンリストから設定を選択します。
[最大800 Mbps] がデフォルト設定です。その他に [最大347 Mbps] と [最大54 Mbps] を選択できます。
- 5 GHzワイヤレス帯の場合は、[Mode] ドロップダウンリストから設定を選択します。
[最大1733 Mbps] がデフォルト設定で、802.11ac、802.11n、802.11ad無線LAN子機がネットワークに接続できます。その他に [最大800 Mbps] と [最大347 Mbps] を選択できます。

注 60 GHzワイヤレス帯の場合は、[最大4.6 Gbps] のみを選択できます。

- [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ワイヤレスパスワードまたはセキュリティレベルの変更

ルーターには、WPA2またはWPAセキュリティがデフォルトで設定されています。ネットワークに接続するために入力するパスワードは、ルーターごとに一意で、ルーターのラベルに記載されています。デフォルトのセキュリティを使用することを推奨しますが、その設定は変更することができます。セキュリティは無効にしないでください。

▶WPA設定を変更します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [ワイヤレス] を選択します。
[ワイヤレス設定] ページが表示されます。
5. [セキュリティオプション] で、WPAオプションを選択します。
WPA2は最も強力なセキュリティの規格で、[WPA2-PSK (AES)] がデフォルト設定です。
[パスワード] の欄が表示されます。
6. [パスワード] 欄に、ネットワークキー（パスワード）を入力します。
8~63文字のテキスト文字列です。
7. 新しいパスワードをメモしておき、将来参照できるように安全な場所に保管します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ゲストネットワークの設定

ゲストネットワークを使用すると、ゲストユーザーに、無線LANのセキュリティキーを知らせずにインターネットを使用してもらうことができます。ゲストネットワークは、2.4 GHzワイヤレス帯と5 GHzワイヤレス帯で追加できます。

▶ゲストネットワークを設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [ゲストネットワーク] を選択します。
[ゲストネットワーク設定] ページが表示されます。
5. 設定したいゲストワイヤレスネットワークのページセクションまでスクロールします。
デフォルトのゲストワイヤレスネットワーク名 (SSID) は次のとおりです。

- [NETGEAR-Guest] は、2.4 GHz帯用です。
 - [NETGEAR-5G-Guest] は、5 GHzワイヤレス帯用です。
6. [SSIDプロードキャストを有効にする] チェックボックスは選択したままにします。
ルーターがネットワーク名 (SSID) をプロードキャストできるようにすると、ネットワークを見つけて接続するのが容易になります。このチェックボックスのチェックを外した場合は、ネットワーク名 (SSID) が非表示になります。
7. ゲストネットワークの名前を指定します。
ゲストネットワーク名は、大文字と小文字を区別し、最大32文字使用できます。メインのSSIDだけでなくゲストネットワーク名を使用するようにネットワーク内のWi-Fi対応デバイスを手動で設定します。
8. 無線LANのチャンネルとモードは、デフォルトの設定を選択したままにします。
9. セキュリティオプションを選択します。
WPA2は最も強力なセキュリティの規格で、これがデフォルトの設定になっています。
10. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

無線LANのオン/オフ

ルーターの内部WiFi無線プロードキャスト信号は、2.4 GHz、5 GHz、および60 GHzの範囲です。デフォルトではオンになっているため、ルーターに無線接続できます。WiFi無線がオフのときでも、イーサネットケーブルを使用してルーターにLAN接続することができます。

ルーターの無線LANのオン/オフを切り替えるには、ルーター前面の無線LANオン/オフボタンを使用するか、またはルーターにログインして無線LANを有効化または無効化します。ルーターの近くにいる場合は、WiFiオン/オフボタンを押すほうが簡単です。ルーターから離れている場合、またはすでにログインしている場合は、有効化または無効化するほうが簡単です。無線LANのオン/オフは、スケジュールに基づいて切り替えることもできます。（[無線LANスケジュールの設定](#) (64ページ) を参照してください）。

無線LANオン/オフボタンの使用

▶無線LANのオン/オフを切り替えます。

ルーターの前面にある無線LANオン/オフボタンを2秒間押します。
無線LANをオフにすると、無線LANオン/オフLED、WPSLED、およびアクティブなアンテナのLEDが消灯します。無線LANをオンにすると、無線LANオン/オフLED、WPS LED、およびアクティブなアンテナのLEDが点灯します。

無線LANの有効化または無効化

無線LANオン/オフボタンを使用して無線LANをオフにした場合は、オンに戻すためにルーターにログインすることはできません。もう一度無線LANオン/オフボタンを2秒間押して、無線LANをオンに戻す必要があります。

▶ 無線LANを有効化または無効化します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。
高度なワイヤレス設定のページが表示されます。
5. 2.4GHz、5GHz、および60GHzのセクションで、[ワイヤレスルーターの無線を有効にする] チェックボックスを選択または選択解除します。
これらのチェックボックスの選択を解除すると、ルーターの各帯域の無線機能がオフになります。
6. [適用] ボタンをクリックします。

注 両方の無線LANをオフにすると、無線LANオン/オフLEDとWPS LEDの両方が消灯します。無線LANをオンにすると、無線LANオン/オフLEDとWPS LEDが点灯します。

無線LANスケジュールの設定

無線LAN接続が必要ない時間にルーターからの無線信号をオフにすることができます。例えば、週末不在にする間にオフにすることができます。

▶ 無線LANスケジュールを設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。
高度なワイヤレス設定のページが表示されます。
5. [新しい期間を追加] ボタンをクリックします。
ページの表示が変更されます。
6. ドロップダウンリスト、ラジオボタン、チェックボックスを使用して、無線LAN信号をオフにする期間を設定します。

7. [適用] ボタンをクリックします。
高度なワイヤレス設定のページが表示されます。
8. [スケジュールに基づいてワイヤレス信号をオフにする] チェックボックスを選択してスケジュールを有効にします。
9. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

WPS設定

Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用すると、無線LANのパスワードを入力しなくても無線LANネットワークに参加できます。

▶WPS設定を指定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。
[ルーターのPIN] の欄に、WPSを利用してルーターの無線LAN設定を行うためにレジストラ（例：Windows Vistaのマイネットワーク）で使用するPIN番号が表示されます。
5. （オプション） [ルーターのPINを有効にする] チェックボックスを選択、または選択を解除します。
WPS経由でルーターのPINを使用して、ルーターの無線LAN設定に侵入しようとする疑いがルーターで検出されると、PIN機能は一時的に無効になります。PIN機能を手動で有効にするには、 [ルーターのPINを有効にする] チェックボックスを選択します。
6. （オプション） [既存のワイヤレス設定を適用する] チェックボックスを選択、または選択を解除します。
デフォルトでは、 [既存のワイヤレス設定を適用する] チェックボックスが選択されています。このチェックボックスは選択されたままにすることを推奨します。
このチェックボックスの選択を解除した場合、次に新しい無線LAN子機がWPSを使用してルーターに接続すると、ルーターの無線LAN設定が変更されて、自動的に生成されたランダムなSSIDとネットワークキー（パスワード）になります。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

無線LANアクセスポイントとしてのルーターの使用

ルーターを別のルーターと同じローカルネットワークのアクセスポイント（AP）として動作するように設定できます。

▶ルーターをAPとして設定します。

1. LANケーブルを使用して、このルーターのインターネットポートを別のルーターのLANポートに接続します。
2. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
3. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
5. [高度] > [高度な設定] > [ルーター/ AP / ブリッジモード] を選択します。
[ルーター/ AP / ブリッジモード] ページが表示されます。
6. [APモード] ラジオボタンを選択します。
ページの表示が変更されます。
7. IPアドレスの設定を選択します。
 - **既存のルーターから自動的に取得**：このルーターがAPモードのときに、ネットワーク上の別のルーターがこのルーターにIPアドレスを割り当てます。
 - **固定IPアドレスを使用 (推奨しません)**：このルーターがAPモードのときに特定のIPアドレスを手動で割り当てる場合は、この設定を使用します。このオプションを使用するには、ネットワークに関する詳しい知識が必要です。

注 ネットワーク上の他のルーターやゲートウェイとの干渉を避けるため、ルーターごとに異なる無線LAN設定を使用することを推奨します。他のルーターやゲートウェイの無線LANをオフにし、無線LAN子機のアクセス用にはR9000 ルーターのみを使用することもできます。

8. [適用] ボタンをクリックします。
ルーターのIPアドレスが変更され、切断されます。
9. 再接続するには、ブラウザーを閉じてから再起動し、「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ルーターのブリッジモードの設定

ルーターをブリッジモードで使用すると、高速な802.11acスピードで複数のデバイスをワイヤレス接続することができます。ブリッジモードを動作させるには2台のルーターが必要になります。1台はルーターとして、もう1台はブリッジとして設定します。

ネットワーク設定

お使いのルーターをブリッジとして設置するメリットは次のとおりです。

- お使いのデバイスでギガビットワイヤレススピードを利用できます。
- ビデオやゲームなどのアプリケーションでギガビットワイヤレスを使用できます。
- ワイヤレスリンクを使用してNAS、Smart TV、Blu-rayプレイヤー、ゲームコンソールなどの複数の機器をギガビット無線LAN速度で接続できます。
- 機器ごとに個別の無線LANアダプターを用意する必要がなくなります。

例えば、インターネット接続が整っているホームオフィスなどの部屋に1台目のルーターを設置し、2台目のルーターをブリッジモードで設定します。続いてこのブリッジモードのルーターをホームエンターテインメントの設備の整った別の部屋に設置します。ブリッジモードのルーターをSmart TV、DVR、ゲーム本体、Blu-rayプレイヤーなどにケーブル接続し、そのルーターから802.11ac ワイヤレス接続を使用して1台目のルーターに接続します。

▶ルーターのブリッジモードを設定するには

1. このルーターが接続する相手のルーターの無線LAN設定をメモします。
SSID、セキュリティモード、ネットワークキー（パスワード）、動作周波数（2.4GHz、5GHz、または60 GHz）が必要になります。
2. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
3. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
5. [高度] > [高度な設定] > [ルーター/ AP / ブリッジモード] を選択します。
[ルーター/ AP / ブリッジモード] ページが表示されます。
6. [ブリッジモード] ラジオボタンを選択します。
ページの表示が変更されます。
7. [ブリッジモードワイヤレス設定をセットアップする] ボタンをクリックします。
[ワイヤレス設定] ウィンドウが表示されます。
8. このルーターが接続する相手のルーターの設定を指定します。
 - a. ネットワークワイヤレス周波数（**2.4 GHz**または**5 GHz**）を選択します。
802.11acモードの場合は、**5 GHz**を選択します。
 - b. [ネットワーク名 (SSID)] の欄に、無線LANのネットワーク名 (SSID) を入力します。
 - c. [セキュリティオプション] セクションで、ラジオボタンを選択します。
 - d. メッセージが表示されたら、別のルーターにワイヤレス接続するときに使用するWiFiパスワード（ネットワークキー）を入力します。
9. [適用] ボタンをクリックします。

相手のルーターの設定が保存され、高度なワイヤレス設定のページが表示されます。

10. [ルーター/ AP / ブリッジモード] ページの [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ポートグループまたはVLANタググループのブリッジの設定

IPTVなど的一部の機器は、ルーターのネットワークアドレス変換（NAT）サービスまたはファイアウォールの背後では機能しません。ご利用のプロバイダー（ISP）の要求に基づいて、それらの機器から直接プロバイダーのネットワークに接続する場合は、機器とルーターのインターネットポートの間でブリッジを有効にするか、新しいVLANタググループをブリッジに追加することができます。

注 プロバイダーからIPTVとインターネットサービスのブリッジの設定方法に関する指示がある場合は、その指示に従ってください。

ポートグループのブリッジの設定

ルーターの有線LANポートまたは無線ネットワークに接続されている機器の中にIPTVの機器が含まれている場合は、プロバイダーから、ルーターのインターネットインターフェイス用にポートグループのブリッジを設定するように求められることがあります。

ポートグループのブリッジを設定すると、IPTV機器とルーターのインターネットポートの間で送信されるパケットがルーターのネットワークアドレス変換（NAT）サービスによって処理されないようにできます。

▶ポートグループを設定してブリッジを有効にします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [VLAN/IPTV設定] を選択します。
[VLAN/IPTV設定] ページが表示されます。
5. [VLAN/IPTVセットアップを有効にする] チェックボックスを選択します。
ページが展開されます。

6. [ブリッジグループごと] ラジオボタンを選択します。



7. [有線ポート] のチェックボックスを選択するか、[ワイヤレス] のチェックボックスを選択します。

- お使いの機器がルーターのLANポートに接続されている場合は、機器が接続されているルーターのLANポートに対応する [有線ポート] のチェックボックスを選択します。
- お使いの機器がルーターの無線LANネットワークに接続されている場合は、機器が接続されているルーターの無線LANネットワークに対応する [ワイヤレス] のチェックボックスを選択します。

注 少なくとも1つの [有線ポート] または [ワイヤレス] のチェックボックスを選択する必要があります。複数のチェックボックスを選択できます。

8. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

VLANタググループのブリッジの設定

ルーターの有線LANポートまたは無線ネットワークに接続されている機器の中にIPTVの機器が含まれている場合は、プロバイダーから、ルーターのインターネットインターフェイス用にVLANタググループのブリッジを設定するように求められことがあります。

IPTVのサービスに加入している場合、ルーターはインターネットトラフィックとIPTVトラフィックの間でVLANタグを区別することが必要になる場合があります。VLANタググループのブリッジを設定すると、IPTV機器とルーターのインターネットポートの間で送信されるパケットがルーターのネットワークアドレス変換 (NAT) サービスによって処理されないようにできます。

ブリッジにVLANタググループを追加し、VLANタググループごとにVLAN IDと優先度の値を割り当てることができます。

▶VLANタググループを追加してブリッジを有効にします。

- ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
 - 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
 - ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [VLAN/IPTV設定] を選択します。
[VLAN/IPTV設定] ページが表示されます。
5. [VLAN/IPTVセットアップを有効にする] チェックボックスを選択します。
ページが展開されます。
6. [VLANタググループごと] ラジオボタンを選択します。



7. [追加] ボタンをクリックします。
[VLANルールの追加] ページが表示されます。
8. 次の表の説明に従って設定を指定します。

欄	説明
名前	VLANタググループの名前を入力します。 使用できるのは最大で10文字です。
VLAN ID	1~4094の値を1つ入力します。
優先度	0~7の値を1つ入力します。
有線LANポートまたは無線LANポートのチェックボックスを選択します。 お使いの機器がルーターのLANポートに接続されている場合は、機器が接続されているルーターのLANポートに対応するポートのチェックボックスを選択します。お使いの機器がルーターの無線LANネットワークに接続されている場合は、機器が接続されているルーターの無線LANネットワークに対応する無線LANのチェックボックスを選択します。 少なくとも1つの有線LANポートまたは無線LANポートを選択する必要があります。複数のポートを選択できます。	

9. [追加] ボタンをクリックします。
VLANタググループが追加されます。
10. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

イントラネットポートをリースするためのIPTVポートの設定

IPTVサービスプロバイダーからIPアドレスをリースできるインターネットプロトコルテレビジョン（IPTV）ポートを作成するようルーターを設定することができます。この機能の使用は、イントラネットアドレスが必要なIPTVサービスに加入している場合に限定してください。

IPTVポートにはプロバイダーのネットワーク内のIPアドレス（イントラネットアドレス）が必要なため、一部のIPTVポートはNATの背後では機能しません。WANからLANポートの1つにブリッジ接続を設定することができます。IPTVが無線LANで接続されている場合、自宅のルーターは、無線LANのネットワーク名（SSID）へのWANポートのブリッジをサポートしている必要があります。指定されたLANポートまたは無線LAN名はIPTVポートになり、NATを経由せずに直接WANにアクセスできます。

▶ IPTVポートを設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [VLAN/IPTV設定] を選択します。
[VLAN/IPTV設定] ページが表示されます。
5. [VLAN/IPTVセットアップを有効にする] チェックボックスを選択します。
ページが展開されます。
6. [ブリッジグループごと] ラジオボタンを選択します。



7. [有線ポート] のチェックボックスを選択するか、[ワイヤレス] のチェックボックスを選択します。
 - お使いの機器がルーターのLANポートに接続されている場合は、機器が接続されているルーターのLANポートに対応する [有線ポート] のチェックボックスを選択します。
 - お使いの機器がルーターの無線LANネットワークに接続されている場合は、機器が接続されているルーターの無線LANネットワークに対応する [ワイヤレス] のチェックボックスを選択します。

注 少なくとも1つの [有線ポート] または [ワイヤレス] のチェックボックスを選択する必要があります。複数のチェックボックスを選択できます。

8. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

カスタムの静的ルート

通常は、ネットワーク上でルーターやIPサブネットを複数使用する場合を除き、静的ルートを追加する必要はありません。

静的ルートが必要とされる例として、次の場合が考えられます。

- 主要なインターネットアクセスが、プロバイダーへのケーブルモデム経由である。
- ホームネットワークに、勤務先企業に接続するためのISDNルーターが組み込まれている。このルーターのアドレスは192.168.1.100である。
- 勤務先企業のネットワークアドレスは134.177.0.0である。

ルーターをセットアップしたときに、絶対的な静的ルートが2つ作成されました。デフォルトのルートは、プロバイダーによりゲートウェイとして作成され、2つ目の静的ルートは、すべての192.168.1.xアドレスのローカルネットワークに対して作成されました。この設定では、134.177.0.0ネットワーク上の機器にアクセスしようとすると、ルーターはリクエストをプロバイダーに転送します。プロバイダーはリクエストを勤務先企業に転送し、このリクエストは企業のファイアウォールでおそらく拒否されます。

この場合、静的ルートを定義し、192.168.1.100にあるISDNルーター経由で134.177.0.0にアクセスする必要があることをルーターに伝える必要があります。以下に例を示します。

- [ターゲットIPアドレス] 欄と [サブネットマスク] 欄で、この静的ルートをすべての134.177.x.xアドレスに適用することを指定します。
- [ゲートウェイIPアドレス] 欄で、これらのアドレスに対するすべてのトラフィックを192.168.1.100にあるISDNルーターに転送するよう指定します。
- ISDNルーターはLAN上にあるため、メトリック値として1を指定すれば正しく機能します。
- [プライベート] チェックボックスは、RIPが有効になっている場合のセキュリティ対策としてのみ選択します。

静的ルートの設定

▶ 静的ルートを設定するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [静的ルート] を選択します。
[静的ルート] ページが表示されます。
5. [追加] ボタンをクリックします。
ページの表示が変更されます。
6. [Route Name] 欄に、この静的ルートの名前を入力します（識別目的のみ）。
7. LANのみにアクセスを制限し、[プライベート] チェックボックスを選択します。
[プライベート] チェックボックスが選択されている場合、この静的ルートはRIPで報告されません。
8. このルートを有効にするには [アクティブ] にチェックを入れます。
9. 目的地の [ターゲットIPアドレス] を入力します。
10. この目的地のIPサブネットマスクを入力します。
目的地がシングルホストの場合、**255.255.255.255** と入力します。
11. [ゲートウェイIPアドレス]を入力します。このアドレスは、ルーターと同じLANセグメント上にある必要があります。
12. [メトリック] の欄に1~15の数字を入力します。
この値は、あなたのネットワークと目的地との間にあるルーターの数を指します。通常は2または3に設定すれば正しく機能しますが、直接接続の場合は**1**に設定します。
13. [適用] ボタンをクリックします。
静的ルートが追加されます。

静的ルートの編集

▶ 静的ルートを編集するには

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [静的ルート] を選択します。
[静的ルート] ページが表示されます。
5. 表で、目的のルートのラジオボタンを選択します。
6. [編集] ボタンをクリックします。
[静的ルート] ページの内容が変わります。

7. ルート情報を編集します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

静的ルートの削除

▶ 静的ルートを削除するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [静的ルート] を選択します。
[静的ルート] ページが表示されます。
5. 表で、目的のルートのラジオボタンを選択します。
6. [削除] ボタンをクリックします。
表からルートが削除されます。

リンクアグリゲーション

リンクアグリゲーションを使用して、2つのギガビットイーサネットポートを組み合わせて、全体的なファイル転送速度を向上させることができます。リンクアグリゲーションは、イーサネットポートアグリゲーション、チーミングポート、ポートトランкиングとも呼ばれます。デバイスがリンクアグリゲーションをサポートしている場合、イーサネットアグリゲーションポート1および2を使用して、リンクアグリゲーションをサポートしているデバイスをルーターに接続します。

注 リンクアグリゲーションで最大のパフォーマンスを実現するには、1台目のPCの有線接続にはLANポート3を、2台目以降のPCの有線接続にはLANポート4、5、6の順に使用することを推奨します。ポート4、5、6間の最大速度は1Gbpsに制限されます。

モデルRN100/200/300/500/700デスクトップシリーズや、ReadyNAS RN2000/3000/4000ラックマウントシリーズなど、2つのイーサネットポートを備えるNETGEAR ReadyNAS機器は、リンクアグリゲーションをサポートします。



図5：リンクアグリゲーション

イーサネットポートアグリゲーションのセットアップ

►イーサネットポートアグリゲーションをセットアップするには

1. スイッチを接続している場合は、スイッチが802.3ad LACPをサポートしていることを確認してください。
LANケーブルをルーターに接続する前にスイッチを設定する必要があります。



警告

ブロードキャストループによってネットワークがシャットダウンすることを防ぐために、アンマネージスイッチをルーターのイーサネットアグリゲーションポート1およびポート2に接続しないでください。

2. NAS、ネットワークスイッチなどのリンクアグリゲーション対応機器をルーターのLANポート1とLANポート2にLANケーブルで接続します。
3. ルーターのLANポート1とLANポート2に接続された機器でリンクアグリゲーションを設定します。
リンクアグリゲーションの設定方法について詳しくは、NASやスイッチに付属のマニュアルをご覧ください。

イーサネットポートのアグリゲーションのステータスの表示方法については、[リンクアグリゲーションステータスの表示](#)（75ページ）を参照してください。

リンクアグリゲーションステータスの表示

ルーターの指定されたリンクアグリゲーションポートに接続されているデバイスのリンクアグリゲーションのステータスを表示することができます。デバイスはリンクアグリゲーションをサポートしている必要があります。

►リンクアグリゲーションのステータスを表示するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [リンクアグリゲーション] を選択します。

[リンクアグリゲーション] ページが表示されます。

リンクアグリゲーションのステータスがこのページに表示されます。

リンクアグリゲーションのルーターの設定の変更

ルーターの指定されたリンクアグリゲーションポートに接続されているデバイスのリンクアグリゲーションのステータスを表示することができます。デバイスはリンクアグリゲーションをサポートしている必要があります。

▶リンクアグリゲーションのルーターの設定を変更するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。

2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [リンクアグリゲーション] を選択します。

[リンクアグリゲーション] ページが表示されます。

5. ルーターの設定オプションを選択します。

- **無効**：ルーターのリンクアグリゲーション機能を無効にします。 LANポート1とLANポート2は独立したLANポートとして使用することができます。
- **有効 (LACP-IEEE 803.3ad)**：ルーターはLANポート1およびLANポート2に接続された機器と通信し、機器でリンクアグリゲーションがサポートされているかどうか確認します。リンクアグリゲーションがサポートされている場合は、ルーターは自動的にLANポート1とLANポート2を束ねます。サポートされていない場合は、LANポート1とLANポート2は独立したLANポートとして動作します。このオプションはデフォルトで選択されます。NASまたはスイッチが静的LAGのみをサポートできる場合を除いて、このオプションを選択することをお勧めします。
- **静的LAGを有効にする**：デバイスが静的LAGのみをサポートしている場合は、このオプションを選択します。それ以外の場合は、[有効 (LACP-IEEE 803.3ad)] ラジオボタンを選択することをお勧めします。

注 デバイスをルーターのイーサネットポート1およびポート2に接続する前に静的LAGモードを有効にする必要があります。

パフォーマンスの最適化

6

インターネットゲーム、高精細ビデオストリーミング、VoIP通信などの用途に合わせてパフォーマンスを最適化するようにルーターを設定することができます。デフォルトでは、ルーターはWi-FiマルチメディアQoS (WMM QoS) を使用します。

この章には次の内容が含まれます。

- *Universal Plug and Playによるネットワーク接続の改善* (80ページ)
- *Wi-FiマルチメディアのQoS* (81ページ)

Dynamic QoSによるインターネットトラフィック管理の最適化

Dynamic QoSは、アプリケーションや機器を識別し、帯域幅の割り当てやトラフィックの優先順位付けを行います。

Dynamic QoSの有効化

Dynamic QoSはデフォルトでは無効になっています。

► Dynamic QoSを有効にします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. モデムルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. **[QoS]** を選択します。
[QoS設定] ページが表示されます。
5. **[Dynamic QoS]** チェックボックスを選択します。
6. インターネット帯域幅を指定します。
Dynamic QoSで帯域幅の割り当てとトラフィックの優先順位付けを実行できるようにインターネット帯域幅を指定する必要があります。速度テストを使ってインターネット帯域幅を検出することを推奨します。
速度テストを使用するには、以下の操作を実行します。
 - a. 速度テスト結果の精度を上げるため、ほかの機器がインターネットにアクセスしていないことを確認します。
 - b. **[速度テストを行いインターネット帯域幅を検出する(推奨)]** ラジオボタンを選択します。
 - c. **[スピードテストを行う]** ボタンをクリックします。
速度テストにより、インターネット帯域幅が判別されます。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ページの下部に、クリックすると帯域幅の利用状況が示されるリンクが表示されます。リンクをクリックすると、**[接続デバイス]** ページが表示されます。詳細については、[ネットワーク上にある機器の表示](#) (91ページ) を参照してください。

自動QoSデータベースアップデートの有効化または無効化

ルーターは、最も一般的なアプリケーションやサービスのQoSデータベースを使用してDynamic QoSを実装します。デフォルトでは、ルーターは自動的にこのデータベースをアップデートします。この機能をオフにして、手動でデータベースをアップデートできます。

► Dynamic QoSデータベースの自動アップデートを有効または無効にします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. モデムルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. **[QoS]** を選択します。
[QoS設定] ページが表示されます。Dynamic QoSを使用している場合は、**[Dynamic QoSを有効にする]** チェックボックスが選択されています。
5. **[パフォーマンス最適化データベースを自動的にアップデート]** チェックボックスを選択または選択解除します。
6. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

Dynamic QoSデータベースの手動アップデート

ルーターは、最も一般的なアプリケーションやサービスのQoSデータベースを使用してDynamic QoSを実装します。デフォルトでは、Dynamic QoSを有効にするとルーターはこのデータベースを自動的にアップデートしますが、自動アップデート機能をオフにした場合は、手動でデータベースをアップデートできます。

► Dynamic QoSデータベースを手動でアップデートします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. モデムルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. **[QoS]** を選択します。
[QoS設定] ページが表示されます。Dynamic QoSを使用している場合は、**[Dynamic QoS]** チェックボックスが選択されています。
5. **[今すぐアップデート]** ボタンをクリックします。

ルーターはデータベースの最新バージョンを確認してダウンロードします。

6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

Dynamic QoSアナリティクスへの参加

NETGEARでは、最も一般的なアプリケーションやサービスのQoSデータベースを使用してDynamic QoSを実行します。新しいアプリケーションやサービスが一般的になると、NETGEARではこのデータベースをアップデートし、Dynamic QoSが有効になっている場合はルーターを自動的にアップデートします。Dynamic QoS機能の向上に役立てるため、収集したQoS情報の共有に参加することができます。

► Dynamic QoSアナリティクスに参加します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [QoS] を選択します。
[QoS設定] ページが表示されます。
5. Dynamic QoSを有効にしていることを確認します。
Dynamic QoSの有効化の詳細については、*Dynamic QoSの有効化* (78ページ) を参照してください。
6. [アナリティクスをNETGEARと共有しDynamic QoS機能の向上に役立てる] チェックボックスを選択します。
アナリティクスの共有に関する詳細情報がポップアップウィンドウに表示されます。デフォルトで [はい] ラジオボタンが選択されています。
7. 情報を確認し、[送信] ボタンをクリックします。
8. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

Universal Plug and Playによるネットワーク接続の改善

UPnP (Universal Plug and Play) は、PCや周辺機器、家電製品などの機器を接続するだけでネットワーク上での利用を可能にするための技術です。UPnP機器は、ネットワーク上の他の登録済みUPnP機器から自動的にサービスを検出することができます。

マルチプレイヤーゲーム、ピアツーピア接続、またはインスタントメッセージングやリモートアシスタンス (Windows XPの機能) といったリアルタイム通信のアプリケーションを使用する場合は、UPnPを有効にしてください。

▶ UPnPを有効にします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. モデムルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [UPnP] を選択します。
[UPnP] ページが表示されます。
5. [UPnP起動] チェックボックスを選択します。
デフォルトではこのチェックボックスは選択されています。 UPnPの自動機器設定を有効、または無効に設定することができます。 [UPnP起動] チェックボックスのチェックを外すと、ルーターは他の機器に対し、ルーターのポート転送（マッピング）などのリソース自動制御を許可しません。
6. 通知間隔（分）を入力します。
通知間隔では、ルーターがUPnP情報をブロードキャストする頻度を指定します。 1~1440分の間で設定してください。 デフォルトは30分に設定されています。 間隔を短く設定すると、ネットワークトラフィックは増加しますが、機器の状態を最新に保つことができます。 間隔を長く設定すると、機器の状態の更新間隔は長くなりますが、ネットワークトラフィックを大幅に削減することができます。
7. 通知の有効期限をホップ数で入力します。
通知の有効期限は各UPnPパケットが送信するホップ（ステップ）数で表します。 ホップ数とは、パケットがルーター間を経由するステップ数です。 ホップ数は1~255の間で設定します。 デフォルトの通知有効期限は4ホップに設定されており、ほとんどのホームネットワークでは問題ありません。 一部の機器が正しくアップデートされていない場合は、この値を上げてみてください。
8. [適用] ボタンをクリックします。
UPnPポートマップテーブルには、ルーターにアクセスしているUPnP機器のIPアドレスと機器が開いたポート（内部および外部）が表示されます。 UPnPポートマップテーブルにはどのタイプのポートが開いており、ポートが各IPアドレスに対しアクティブであるかどうかも表示します。

UPnPポートマップテーブルの情報を更新するには、 [更新] ボタンをクリックします。

Wi-FiマルチメディアのQoS

Wi-FiマルチメディアQoS (WMM QoS) は、無線接続におけるワイヤレス音声およびビデオトラフィックを優先順位付けします。 WMM QoSは、モデムルーターで自動的に有効になります。

WMM QoSは、音声、ビデオ、ベストエフォート、バックグラウンドという4種類のアクセスカテゴリに基づき、さまざまなアプリケーションからのワイヤレスデータパケットを優先順位付けします。 WMM QoSを利用するには、アプリケーション自身とそのアプリケーションを実行するクライアントの両方でWMMが有効になっている必要があります。 WMMに対応していない従来からのアプリケーションやQoSを必要

としないアプリケーションは、ベストエフォートカテゴリに分類され、音声やビデオよりも低い優先度が割り当てられます。

注 WMM設定を無効にすることはお勧めしません。

▶WMM設定を無効にするには

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. モデムルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [QoS設定] を選択します。
[QoS] ページが表示されます。
5. [WMM (Wi-Fiマルチメディア) 設定を有効にする (2.4 GHz b/g/n)] チェックボックスのチェックを外します。
6. [WMM (Wi-Fiマルチメディア) 設定を有効にする (5GHz a/n/ac)] チェックボックスのチェックを外します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ネットワークの管理

7

この章ルーターでは、ご利用のとホームネットワークを維持管理するためのルーター設定を説明しています。この章には次の内容が含まれます。

- ルーターファームウェアのアップデート (84ページ)
- 管理者パスワードの変更とパスワードの復元有効化 (85ページ)
- パスワード復元の設定 (86ページ)
- 管理者パスワードの復元 (87ページ)
- ルーターステータスの表示 (87ページ)
- インターネットポート統計の表示 (88ページ)
- インターネット接続ステータスの確認 (89ページ)
- ルーターактивитиのログの表示と管理 (90ページ)
- ネットワーク上にある機器の表示 (91ページ)
- インターネットトラフィックの監視 (92ページ)
- ルーター設定ファイルの管理 (93ページ)
- リモートアクセス (95ページ)
- デスクトップNETGEAR genieアプリを使用したリモートアクセス (96ページ)

ルーターファームウェアのアップデート

ルーターにログインして新しいファームウェアが使用可能かどうかを確認することや、特定のファームウェアのバージョンをルーターに手動でロードすることができます。

最新ファームウェアのチェックとルーターの更新

ルーターのファームウェア(ルーティングソフトウェア)はフラッシュメモリに保存されています。ルーターの新しいファームウェアが利用可能になると、ルーターの管理ページの上部にメッセージが表示されることがあります。そのメッセージをクリックしてファームウェアをアップデートすることも、手動で新しいファームウェアが利用可能かどうかを確認してアップデートすることもできます。

注 イーサネット接続を使用してコンピューターをルーターに接続し、ファームウェアを更新することをお勧めします。

▶最新ファームウェアをチェックし、ルーターを更新するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [ファームウェア更新] を選択します。
[ファームウェア更新] ページが表示されます。
5. [確認] ボタンをクリックします。
使用可能なファームウェアがある場合は、ルーターに新しいファームウェアをダウンロードするかどうか確認するメッセージが表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックします。
ルーターがファームウェアを見つけてダウンロードし、アップデートを開始します。



警告

ファームウェアの破損を回避するため、アップデートを中断しないでください。
例えば、ブラウザーを閉じたり、リンクをクリックしたり、新しいページを読み込んだりしないでください。ルーターの電源を切らないでください。

アップロードが完了すると、ルーターが再起動します。アップデートプロセスは通常、約1分かかります。新しいファームウェアのリリースノートを読み、アップデート後にルーターの再設定が必要かどうかを確認してください。

手動によるルーターへのファームウェアのアップロード

特定のファームウェアのバージョンをアップロードする場合、またはルーターでファームウェアの自動更新に失敗した場合は、次の手順に従います。

注 イーサネット接続を使用してコンピューターをルーターに接続し、ファームウェアをアップロードすることをお勧めします。

▶ ファームウェアファイルをルーターに手動でアップロードするには

1. ルーターのファームウェアを [NETGEAR Download Center](#) からダウンロードして、デスクトップに保存し、必要に応じて解凍します。

注 正しいファームウェアファイルでは、.imgまたは.chkの拡張子が使用されています。

2. イーサネット接続を使用してネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
3. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
5. [高度] > [管理者] > [ファームウェア更新] を選択します。
[ファームウェア更新] ページが表示されます。
6. [参照] ボタンをクリックします。
7. コンピューターで保存されているファームウェアを見つけて選択します。

注 この処理を中断すると、ルーターが壊れて使用できなくなる可能性があるので中断しないでください。ファームウェアがアップロードされた後にルーターが再起動します。ルーターが再起動しない場合は、[Router Status] ページで、新しいファームウェアのバージョンがアップロードされたかどうかを確認してください。

管理者パスワードの変更とパスワードの復元有効化

管理者のユーザー名 admin を使用して、ルーターにログインするためのデフォルトのパスワードを変更することができます。このパスワードは、ワイヤレスアクセスに使用するパスワードとは異なります。

注 ユーザー名「admin」の管理者パスワードを安全なパスワードに変更してください。どの言語の辞書にある単語も使用せず、大文字と小文字、数字、記号を混在させることを推奨します。使用できるのは最大で30文字です。

►管理者のユーザー名を変更し、パスワードの復元を有効にするには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [新しいパスワード] を選択します。
[新しいパスワード] ページが表示されます。
5. [現在のパスワード] フィールドに古いパスワードを入力します。
6. [新しいパスワード] フィールドおよび [新しいパスワードの再入力] フィールドに新しいパスワードを入力します。
7. パスワードを復元できるようにするには、[パスワード復元を有効にする] チェックボックスを選択し、セキュリティに関する2つの質問に回答します。
パスワード復元を有効にすることを推奨します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

パスワード復元の設定

ルーター管理者のパスワードを変更した場合にパスワードの復元を有効にすることを推奨します。そうすれば、パスワードを忘れても復元できます。この復元プロセスは、Internet Explorer、Firefox、Chrome のブラウザーでサポートされますが、Safari ブラウザーではサポートされません。

►パスワードの復元を設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [新しいパスワード] を選択します。

[新しいパスワード] ページが表示されます。

5. [パスワードの復元を有効にする] チェックボックスを選択します。
6. セキュリティに関する2つの質問を選択し、それらの回答を入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

管理者パスワードの復元

▶ パスワードを復元します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. [キャンセル] ボタンをクリックします。
パスワード復元が有効な場合は、ルーターのシリアル番号の入力が求められます。
シリアル番号は、ルーターのラベルに記載されています。
4. ルーターのシリアル番号を入力します。
5. [続ける] ボタンをクリックします。
セキュリティの質問への回答を求めるウィンドウが開きます。
6. セキュリティの質問に対する保存済みの回答を入力します。
7. [続ける] ボタンをクリックします。
ウィンドウが開いて、復元されたパスワードが表示されます。
8. [もう一度ログイン] ボタンをクリックします。
ログインウィンドウが開きます。
9. 復元されたパスワードを使って、ルーターにログインします。

ルーターステータスの表示

▶ ルーターステータスと使用状況の情報を表示するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

- [高度] タブをクリックします。



お使いのルーターで表示される情報は、この例と異なる場合があります。プロバイダー (ISP) からインターネットアドレスをリースするようにルーターが設定されている場合は、[インターネットポート] のカテゴリに [IPアドレス] 、 [接続] 、および [サブネットマスク] のインターネット値が括弧付きで表示されます。

インターネットポート統計の表示

- ▶インターネットポート統計を表示します。

- ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
- アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
- ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
- [高度] タブをクリックします。
NETGEAR genieの高度なホームページが表示されます。

5. [インターネットポート] のカテゴリで、[統計を表示] ボタンをクリックします。

システムの稼働時間 00:07:20							
ポート	ステータス	送信パケット数	受信パケット数	コリジョン	送信速度	受信速度	稼働時間
WAN	1000M/フル	27719	45407	0	6166	128585	00:07:03
SFP+	リンクダウン	0	0	0	0	0	00:00:00
LAN 1	Link Down	38436	25881	0	126119	3230	00:00:00
LAN 2	Link Down						00:00:00
LAN 3	Link Down						00:00:00
LAN 4	Link Down						00:00:00
LAN 5	Link Down						00:00:00
LAN 6	1000M/フル						00:06:05
WLAN b/g/n	800M	7561	3155	0	5804	2479	00:06:47
WLAN a/n/ac	1733M	4067	11	0	0	0	00:06:44
WLAN ad	4.6Gbps	0	0	0	0	0	00:06:39

サンプリング間隔 : 5 (secs) 間隔の設定 停止

以下の情報が表示されます。

- **システムの稼働時間** ルーターが最後に再起動されてからの経過時間です。
- **ポート WAN (インターネット) ポート、SFP+ポート、LAN (イーサネット) ポート、WLANの統計**です。各ポートについて、画面に以下の情報が表示されます。
 - **ステータス**：ポートのリンクステータスです。
 - **送信パケット数**：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで送信されたパケットの数です。
 - **受信パケット数**：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで受信されたパケットの数です。
 - **コリジョン**：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで発生したコリジョンの数です。
 - **送信速度**：WANポートやLANポートで使用された現在の送信速度です。
 - **受信速度**：WANポートやLANポートで使用された現在の受信速度です。
 - **稼働時間**：このポートが接続されてからの経過時間です。
 - **サンプリング間隔**：このページで統計が更新される間隔です。

6. サンプリングの周期を変更するには、[サンプリング間隔] 欄に時間を秒単位で入力し、[間隔の設定] ボタンをクリックします。
完全にサンプリングを停止するには、[停止] ボタンをクリックします。

インターネット接続ステータスの確認

▶ルーターがWANイーサネット接続に接続されている場合にインターネット接続のステータスを確認するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] タブをクリックします。

NETGEAR genieの高度なホームページが表示されます。

5. [インターネットポート] のカテゴリで、[接続ステータス] ボタンをクリックします。

接続ステータス

IPアドレス	10.110.2.155
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	10.110.2.1
DHCP サーバー	10.110.2.1
DNS サーバー	10.110.2.1 10.110.2.22 10.110.2.1
リース取得	1日, 0時, 0分
リース期限	0日, 23時, 52分

リリース 更新

× ウィンドウを閉じる

以下の情報が表示されます。

- IPアドレス**：ルーターに割り当てられたIPアドレスです。
- サブネットマスク**：ルーターに割り当てられたサブネットマスクです。
- デフォルトゲートウェイ**：ルーターが通信するデフォルトゲートウェイのIPアドレスです。
- DHCPサーバー**：ルーターに接続されたすべてのコンピュータに対しTCP/IP構成を提供するDHCPサーバのIPアドレスです。
- DNSサーバー**：ネットワーク名からIPアドレスへの変換機能を提供するDNSサーバーのIPアドレスです。
- リース取得**：リースが取得された日付と時刻です。
- リース期限**：リースが期限切れになる日付と時刻です。

6. 全項目のステータスを0に戻すには、[リリース] ボタンをクリックします。

7. 画面を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

8. この画面を終了するには、[ウィンドウを閉じる] ボタンをクリックします。

ルーターアクティビティのログの表示と管理

ログは、アクセスしたサイトやアクセスしようとしたサイト、その他のルーターアクティビティの詳細な記録です。ログには最大256のエントリが保存されます。

▶ **ログを表示および管理します。**

- ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
- アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [管理者] > [ログ] を選択します。

現在時刻: 2015年12月11日(金曜日) 12:18:03
 [UPnP set event: Public_UPNP_C5] from source 192.168.1.2,
 Friday, Dec 11, 2015 11:35:02
 [UPnP set event: Public_UPNP_C5] from source 192.168.1.2,
 Friday, Dec 11, 2015 11:32:19
 (Time synchronized with NTP server) Friday, Dec 11, 2015

ログに含む:

[ログ] ページには以下の情報が表示されます。

- **アクション**: インターネットアクセスがブロックされた、または許可されたなどの、発生したアクションです。
- **ソースIP**: このログの発生元の機器のIPアドレスです。
- **ターゲットアドレス**: アクセスしたウェブサイトやニュースグループの名前またはIPアドレスです。
- **日付と時刻**: ログエントリが記録された日付と時刻です。

5. ログをカスタマイズするには、下にスクロールして、[ログに含む] セクションのチェックボックスを選択するか選択を解除します。
6. ログ画面を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。
7. ログを消去するには、[ログを消去] ボタンをクリックします。
8. ログを直ちにメールで送信するには、[ログ送信] ボタンをクリックします。
9. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

ネットワーク上にある機器の表示

現在ネットワークに接続されているすべてのPCや機器を表示できます。

▶ネットワーク上にある機器を表示します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ネットワークの管理

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [接続デバイス] を選択します。

[接続デバイス] ページに、LANケーブルで（有線接続で）ルーターに接続されている機器、またはワイヤレスネットワークのワイヤレス帯に接続されている機器が表示されます。

ルーターはネットワークに接続したときに各機器にIPアドレスを割り当てる所以、機器のIPアドレスは変わることがあります。各機器の一意のMACアドレスで、変更されることはありません。

5. ページを更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

インターネットトラフィックの監視

トラフィックメーターを使用すると、ルーターのインターネットポートを通過するインターネットトラフィックの量を監視することができます。トラフィック量の制限を設定したりできます。

▶インターネットトラフィックを監視します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。

2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [トラフィックメーター] を選択します。

[Traffic Meter] ページが表示されます。

5. [トラフィックメーターを有効にする] チェックボックスを選択します。

6. インターネットトラフィックの容量を制御するには、トラフィック容量の制御または接続時間制御のいずれかの機能を使用できます。

- [トラフィック容量の制御] ラジオボタンを選択し、次のいずれかのオプションを選択します。

• 制限なし：トラフィック容量の限度に達しても制限を適用しません。

• ダウンロードのみ：制限は受信トラフィックにのみ適用されます。

• 双方向：制限は受信と送信双方のトラフィックに適用されます。

- [接続時間制御] ラジオボタンを選択し、許可する時間数を [月次制限] 欄に入力します。

7. 新しい接続を作成するとプロバイダーが追加のデータ容量に対して課金する場合は、[各接続のデータ容量をラウンドアップ] 欄に、その追加データ容量をMB単位で入力します。

8. [トラフィックカウンター] 欄で、特定の日時に始まるようにトラフィックカウンターを設定します。

トラフィックカウンターを直ちに始めるには、【カウンターをリセットする】ボタンをクリックします。

9. [トラフィック制御] セクションで、月次制限のMB数または時間数に達する前に、ルーターから警告メッセージを発行する必要があるかどうかを指定します。
デフォルトの値は0で、警告メッセージは発行されません。制限に達したときに以下のいずれかを行うように選択できます。
 - インターネットLEDを白またはオレンジで点滅させる。
 - インターネット接続を切断し、無効にする。
10. [適用] ボタンをクリックします。
[インターネットトラフィック統計] セクションは、データトラフィックの監視に役立ちます。
11. [インターネットトラフィック統計] セクションを更新するには、[更新] ボタンをクリックします。
12. ルーター上のデータトラフィックに関する詳細情報を表示したり、サンプリング間隔を変更するには、[トラフィックスステータス] ボタンをクリックします。

ルーター設定ファイルの管理

ルーターの設定は、ルーターの構成ファイルに保存されています。このファイルは、PCにバックアップ（保存）したり、復元したり、工場出荷時の初期設定に戻したりすることができます。

設定のバックアップ

▶ルーターの構成をバックアップするには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「admin」です。デフォルトのパスワードは「password」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。
[設定のバックアップ] ページが表示されます。
5. [バックアップ] ボタンをクリックします。
6. ブラウザーの指示に従ってファイルを保存します。

現在の設定の消去

現在の設定を消去し、工場出荷時の初期設定に復元することができます。この操作は、ルーターを別のネットワークに移動した場合に実行することもできます。（[工場出荷時の設定](#)（166ページ）を参照してください）。

▶設定を消去します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。
[設定のバックアップ] ページが表示されます。
5. [消去] ボタンをクリックします。
工場出荷時の初期設定に復元されます。ユーザー名は「admin」、パスワードは「password」、LAN IPアドレスは「192.168.1.1」になります。DHCPが有効になります。

設定の復元

▶バックアップした設定を復元します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。
[設定のバックアップ] ページが表示されます。
5. [参照] ボタンをクリックし、.cfg ファイルを見つけて選択します。
6. [復元] ボタンをクリックします。
ファイルがルーターにアップロードされ、ルーターが再起動します。



警告

再起動プロセスを中断しないでください。

リモートアクセス

インターネット経由でルーターにアクセスしてルーターの設定を確認または変更することができます。この機能を使用するには、ルーターのWAN IPアドレスが必要です。ダイナミックDNSを使用したリモートアクセスについては、[ダイナミックDNSの設定と管理](#) (112ページ) を参照してください。

注 ユーザー名「admin」の管理者パスワードを安全なパスワードに変更してください。
どの言語の辞書にある単語も使用せず、大文字と小文字、数字、記号を混在させることを推奨します。使用できるのは最大で30文字です。[管理者パスワードの変更とパスワードの復元有効化](#) (85ページ) を参照してください。

リモート管理の設定

▶リモート管理を設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. アドレスフィールドに「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [リモート管理] を選択します。
[リモート管理] ページが表示されます。
5. [リモート管理を有効にする] チェックボックスを選択します。
6. [次のリモートアクセスを許可] セクションで、ルーターのリモート管理にアクセスすることを許可する外部IPアドレスを指定します。

注 安全性を高めるためには、アクセスをできるだけ限られた外部IPアドレスのみに限定することを推奨します。

以下のいずれかを選択します。

- **このPCのみ**：インターネットの1つのIPアドレスからのアクセスを許可します。アクセスを許可するIPアドレスを入力します。
 - **IPアドレス範囲**：インターネットの一定の範囲のIPアドレスからのアクセスを許可します。開始IPアドレスと終止IPアドレスを入力し、許可する範囲を定義します。
 - **全員**：インターネットのすべてのIPアドレスからのアクセスを許可します。
7. NETGEAR genie（ルーター管理画面）にアクセスするためのポート番号を指定します。
通常のウェブブラウザーアクセスでは、標準HTTPサービスのポート80が使用されます。安全を高めるためには、リモートウェブ管理画面用のカスタムポート番号を入力してください。1024から65535

までの番号を選択してください。ただし、共通サービスポートの番号は使用しないでください。デフォルトは8443です。これは、HTTP用の一般的な代替ポート番号です。

8. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

リモートアクセスの使用

►リモートアクセスを使用します。

1. ホームネットワーク上にないPCやモバイル端末でウェブブラウザーを起動します。
2. ルーターのWAN IPアドレスをブラウザーのアドレス欄や場所の欄に入力し、コロン（:）で区切ってからカスタムポート番号を入力します。
例えば、外部アドレスが134.177.0.123で、ポート番号8443を使用する場合、ブラウザーには「<http://134.177.0.123:8443>」と入力します。

デスクトップNETGEAR genieアプリを使用したリモートアクセス

デスクトップNETGEARgenieアプリを使って、ルーターにリモートアクセスしてルーターの設定を変更することができます。デスクトップNETGEAR genieアプリでリモートアクセスを使用するには、ルーターのファームウェアをアップデートし、お使いのPCまたはモバイルデバイス用の最新のデスクトップNETGEAR genieアプリをダウンロードする必要があります。デスクトップNETGEARgenieアプリを使ったリモートアクセスは、Windows PC、iOSモバイルデバイス、およびAndroidモバイルデバイスでサポートされます。

ルーターのファームウェアをアップデートする方法の詳細については、[最新ファームウェアのチェックとルーターの更新](#) (84ページ) を参照してください。

お使いのPCまたはモバイルデバイス用の最新のデスクトップNETGEAR genieアプリをダウンロードするには、<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/netgear-genie/>にアクセスしてください。デスクトップNETGEAR genieアプリを使用してリモートアクセスを設定する方法の詳細については、<http://www.netgear.jp/supportInfo/>から入手できるデスクトップNETGEAR genieアプリのユーザーマニュアルを参照してください。

ルーターに接続されたUSBストレージドライブの共有 8

この章では、ルーターに接続されたストレージドライブにアクセスして管理する方法について説明します。ReadySHAREを使用すると、ルーターに接続されたUSBストレージドライブにアクセスして共有することができます。（専用のドライバーを使用するストレージドライブとは互換性がなく、使用できません。）

注 ルーターのUSBポートは、フラッシュドライブやハードドライブといったUSBストレージドライブ、またはプリンターを接続するためにのみ使用できます。ルーターのUSBポートにコンピュータ、USB モデム、CD ドライブ、DVD ドライブを接続しないでください。

この章には次の内容が含まれます。

- *USB ドライブの要件* (98ページ)
- *ルーターへのUSBストレージドライブの接続* (98ページ)
- *ルーターに接続されたストレージドライブへのWindows PCからのアクセス* (99ページ)
- *Windows ネットワークドライブへのUSB ドライブの割り当て* (99ページ)
- *ルーターに接続されたストレージドライブへのMacからのアクセス* (100ページ)
- *ReadySHARE Vaultを使用したWindows PCのバックアップ* (100ページ)
- *Time Machineを使用したMacのバックアップ* (101ページ)
- *ドライブ全体またはファイルのAmazon Driveへのバックアップ* (103ページ)
- *ネットワーク内のFTPの使用* (105ページ)
- *ストレージドライブのネットワークフォルダーの表示または変更* (105ページ)
- *USBストレージドライブへのネットワークフォルダーの追加* (106ページ)
- *USBストレージドライブでのネットワークフォルダーの編集* (107ページ)
- *NETGEARダウンローダーの設定* (107ページ)
- *USBストレージドライブの安全な取り外し* (110ページ)

ReadySHAREの機能の詳細については、<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readyshare/>を参照してください。

USBドライブの要件

ルーターでは、ほとんどのUSB対応の外付けフラッシュドライブおよびハードドライブを使用できます。ルーターでサポートされるUSBドライブの最新リストについては、kb.netgear.com/app/answers/detail/a_id/18985/~/readyshare-usb-drives-compatibility-listを参照してください。

一部のUSBフラッシュドライブおよびハードドライブは、USBストレージドライブにアクセスするためにPCにドライバーをロードする必要があります。このようなUSBストレージ機器はルーターでは使用できません。

ルーターの読み書きのフルアクセスは、次のファイルシステムで対応しています。

- FAT16
- FAT32[FAT32]
- NTFS
- NTFS（圧縮形式が有効）
- Ext2
- Ext3
- Ext4
- HFS
- HFS+

ルーターへのUSBストレージドライブの接続

ReadySHAREを使うと、適切なルーターのポートに接続されたUSBストレージドライブにアクセスして共有することができます。（専用のドライバーを使用するUSBストレージドライブとは互換性がなく、使用できません。）



図 6: USBストレージデバイスを接続する

▶USBドライブを接続します。

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに差し込みます。
 2. USBストレージドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。
その電源はUSBストレージドライブをルーターに接続するときに使用する必要があります。
- USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。

ルーターに接続されたUSBストレージドライブの共有

ルーターに接続されたストレージドライブへのWindows PCからのアクセス

▶ Windows PCからUSBストレージドライブにアクセスするには

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
USBストレージドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。

USBストレージドライブをルーターのポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。

2. [スタート] > [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. ダイアログボックスに「\\readyshare」と入力します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

自動的にウィンドウが開いて、USBストレージドライブ上のファイルとフォルダーが表示されます。

WindowsネットワークドライブへのUSBドライブの割り当て

▶ USBストレージデバイスをWindowsネットワークドライブに割り当てるには

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
USBストレージドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。

USBストレージドライブをルーターのポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべての無線LAN子機からストレージドライブを利用できます。

2. [スタート] > [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. ダイアログボックスに「\\readyshare」と入力します。
4. [OK] ボタンをクリックします。
5. USBドライブを右クリックし、[ネットワークドライブを割り当てる] を選択します。
6. 新しいネットワークフォルダーに割り当てるドライブ文字を選択します。
7. [完了] ボタンをクリックします。
指定したドライブ文字にUSBストレージドライブが割り当てられます。
8. 別のユーザーとしてUSBストレージドライブに接続するには、[別の資格情報を使用して接続する] チェックボックスを選択し、[完了] ボタンをクリックして、以下の操作を実行します。
 - a. ユーザー名とパスワードを入力します。
 - b. [OK] ボタンをクリックします。

ルーターに接続されたUSBストレージドライブの共有

指定したドライブ文字にUSBストレージドライブが割り当てられます。

ルーターに接続されたストレージドライブへのMacからのアクセス

ネットワーク上のPCや無線LAN子機から、ルーターに接続されたストレージドライブにアクセスできます。

▶ Macからストレージドライブにアクセスします。

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。

USBストレージドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。

USBストレージドライブをルーターのポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。

2. ネットワークに接続されたMacで、【移動】 > 【サーバへ接続】 を選択します。

3. 【サーバアドレス】 欄に、「**smb://readyshare**」と入力します。

4. メッセージが表示されたら、【ゲスト】 ラジオボタンを選択します。

ルーターでアクセス制御を設定し、Macにネットワークへのアクセスを許可した場合は、【Registered User】 ラジオボタンを選択し、名前として「**admin**」、パスワードとして「**password**」と入力します。アクセス制御に関する詳細は、[ネットワーク上にある機器の表示](#) (91ページ) を参照してください。

5. 【接続】 ボタンをクリックします。

自動的にウィンドウが開いて、USBストレージドライブ上のファイルとフォルダーが表示されます。

ReadySHARE Vaultを使用したWindows PCのバックアップ

本ルーターにはWindows PC対応の無料のバックアップソフトウェア『ReadySHARE Vault』が付属しています。集中的、継続的、および自動的にバックアップを行うには、USBハードディスクドライブ (HDD) をルーターに接続します。

ReadySHARE VaultをサポートするOSは次のとおりです。

- Windows XP SP3
- Windows 7
- Windows 8
- Windows 8.1
- Windows 10

▶ Windows PCをバックアップします。

1. USB HDDストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。

2. USBストレージドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。

ルーターに接続されたUSBストレージドライブの共有

その電源はUSBストレージドライブをルーターに接続するときに使用する必要があります。

USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。

3. ReadySHARE Vaultを<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readyshare/>からダウンロードし、各Windows PCにインストールします。
4. ReadySHARE Vaultを起動します。
5. Dashboard（ダッシュボード）または【Backup（バックアップ）】タブを使用して、バックアップを設定および実行します。

Time Machineを使用したMacのバックアップ

Time Machineを使用すると、ルーターのUSBポートに接続されているUSBドライブにMac全体をバックアップできます。ルーターに有線または無線で接続されているMacから、ストレージドライブにアクセスできます。

MacでのUSBハードドライブの設定

初めてTime Machineバックアップを実行するときは、新しいUSBドライブを使用するか、古いUSBドライブをフォーマットすることを推奨します。空のパーティションを使用すると、Time Machineを使用したバックアップ中に発生する一部の問題を回避することができます。ルーターは、GUIDまたはMBRパーティションをサポートします。

▶USBドライブをフォーマットしてパーティションを指定します。

1. USBドライブをルーターに接続します。
2. Macのデスクトップで右上の虫眼鏡のマークの欄に「ディスクユーティリティ」と入力して検索します。
3. ディスクユーティリティを開き、USBドライブを選択して、【消去】タブをクリックし、【消去】ボタンをクリックします。
4. 【パーティション】タブをクリックします。
5. 【パーティションのレイアウト】メニューで、使用するパーティションの数を設定します。
6. 【オプション】ボタンをクリックします。
パーティションの方式が表示されます。
7. 【GUIDパーティションテーブル】または【マスター・ブート・レコード】ラジオボタンを選択します。
8. 【フォーマット】ドロップダウンリストで、【Mac OS拡張（ジャーナリング）】を選択します。
9. 【OK】ボタンをクリックします。
10. 【適用】ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

大量のデータのバックアップ準備

Time Machineを使用して大量のデータをバックアップする前に、次の手順に従うことを推奨します。

▶大量のデータをバックアップする準備をします。

1. MacのOSをアップグレードします。
2. バックアップディスクとローカルディスクを確認し修復します。
3. ローカルディスクのアクセス権を検証、修復します。
4. 省エネルギーを設定します。
 - a. Appleメニューで、[システム環境設定] を選択します。
[システム環境設定] ウィンドウが表示されます。
 - b. [省エネルギー] を選択します。
[省エネルギー] ページが表示されます。
 - c. [電源アダプタ] タブをクリックします。
 - d. [Wi-Fiネットワークアクセスによるスリープ解除] チェックボックスを選択します。
 - e. 戻る矢印をクリックして変更を保存し、この画面を終了します。
5. セキュリティ設定を変更します。
 - a. [システム環境設定] ウィンドウで、[セキュリティとプライバシー] を選択します。
[セキュリティとプライバシー] ページが表示されます。
 - b. ページの下部にある [詳細] ボタンをクリックします。
[詳細] ボタンが灰色表示になっている場合は、鍵のアイコンをクリックすると、設定を変更できます。
 - c. [使用しない状態が○分間続いたらログアウト] チェックボックスの選択を解除します。
 - d. [OK] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

Time Machineを使用したUSBドライブへのバックアップ

Time Machineを使用すると、ルーターのUSBポートに接続されているUSBドライブ（HDD）にMac全体をバックアップできます。

▶MacをUSBドライブにバックアップします。

1. フォーマットとパーティションに互換性があるUSBドライブを用意します。
詳細については、[MacでのUSBハードドライブの設定](#)（101ページ）を参照してください。
2. 大量のデータをバックアップする場合は、[大量のデータのバックアップ準備](#)（102ページ）を参照してください。
3. USBドライブをルーターのUSBポートに接続します。
USBドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。

USBドライブをルーターに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBドライブを利用できます。

4. ネットワークに接続されたMacで、Finderを起動し、【移動】>【サーバへ接続】を選択します。
[サーバへ接続] ウィンドウが表示されます。
5. 「**smb://routerlogin.net**」と入力し、【接続】ボタンをクリックします。
6. メッセージが表示されたら、【登録ユーザ】ラジオボタンを選択します。
7. 名前「**admin**」とパスワード「**password**」を入力したら、【接続】ボタンをクリックします。
ルーターに接続されているUSBドライブのリストが表示されます。
8. Appleメニューで、【システム環境設定】を選択します。
[システム環境設定] ウィンドウが表示されます。
9. 【Time Machine】を選択します。
[Time Machine] ウィンドウが表示されます。
10. 【ディスクを選択】ボタンをクリックし、リストからUSBドライブを選択します。
11. 【ディスクを使用】ボタンをクリックします。

注 TimeMachineのディスクリストにUSBパーティションが表示されない場合は、MacのFinderに移動し、そのUSBパーティションをクリックしてください。TimeMachineのリストに表示されるようになります。

12. メッセージが表示されたら、【登録ユーザ】ラジオボタンを選択します。
 13. 名前「**admin**」とパスワード「**password**」を入力したら、【接続】ボタンをクリックします。
- 設定が完了すると、フルバックアップが自動的にスケジュール設定されます。必要に応じて、すぐにバックアップすることもできます。

ドライブ全体またはファイルのAmazon Driveへのバックアップ

ルーターを使用して、USBストレージドライブ全体または個別のメディアファイルやフォルダーをAmazon Driveにバックアップすることができます。Amazon Driveは、リモートからメディアファイルの保存、バックアップ、および共有を行うことができるクラウドストレージアプリケーションです。米国では、NETGEARが、Amazon Driveの3か月間の無料トライアルのプロモーションコードを提供しています。

Amazon Driveの詳細については、<https://www.amazon.com/clouddrive/home>にアクセスしてください。

▶USBストレージドライブまたはファイルをAmazon Driveにバックアップするには

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
2. USBストレージドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。
その電源はUSBストレージドライブをルーターに接続するときに使用する必要があります。

USBストレージドライブをルーターのポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。

3. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
4. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
5. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
6. [クラウドバックアップ] を選択します。
[クラウドバックアップ] ページが表示されます。
7. Amazonアカウントを所有していない場合は、ページ上の新しいユーザーのリンクをクリックし、3か月間の無料トライアルにサインアップします。
3か月間の無料トライアルのプロモーションコードへのリンクもこのページに表示されています。
チェックアウト時にプロモーションコードを使用します。
8. Amazonアカウントを既にセットアップしている場合は、ページ上の既存のユーザーのリンクをクリックします。
Amazonサインインウィンドウが表示されます。
9. Amazonアカウントの資格情報を入力してサインインします。
Amazonの使用条件が表示されます。
10. [OK] ボタンをクリックします。
成功したことを示すページが表示されます。ルーターのWebページに戻ります。[クラウドバックアップ] ページにAmazonアカウントが追加されています。
11. [Select Folder or Whole Drive] リンクをクリックします。
ウィンドウが開いて、USBストレージドライブ上のフォルダーとドライブが表示されます。
12. Amazon CloudアカウントにバックアップするUSBストレージドライブ、またはUSBストレージドライブ上のフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
USBストレージドライブまたはフォルダーが追加され、Amazon Cloudアカウントにバックアップされます。
13. (オプション) バックアップスケジュールを設定する
 - **リアルタイムバックアップ。** デフォルトのバックアップスケジュールはリアルタイムです。USBデバイスのデータに変更があった場合、リアルタイムですぐにクラウドにバックアップします。
 - **スケジュールバックアップ。** データをクラウドにバックアップする日時を選択します。
14. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ネットワーク内のFTPの使用

ファイル転送プロトコル（FTP）を使用すると、容量の大きなファイルを高速で送受信できます。

▶FTPアクセスを設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [詳細設定] を選択します。
[USBストレージ（詳細設定）] ページが表示されます。
5. [FTP] チェックボックスを選択します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ストレージドライブのネットワークフォルダーの表示または変更

ルーターに接続されているストレージドライブ上のネットワークフォルダーを表示または変更することができます。

▶ネットワークフォルダーを表示または変更します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [詳細設定] を選択します。
[USBストレージ（詳細設定）] ページが表示されます。
5. [利用可能なネットワークフォルダー] のセクションまでスクロールし、以下の設定を調整します。
 - **共有名：** USB機器が1台だけしか接続されていない場合、デフォルトの共有名はUSB_Storageです。

名前をクリックするか、ウェブブラウザーのアドレス欄に名前を入力します。[共有しない]が表示される場合は、デフォルトの共有が削除され、ルートフォルダーにその他の共有が存在しないことを意味します。この設定を変更するには、リンクをクリックします。

- **リードアクセス/ライトアクセス**：ネットワークフォルダーのアクセス権とアクセス制御を示します。[すべてパスワードなし]（デフォルト）は、すべてのユーザーがネットワークフォルダーにアクセスできます。adminのパスワードは、ルーターにログインするためのパスワードと同じです。
- **フォルダーネーム**：ネットワークフォルダーのフルパスです。
- **ボリューム名**：ストレージドライブのボリューム名です。
- **[合計の容量] と [空き容量]**：ストレージドライブの現在の利用状況を示します。

6. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

USBストレージドライブへのネットワークフォルダーの追加

ルーターのUSBポートに接続されているUSBストレージドライブにネットワークフォルダーを追加することができます。

▶ネットワークフォルダーを追加します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [詳細設定] を選択します。
[USBストレージ(詳細設定)] ページが表示されます。

5. [利用可能なネットワークフォルダー] のセクションで、USBストレージドライブを選択します。

6. [新規フォルダーの作成] ボタンをクリックします。
[新規フォルダーの作成] ウィンドウが開きます。

このウィンドウが開かない場合は、ウェブブラウザーでポップアップロック機能が有効になっている可能性があります。その場合は、ポップアップを許可するようにブラウザー設定を変更してください。

7. 入力欄を完成させます。

[すべてパスワードなし] のユーザー名（アカウント名）はguestです。adminのパスワードは、ルーターにログインするためのパスワードと同じです。デフォルトは「password」です。

8. [適用] ボタンをクリックします。

フォルダーがUSBストレージドライブに追加されます。

USBストレージドライブでのネットワークフォルダーの編集

ルーターのUSBポートに接続されているUSBストレージドライブでネットワークフォルダーを編集することができます。

▶ネットワークフォルダーを編集します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [詳細設定] を選択します。
[USBストレージ (詳細設定)] ページが表示されます。
5. [利用可能なネットワークフォルダー] のセクションで、USBストレージドライブを選択します。
6. [編集] ボタンをクリックします。
[ネットワークフォルダーの編集] ウィンドウが開きます。
7. 必要に応じて設定を変更します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

NETGEARダウンローダーの設定

NETGEARダウンローダーは、ルーター上で動作するダウンロードエージェントです。このダウンローダーを使用して、ルーターに接続されているUSB HDDにファイルをダウンロードすれば、PCを動作させ続ける必要はありません。

NETGEAR Downloaderを使用したファイルのダウンロード

▶NETGEAR Downloaderを使用してファイルをダウンロードするには

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
2. USBドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。
USBドライブをルーターのUSBポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBドライブを利用できます。
3. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
4. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。

5. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

6. NETGEAR Downloader (BETA)を選択します。

[ダウンロードマネージャー] ページが表示されます。

7. [NETGEAR Downloaderを有効にする] チェックボックスを選択します。

ページの表示が変更されます。

8. [ダウンロードタイプ] ドロップダウンリストで、ダウンロードのプロトコルを選択します。

選択したプロトコルに応じてフィールドが変更されます。

9. 選択したオプションに応じて表示される欄に入力します。

10. [追加] ボタンをクリックします。

ダウンロードが開始されます。

11. ダウンロードの状況を表示するには、[更新] ボタンをクリックします。

12. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

13. (オプション) [一時停止]、[再開]、および [削除] ボタンを使用して、ダウンロードタスクを管理できます。

完了したダウンロードタスクは、[ダウンロード済みのファイル] セクションに表示されます。

NETGEAR Downloaderの設定の変更

デフォルトの保存パスは、ルーターに接続されているUSBストレージドライブ上の任意のディレクトリに変更できます。ダウンロードの同時タスクの最大数は変更できますが、NETGEARでは最も効果的な設定として3が推奨されています。自動更新を有効にして、アップデートされたダウンロードタスクを確認することができますが、その場合ダウンロードの速度が低下することがあります。

NETGEARダウンローダーの設定を変更します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。

2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [NETGEAR Downloader (BETA)] > [ダウンローダーの設定] を選択します。

[NETGEAR Downloaderの基本設定] ページが表示されます。

5. 必要に応じて変更を加えます。

6. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

NETGEAR Downloaderのメール通知の設定

ダウンローダータスクの完了時にルーターからメールを受け取ることができます。

NETGEARダウンローダーの設定を変更します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [NETGEAR Downloader (BETA)] > [ダウンローダーの設定] を選択します。
[NETGEAR Downloaderの基本設定] ページが表示されます。
5. [メールを設定する] ボタンをクリックします。
[メール] ページが表示されます。
6. [ダウンローダータスクの完了時にメール通知を送信する] チェックボックスを選択します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

NETGEARダウンローダーのタスクの管理

▶NETGEARダウンローダータスクを管理するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [NETGEAR Downloader (BETA)] > [ダウンロードマネージャー] を選択します。
[NETGEAR Downloaderの基本設定] ページが表示されます。
5. 必要に応じて変更を加えます。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

USBストレージドライブの安全な取り外し

USBストレージドライブをルーターのUSBポートから物理的に取り外す前に、ルーターにログインし、USBストレージドライブをオフラインにします。

▶ USBストレージドライブを安全に取り外すには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [詳細設定] を選択します。
[USBストレージ (詳細設定)] ページが表示されます。
5. [利用可能なネットワークフォルダー] セクションで、USBストレージドライブを選択します。
6. [USBデバイスの安全な取り外し] ボタンをクリックします。
ドライブがオフラインになります。
7. USBストレージドライブを取り外します。

ダイナミックDNSを使用したインターネットからのUSBストレージドライブへのアクセス

9

ダイナミックDNSを使用すると、外出先でも、ルーターのUSBポートに接続されているUSBドライブにインターネットを使用してアクセスできます。

この章には次の内容が含まれます。

- ダイナミックDNSの設定と管理 (112ページ)
- インターネットからのFTPアクセスの設定 (112ページ)
- 個人用FTPサーバー (113ページ)
- インターネットからのUSBストレージドライブへのアクセス (117ページ)
- ReadyCLOUDを使用したUSBドライブへのリモートアクセス (117ページ)

ストレージドライブを接続してその設定を指定する方法については、[ルーターに接続されたUSBストレージドライブの共有](#) (97ページ) を参照してください。

ダイナミックDNSの設定と管理

プロバイダーは、各インターネットアカウントを識別するために、IPアドレスと呼ばれる番号を割り当てます。ほとんどのプロバイダーは動的に割り当てられたIPアドレスを使用します。つまり、IPアドレスはいつでも変更される可能性があるということです。IPアドレスを使用してネットワークにリモートアクセスすることはできますが、大半のユーザーは、自分のIPアドレスが何か、いつこの番号が変更されるかを知りません。

より簡単に接続できるように、ドメイン名を使用してホームネットワークにアクセスできるようにするダイナミックDNSサービスの無料アカウントを取得することができます。このアカウントを使用するには、ダイナミックDNSを使用するようにルーターを設定します。これで、ルーターのIPアドレスが変更されたときには必ずダイナミックDNSサービスプロバイダーに通知されるようになります。ダイナミックDNSアカウントにアクセスすると、ホームネットワークの現在のIPアドレスが検索され、自動的に接続されます。

プロバイダーがプライベートWAN IPアドレス（192.168.x.x、10.x.x.xなど）を割り当てる場合、プライベートアドレスはインターネット上でルーティングされないため、ダイナミックDNSサービスを使用できません。

インターネットからのFTPアクセスの設定

▶FTPアクセスを設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやネットワークデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [詳細設定] を選択します。
[USBストレージ (詳細設定)] ページが表示されます。
5. [FTP (インターネット経由)] チェックボックスを選択します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
7. 管理者にアクセスを制限するには、[利用可能なネットワークフォルダー] セクションでデバイスを選択します。
1つのデバイスのみが接続されている場合は、自動的に選択されます。
8. [編集] ボタンをクリックします。
[編集] ページが表示されます。
9. [リードアクセス] ドロップダウンリストで、[ルーター管理者] を選択します。

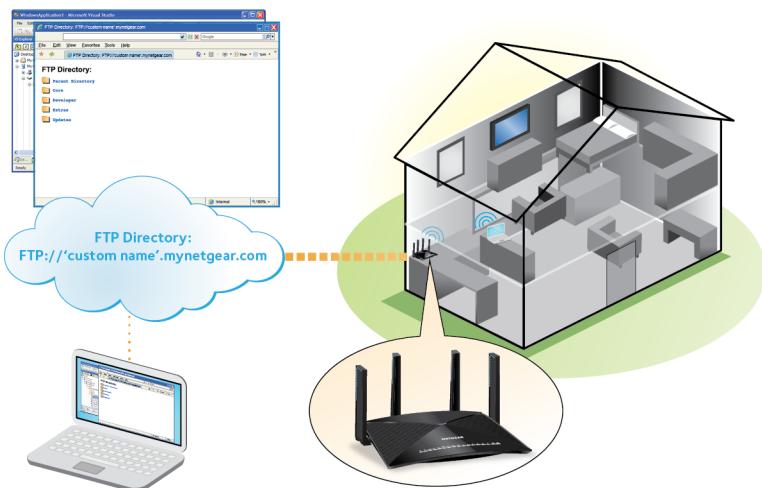
10. 【ライトアクセス】ドロップダウンリストで、【ルーター管理者】を選択します。

11. 【適用】ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

個人用FTPサーバー

カスタマイズされた無料のURLを使用すると、外出先からでもダイナミックDNS経由でFTPを使用してネットワークにアクセスできます。FTPサーバーを設定するには、NETGEARダイナミックDNS（DDNS）サービスアカウントに登録してアカウント設定を指定する必要があります。[新しいダイナミックDNSアカウントの設定](#)（114ページ）を参照してください。



外出先からでもインターネット経由でネットワークにアクセス

注 基本DDNSとログイン、パスワードのみに対応するルーターは安全でない可能性があります。接続をセキュリティ保護するには、DDNSとVPNトンネルを併用することができます。

個人用FTPサーバーの設定

►個人用アカウントを設定し、FTPを使用します。

1. NETGEARダイナミックDNSドメイン名を取得します。

詳細については、[個人用FTPサーバー](#)（113ページ）を参照してください。

2. インターネットに接続していることを確認します。

ルーターがインターネットへの直接接続を使用している必要があります。インターネットにアクセスするために別のルーターに接続することはできません。

3. ストレージデバイスをルーターに接続します。

4. USBストレージドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。

その電源はUSBストレージドライブをルーターに接続するときに使用する必要があります。

ダイナミックDNSを使用したインターネットからのUSBストレージドライブへのアクセス

USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。

5. ルーターでFTPアクセスを設定します。
[インターネットからのFTPアクセスの設定（112ページ）](#) を参照してください。
6. インターネットに接続されたPCを使って、FTP経由で`ftp://yourname.mynetgear.com`を使用してルーターに接続できます。

新しいダイナミックDNSアカウントの設定

►ダイナミックDNSを設定し、無料のNETGEARアカウントに登録します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ダイナミックDNS] を選択します。
[ダイナミックDNS] ページが表示されます。
5. [ダイナミックDNSサービスを利用する] チェックボックスを選択します。
6. [サービスプロバイダ] ドロップダウンリストで、[NETGEAR] を選択します。
別のサービスプロバイダーを選択できます。
7. [NETGEARDNSアカウントまたはNO-IPDDNSアカウントを持っていますか？] ラジオボタンで [**いえ**] を選択します。
8. [ホスト名] の欄に、URLに使用する名前を入力します。
ホスト名は、ドメイン名と呼ばれることもあります。無料のURLは、指定したホスト名を含み、`mynetgear.com`で終わります。例えば、`MyName.mynetgear.com`と指定します。
9. [メール] の欄に、アカウントのメールアドレスを入力します。
10. [パスワード (6~32文字)] の欄に、アカウントのパスワードを入力します。
11. [登録] ボタンをクリックします。
12. 画面に表示される指示に従って、NETGEARダイナミックDNSサービスを登録します。

すでに作成したDNSアカウントの指定

すでにダイナミックDNSアカウントをNETGEARのNo-IPまたはDynに作成した場合は、そのアカウントを使用するようにルーターを設定できます。

▶すでにアカウントを作成した場合にダイナミックDNSを設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ダイナミックDNS] を選択します。
[ダイナミックDNS] ページが表示されます。
5. [ダイナミックDNSサービスを利用する] チェックボックスを選択します。
6. [サービスプロバイダ] ドロップダウンリストで、プロバイダーを選択します。
7. [はい] ラジオボタンを選択します。
ページが変更され、 [状態を表示] 、 [キャンセル] 、 [適用] ボタンが表示されます。
8. [ホスト名] の欄に、アカウントのホスト名（ドメイン名と呼ばれることもあります）を入力します。
9. No-IPまたはDynのアカウントの場合は、 [ユーザー名] の欄に、アカウントのユーザー名を入力します。
10. No-IPのNETGEARアカウントの場合は、 [メール] の欄に、アカウントのメールアドレスを入力します。
11. [パスワード (6~32文字)] の欄に、DDNSアカウントのパスワードを入力します。
12. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
13. ルーターでダイナミックDNSサービスが有効であることを確認するには、 [状態を表示] ボタンをクリックします。
メッセージにダイナミックDNSのステータスが表示されます。

ダイナミックDNS設定の変更

ダイナミックDNSアカウントの設定を変更することができます。

▶設定を変更します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ダイナミックDNS] を選択します。
[ダイナミックDNS] ページが表示されます。
5. 必要に応じてDDNSアカウント設定を変更します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

インターネットからのUSBストレージドライブへのアクセス

外出先にいるときでも、インターネットからUSBストレージドライブにアクセスできます。

▶リモートPCからストレージドライブにアクセスします。

1. ホームネットワーク上にないPCやモバイル端末でウェブブラウザーを起動します。
2. 自宅のルーターに接続します。
 - ダイナミックDNSを使用して接続するには、DNS名を入力します。
ダイナミックDNSアカウントを使用するには、[ダイナミックDNS] ページにアカウント情報を入力する必要があります。 [「ダイナミックDNSの設定と管理」\(112ページ\)](#) を参照してください。
 - ダイナミックDNSを使用せずに接続するには、ルーターのインターネットポートのIPアドレスを入力します。

ルーターのインターネットIPアドレスは、基本ホームページで確認できます。

FTPを使用して、ルーターに接続されているUSBドライブ上のファイルを共有できます。

ReadyCLOUDを使用したUSBドライブへのリモートアクセス

ルーター用のNETGEAR ReadyCLOUDを使用すると、ルーターに接続されているUSBストレージドライブに保存されているファイルにリモートアクセスすることができます。ReadyCLOUDを使用するには、ReadyCLOUDアカウントを作成してルーターを登録する必要があります。

ReadyCLOUDアプリは、Windows PC、Androidモバイルデバイス、iOSモバイルデバイスでも使用できます。ReadyCLOUDの設定の詳細については、<http://www.netgear.jp/supportInfo/>から入手できる「ReadyCLOUD（ルーター用）ユーザーマニュアル」を参照してください。

ReadyCLOUDアカウントの作成

▶ReadyCLOUDアカウントを作成します。

1. PCやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. readycloud.netgear.comにアクセスします。
ReadyCLOUDのようこそページが表示されます。
3. [サインイン] リンクをクリックします。
[サインイン] ページが表示されます。
4. [アカウントを作成する] リンクをクリックします。
[Create a MyNETGEAR account] ページが表示されます。
5. 各欄に入力してアカウントを設定し、[作成] ボタンをクリックします。
これで、ReadyCLOUDアカウントにルーターを登録する準備ができました。

ReadyCLOUDへのルーターの登録

ReadyCLOUDアカウントを作成したら、ReadyCLOUDアカウントにルーターを登録する必要があります。

▶ReadyCLOUDアカウントにルーターを登録するには

1. kb.netgear.com/app/answers/detail/a_id/27323/ (英語) にアクセスして、お使いのルーターがReadyCLOUDをサポートしているかどうか確認します。
2. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
USBストレージドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。
USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。
3. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
4. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
5. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
6. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadyCLOUD] を選択します。
ReadyCLOUDページが表示されます。
7. ReadyCLOUDのユーザー名とパスワードを入力し、[登録] ボタンをクリックします。
ReadyCLOUDアカウントを作成していない場合は、ReadyCLOUDアカウントの作成 (117ページ) を参照してください。
ルーターがReadyCLOUDに登録されます。

注 ルーターのインターネット接続モードが [Dial on Demand] に設定されている場合、ルーターの接続モードは自動的に [Always On] に変更されます。この変更はReadyCLOUDでUSBストレージドライブにリモートアクセスするために必要です。

8. 登録後、<http://readycloud.netgear.com/client/jp/welcome.html>にアクセスします。
9. [サインイン] リンクをクリックし、ReadyCLOUDのユーザー名とパスワードを入力して、[Sign In] ボタンをクリックします。
ReadyCLOUDページに、登録したルーターと、ルーターに接続されているUSBストレージドライブの内容が表示されます。

メディアサーバーとしてのルーターの使用 **10**

この章には次の内容が含まれます。

- *Plex Media Server*のセットアップ (120ページ)
- *ReadyDLNA*メディアサーバーの設定 (123ページ)
- *iTunes*サーバーを使用したストレージドライブからの音楽再生 (124ページ)
- *NTP*サーバーの変更 (126ページ)

Plex Media Serverのセットアップ

Plex Media Serverを使用して、ルーターに接続されている外付けUSBハードドライブまたはネットワークドライブに保存されている写真、ビデオ、オーディオファイルを管理することができます。Plexを使用すると、ネットワークに接続されている他のデバイスにメディアファイルをストリーミングすることができます。

Plexの詳細については、<https://www.plex.tv/>にアクセスしてください。

USBハードドライブを使用したPlex Media Serverのセットアップ

メディアファイルが外付けUSBハードドライブに保存されている場合、USBハードドライブをルーターに接続し、PlexでUSBハードドライブからデバイスにメディアファイルをストリーミングすることができます。少なくとも5 GBの空きディスク領域があるUSBハードドライブを使用することをお勧めします。これにより高品質のビデオストリーミングが可能になります。

▶ USBハードドライブを使用してPlex Media Serverをセットアップするには

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
2. USBストレージドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。
その電源はUSBストレージドライブをルーターに接続するときに使用する必要があります。
USBストレージドライブをルーターのポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。
3. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
4. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
5. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
6. [Plex メディアサーバー] を選択します。
[Plexメディアサーバー] ページが表示されます。
7. [Enable PLEX Media Server] チェックボックスを選択します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
Plex Media Serverが有効になります。

注 [自動Plexバージョンアップデートを有効にします] チェックボックスが自動的に選択されます。ルーターでPlexのバージョン更新をチェックしたくない場合は、チェックボックスを選択解除し、 [適用] ボタンをクリックします。

9. PlexでUSBハードドライブを追加します。

メディアサーバーとしてのルーターの使用

- a. [Open Plex] ボタンをクリックします。
Plex Media Serverが起動します。
- b. Plexアカウントのユーザー名とパスワードを入力し、[SIGN IN] ボタンをクリックします。
Plexアカウントを持っていない場合は、アカウントを作成します。
ダッシュボードが表示されます。
- c. [+Add Library] をクリックします。
[+Add Library] ページが表示されます。
- d. ライブラリのタイプを選択し、ライブラリの名前を入力して、[NEXT] ボタンをクリックします。
- e. [BROWSE FOR MEDIA FOLDER] ボタンをクリックします。
[新規フォルダーの作成] ウィンドウが開きます。
- f. USBハードドライブのメディアフォルダーを選択し、[ADD] ボタンをクリックします。
ネットワークドライブがPlexアカウントに追加されます。

ネットワークドライブを使用したPlexのセットアップ

Network Attached Storage (NAS) ドライブなどのネットワークドライブにメディアファイルが保存されている場合、ネットドライブをルーターネットワークに接続し、Plexでネットワークドライブからデバイスにメディアファイルをストリーミングすることができます。

ネットワークドライブを使用するには、別のUSBストレージデバイスをルーターに接続し、ルーターがPlexのメタデータと設定ファイルをそのデバイスに保存できるようにする必要があります。少なくとも5 GBの空きディスク領域があるUSBハードドライブを使用することをお勧めします。これにより高品質のビデオストリーミングが可能になります。

▶ネットワークドライブを使用してPlex Media Serverをセットアップするには

1. ネットワークドライブをルーターのネットワークに接続します。
2. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
3. USBストレージドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。
その電源はUSBストレージドライブをルーターに接続するときに使用する必要があります。
USBストレージドライブをルーターのポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。
4. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
5. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
6. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
7. [Plexメディアサーバー] を選択します。

[Plexメディアサーバー] ページが表示されます。

8. Plexを有効にしなかった場合は、 [Enable PLEX Media Server] チェックボックスを選択し、 [適用] ボタンをクリックします。
9. ネットワークドライブを追加するには
 - a. [追加] ボタンをクリックします。
ページの表示が変更されます。
 - b. [接続名] フィールドに、ネットワークドライブの名前を入力します。
 - c. [追加するデバイスの選択] メニューから、ネットワークドライブを選択します。
 - d. [フォルダーナ] フィールドに、メディアファイルが保存されるネットワークドライブのフォルダの名前を入力します。
例えば、「Movies」というフォルダ名の場合は、フィールドに「/Movies」と入力します。
フォルダーが別のフォルダーに含まれている場合は、フォルダーのフルパスを入力します。例えば、MoviesフォルダーがMediaフォルダーに含まれている場合は、このフィールドに「/Media/Movies」と入力します。
 - e. ネットワークドライブにアクセスするためにユーザー名とパスワードを入力する必要がある場合は、ネットワークドライブのユーザー名とパスワードをこのフィールドに入力します。
 - f. [適用] ボタンをクリックします。
ネットワークドライブが追加され、メインPlex Media Serverページに戻ります。
10. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
11. Plexでネットワークドライブライブラリを追加します。
 - a. [Open Plex] ボタンをクリックします。
Plex Media Serverが起動します。
 - b. Plexアカウントのユーザー名とパスワードを入力し、 [SIGN IN] ボタンをクリックします。
Plexアカウントを持っていない場合は、アカウントを作成します。
ダッシュボードが表示されます。
 - c. [+Add Library] をクリックします。
[+Add Library] ページが表示されます。
 - d. ライブラリのタイプを選択し、ライブラリの名前を入力して、 [NEXT] ボタンをクリックします。
 - e. [BROWSE FOR MEDIA FOLDER] ボタンをクリックします。
[新規フォルダーの作成] ウィンドウが開きます。
 - f. ネットワークドライブのメディアフォルダーを選択し、 [ADD] ボタンをクリックします。
メディアフォルダ名は、手順8bで入力した接続名と同じです。
ネットワークドライブがPlexアカウントに追加されます。

ReadyDLNAメディアサーバーの設定

デフォルトでは、ルーターはReadyDLNAメディアサーバーとして動作するよう設定されています。ReadyDLNAメディアサーバーを使用すると、Xbox360、Playstation、NETGEARメディアプレイヤーなどのDLNA/UPnP AV対応メディアプレイヤーで動画や写真を表示することができます。

▶メディアサーバー設定を指定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [メディアサーバー] を選択します。
[メディアサーバー] ページが表示されます。
5. 設定を指定します。
 - **DLNAメディアサーバーを有効にする**：ルーターをメディアサーバーとして有効にするには、このチェックボックスを選択します。
 - **iTunesサーバーを有効にする(音楽ファイルのみ)**：ホームシェアリングを使用し、Windows PC またはMacのiTunesを使って、ルーターに接続されているUSBドライブから音楽を再生する場合は、このチェックボックスを選択します。詳細については、*iTunesを使用したルーターのiTunesサーバーの設定* (124ページ) を参照してください。
 - **メディアサーバー名**：[編集] ボタンをクリックし、ルーターのメディアサーバー名を変更します。

注 メディアサーバー名を変更した場合は、ReadySHAREストレージフォルダーのアクセスパスを新しい名前に変更するか、アクセスパスを\\readyshareのままにするかを選択できます。

- **コンテンツスキヤン**：ルーターは、新しいファイルがReadySHARE USBストレージデバイスに追加されるたびにメディアファイルを自動的にスキヤンします。[Read Access] で「All - no password」に設定されている共有フォルダーのみでメディアファイルをスキヤンできます。新しいメディアファイルを直ちにスキヤンする場合は、[メディアファイルをリスキヤンする] ボタンをクリックすることができます。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

iTunesサーバーを使用したストレージドライブからの音楽再生

iTunesサーバーを使用すると、Windows PCまたはMacのiTunesを使うか、iPhoneまたはiPadのApple Remoteアプリを使って、ルーターのUSBポートに接続されているUSBドライブから音楽を再生することができます。iPhoneまたはiPadからAppleRemoteアプリを使用して、Apple TVやAirPlay対応レシーバーなどのAirPlay対応機器で音楽を再生することもできます。



図 7 : iTunesを使用してUSBドライブから音楽を再生

iTunesを使用したルーターのiTunesサーバーの設定

ホームシェアリングを使用すると、Windows PCまたはMacのiTunesを使って、ルーターに接続されているUSBドライブから音楽を再生することができます。ホームシェアリングを設定するには、Appleのアカウントと、PCにインストールされた最新バージョンのiTunesが必要です。

▶ ルーターのiTunesサーバーを設定してiTunesで音楽を再生するには

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
2. USBストレージドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。
その電源はUSBストレージドライブをルーターに接続するときに使用する必要があります。
USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。
3. ルーターのネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
4. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
5. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

6. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [メディアサーバー] を選択します。
[USBストレージ (詳細設定)] ページが表示されます。
7. [メディアサーバー] タブをクリックします。
[メディアサーバー (設定)] タブが表示されます。
8. [iTunesサーバー (音楽のみ) を有効にする] チェックボックスを選択します。
9. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
10. Windows PCまたはMacで、iTunesを起動します。
11. [ファイル] > [ホームシェアリング] > [ホームシェアリングをオンにする] を選択します。
ホームシェアリングのページが表示されます。
12. Apple IDのメールアドレスとパスワードを入力します。
13. [ホームシェアリングをオンにする] ボタンをクリックします。
ホームシェアリングが有効になっている場合、[Home Sharing] アイコンがiTunesに表示されます。
14. メニューの [Home Sharing] アイコンをクリックし、ルーターを選択します。
ルーターに接続されているUSBドライブの音楽がiTunesに表示されます。

Remoteアプリを使用したルーターのiTunesサーバーの設定

Apple Remoteアプリを使用すると、iPhoneまたはiPadで、ルーターに接続されているUSBドライブから音楽を再生することができます。

▶ルーターのiTunesサーバーを設定してiPhoneまたはiPadで音楽を再生するには

1. USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続します。
2. USBストレージドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。
その電源はUSBストレージドライブをルーターに接続するときに使用する必要があります。
USBストレージドライブをルーターのUSBポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で2分程かかります。デフォルトでは、LAN上にあるすべてのPCからUSBストレージドライブを利用できます。
3. iPhoneまたはiPadをルーターの無線LANネットワークに接続します。
4. Apple社のApp StoreからRemoteアプリをダウンロードします。
5. iPhoneまたはiPadからRemoteアプリを起動します。
6. Remoteアプリで、[Add a Device] ボタンをクリックします。
Remoteアプリにパスコードが表示されます。
7. ルーターにパスコードを指定してiTunesサーバーを設定します。

メディアサーバーとしてのルーターの使用

- a. ルーターのネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
 - b. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
 - c. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
 - d. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHAREストレージ] > [メディアサーバー] を選択します。
[USBストレージ (詳細設定)] ページが表示されます。
 - e. [メディアサーバー] タブをクリックします。
[メディアサーバー (設定)] ページが表示されます。
 - f. [iTunesサーバー (音楽のみ) を有効にする] チェックボックスを選択します。
 - g. [適用] ボタンをクリックします。
 - h. パスコードを入力します。
 - i. [コントロールを許可] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
iPhoneまたはiPadがルーターとペアリングされ、iTunesサーバーの準備が整います。Remoteアプリにルーターが表示されます。
8. Remoteアプリで、iPhoneまたはiPadが接続されているルーターをタップします。
ルーターに接続されているUSBドライブの音楽がアプリに表示されます。

NTPサーバーの変更

デフォルトでは、ルーターはNETGEAR NTPサーバーを使用してネットワークの時間を同期します。NTPサーバーを優先するNTPサーバーに変更できます。

▶NTPサーバーを優先するNTPサーバーに変更するには

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [NTP設定] を選択します。
[NTP設定] ページが表示されます。

5. [NTPサーバー自分で設定する] ラジオボタンを選択します。
6. [プライマリNTPサーバー] フィールドにNTPサーバーのドメイン名またはIPアドレスを入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ReadySHAREプリントユーティリティを使うと、ルーターのUSBポートに接続されているUSBプリンターを共有できます。このUSBプリンターは、ネットワーク上のWindows PCやMacの間で共有できます。

NETGEAR USB Control Centerで使用できる機能の詳細については、<http://downloadcenter.netgear.com>から入手できる「ReadySHAREプリンターアマニュアル」を参照してください。

この章には次の内容が含まれます。

- プリンタードライバーのインストールとプリンターのケーブル接続 (129ページ)
- ReadySHAREプリントユーティリティのダウンロード (129ページ)
- ReadySHAREプリントユーティリティのインストール (130ページ)
- NETGEAR USB Control Centerを使用した印刷 (131ページ)
- プ린ターのステータスの表示または変更 (132ページ)
- 多機能USBプリンターのスキャン機能の使用 (133ページ)
- NETGEAR USB Control Center設定の変更 (133ページ)

プリンタードライバーのインストールとプリンターのケーブル接続

一部のUSBプリンターの製造元（HPやLexmarkなど）では、インストール用ソフトウェアから指示があるまでは、USBケーブルを接続しないよう要求されることがあります。

► ドライバーをインストールしてプリンターのケーブルを接続します。

1. USBプリンターを共有するネットワーク上の各PCに、USBプリンターのドライバーソフトウェアをインストールします。
プリンタードライバーが見つからない場合は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
2. USBプリンターケーブルを使用して、USBプリンターをルーターのUSBポートに接続します。

ReadySHAREプリントユーティリティのダウンロード

ユーティリティはWindows PCとMacで動作します。

► ユーティリティをダウンロードします。

1. <http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readyshare/>にアクセスします。
2. [PRINT - Learn how you can print wirelessly from many devices（さまざまな機器から無線LAN接続で印刷できます）] リンクをクリックします。
3. ReadySHAREプリントユーティリティのセットアップファイルをダウンロードするには、次のリンクのいずれかをクリックします。
 - **Download PC installer and get started.** (Windows用インストーラーをダウンロードして使用する。) : Windows PC用のユーティリティです。
 - **Download the genie App and get started.** (Genieアプリをダウンロードして使用する。) : スマートフォンおよびタブレット用のユーティリティです。
4. 画面に表示される指示に従って、ReadySHAREプリントユーティリティをダウンロードします。

ReadySHAREプリントユーティリティのインストール

ReadySHAREプリントユーティリティは、プリンターを共有する各PCにインストールする必要があります。インストール後に、ユーティリティが [NETGEAR USB Control Center] としてPC上に表示されます。

▶ユーティリティをインストールします。

1. 必要に応じて、ReadySHAREプリントユーティリティの設定ファイルを解凍します。
2. USBプリンターを共有するネットワーク上の各PCで、ダウンロードしたReadySHAREプリントユーティリティのセットアップファイルをダブルクリックします。



3. ウィザードに表示される指示に従って、NETGEAR USB Control Centerをインストールします。



4. ドロップダウンリストから言語を選択し、 [OK] ボタンをクリックします。



NETGEAR USB Control Centerのウィンドウに、ルーターに接続されているUSBプリンターが表示されます。

Comodoなどの一部のファイアウォールソフトウェアでは、NETGEAR USB Control CenterからUSBプリンターへのアクセスがブロックされることがあります。USBプリンターがページに表示されない場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして、ユーティリティが機能できるようにします。

NETGEAR USB Control Centerを使用した印刷

各PCで、一度 [接続] ボタンや [切断] ボタンをクリックすると、ユーティリティが印刷キューと処理を自動的に管理します。デフォルトでは、Windowsにログオンすると、ユーティリティはバックグラウンドで自動的に開始されます。

►NETGEAR USB Control Centerを使用してドキュメントを印刷します。

1. NETGEAR USB Control Centerのアイコンをクリックします。
[NETGEAR USB Control Center] ページが表示されます。
2. プリンターを選択して [接続] ボタンをクリックします。
プリンターのステータスが、[Manually connected by (PC名)] に変わります。これで、お使いのPCでのみこのプリンターを使用できます。
3. アプリケーションの印刷機能を使用してドキュメントを印刷します。
NETGEAR USB Control Centerは、自動的にPCをUSBプリンターに接続してドキュメントを印刷します。すでに別のPCがプリンターに接続されている場合、印刷ジョブはキューに入って印刷を待ちます。
4. ドキュメントが印刷されない場合は、NETGEAR USB Control Centerを使用してプリンターのステータスを確認します。
5. プリンターを開放してネットワーク上のすべてのPCが使用できるようにするには、[切断] ボタンをクリックします。
ステータスが [使用可] に変わります。これで、ネットワーク上の任意のPCでプリンターを使用できます。
6. ユーティリティを終了するには、[システム] > [終了] を選択します。

プリンターのステータスの表示または変更

►ステータスを表示または変更します。

1. NETGEAR USB Control Centerのアイコンをクリックします。
[NETGEAR USB Control Center] ページが表示されます。
[状態] の項目に、各機器の状態が表示されます。
 - **使用可**：進行中の印刷ジョブはありません。ネットワーク上の任意のPCからUSBプリンターを使用できます。
 - **接続済み**：PCがプリンターに接続されていて、印刷ジョブが完了すると開放されます。
 - **Manually connected by (PC名)**：接続されているPCだけがプリンターを使用できます。
 - **接続待ち**：PCはまだ共有プリンターに接続されていません。
2. 状態表示が [Manually connected by (別のPC)] の場合にお使いのPCから印刷するには、次の操作を実行します。
 - a. PCの [接続] ボタンをクリックします。
もう一方のユーザーのPCに、別のユーザーがプリンターへの接続を希望しているというメッセージが表示されます。
 - b. もう一方のユーザーのPCで、[同意] ボタンをクリックします。

プリンターが接続から開放され、状態が【使用可】に変わります。

3. 状態表示が【接続待ち】の場合にお使いのPCから印刷するには、次の操作を実行します。
 - a. 【接続】ボタンをクリックします。
プリンターのステータスが、【Manually connected by (PC名)】に変わります。これで、お使いのPCでのみプリンターを使用できるようになります。
 - b. プリンターの共有を許可するには、【切断】ボタンをクリックします。
プリンターが接続から開放され、状態が【使用可】に変わります。

多機能USBプリンターのスキャン機能の使用

USBプリンターがスキャン機能に対応している場合は、USBプリンターをスキャンに使用することもできます。

►多機能USBプリンターのスキャン機能を使用します。

1. NETGEAR USB Control Centerのアイコンをクリックします。
[NETGEAR USB Control Center] ページが表示されます。
2. プリンターの状態が【使用可】と表示されていることを確認します。
3. 【ネットワークスキャン】ボタンをクリックします。
4. 機器を選択するウィンドウが開く場合は、スキャナーを選択して【OK】ボタンをクリックします。
スキャナーのウィンドウが開いて、USBプリンターをスキャンに使用できます。

NETGEAR USB Control Center設定の変更

WindowsにログインしたときにNETGEAR USB Control Centerが自動的に起動しないようにできます。また、言語を変更したり、プリンターの接続を開放するまでのタイムアウトを指定することもできます。

NETGEAR USB Control Centerの自動起動の無効化

WindowsにログインしたときにNETGEAR USB Control Centerが自動的に起動しないようにできます。

►NETGEAR USB Control Centerの自動起動をオフにします。

1. NETGEAR USB Control Centerのアイコンをクリックします。
[NETGEAR USB Control Center] ページが表示されます。
2. 【ツール】>【設定】を選択します。
[Control Center - 設定] ページが表示されます。
3. 【Windowsログオン時に自動で実行する】チェックボックスの選択を解除します。
4. 【OK】ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

NETGEAR USB Control Centerの言語の変更

▶言語を変更します。

1. NETGEAR USB Control Centerのアイコン をクリックします。
2. [ツール] > [設定] を選択します。
[NETGEAR USB Control Center] ページが表示されます。
3. [言語] ドロップダウンリストで、言語を選択します。
4. [OK] ボタンをクリックします。
次回NETGEAR USB Control Centerが起動するときに、言語が変更されます。

USB Control Centerのタイムアウトの指定

プリンターの接続を開放するまでのタイムアウトを指定します。

▶タイムアウトを指定します。

1. NETGEAR USB Control Centerのアイコン をクリックします。
2. [ツール] > [設定] を選択します。
[NETGEAR USB Control Center] ページが表示されます。
3. [タイムアウト] の欄に、時間（分）を入力します。
タイムアウトは、接続が使用されないときにPCがプリンターへの接続を維持する時間（分）です。
4. [OK] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

VPNを使用したネットワークへのアクセス 12

OpenVPNソフトウェアを使用すると、VPN（Virtual Private Networking）を介してルーターにリモートアクセスすることができます。この章では、VPNアクセスを設定して使用する方法について説明します。

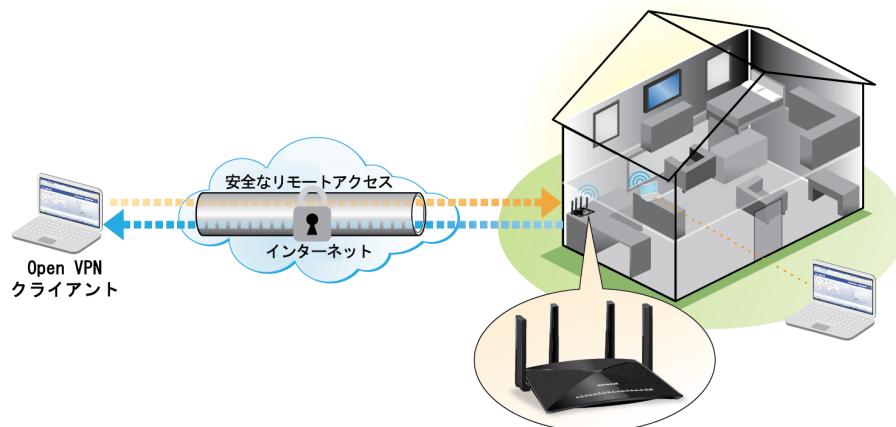
この章には次の内容が含まれます。

- [VPN接続の設定](#) (136ページ)
- [ルーターでのVPNサービスの設定](#) (136ページ)
- [OpenVPNソフトウェアのインストール](#) (137ページ)
- [Windows PCでのVPNトンネルの使用](#) (142ページ)
- [ルーターのUSB対応機器とメディアへのVPNを使用したアクセス](#) (144ページ)
- [VPNトンネルを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス](#) (146ページ)
- [VPNパススルー設定の変更](#) (146ページ)

VPN接続の設定

VPN（Virtual Private Network）を利用すると、家にいないときにインターネットを使用して自宅のネットワークに安全にアクセスできます。

図 8: VPNはホームネットワークとリモートPCの間に安全なトンネルを提供



このタイプのVPNアクセスは、クライアントとゲートウェイ間のトンネルと呼ばれます。PCがクライアントで、ルーターがゲートウェイです。VPN機能を使用するには、ルーターにログインしてVPNを有効にする必要があります。また、PCにVPNクライアントソフトウェアをインストールして実行する必要があります。

VPNはダイナミックDNS (DDNS) または静的IPアドレスを使用してルーターに接続します。

DDNSサービスを使用するには、ホスト名（ドメイン名と呼ばれる場合があります）を指定してアカウントを登録します。このホスト名を使用して、ネットワークにアクセスします。ルーターは、NETGEAR、No-IP、Dynのアカウントをサポートします。

ご利用のプロバイダー (ISP) から、お使いのインターネットアカウントに静的WANIPアドレス (50.196.x.x や10.x.x.xなど) が割り当てられている場合、VPNでは、そのIPアドレスを使用してホームネットワークに接続することができます。

ルーターでのVPNサービスの設定

VPN接続を使用する前に、ルーターでVPNサービスを設定する必要があります。

▶ VPNサービスを設定します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [VPNサービス] を選択します。

VPNのページが表示されます。

5. [VPNサービスを有効にする] チェックボックスを選択します。

デフォルトで、VPNはUDPサービスタイプを使用し、ポート12974を使用します。サービスタイプとポートをカスタマイズする場合、NETGEARは、これらの設定を変更してからOpenVPNソフトウェアをインストールすることを推奨します。

6. サービスタイプを変更するには、下にスクロールして、[TCP] ラジオボタンを選択します。

7. ポートを変更するには、[サービスポート] の欄まで下にスクロールして、使用したいポート番号を入力します。

8. [適用] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。ルーターでVPNが有効になりますが、VPN接続を使用する前に、OpenVPNソフトウェアをPCにインストールして設定する必要があります。

OpenVPNソフトウェアのインストール

OpenVPNソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各Windows PC、Mac、iOSデバイス、Androidデバイスにインストールする必要があります。

Windows PCへのOpenVPNソフトウェアのインストール

OpenVPNソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各Windows PCにインストールする必要があります。

▶VPNクライアントソフトウェアをWindows PCにインストールします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。

2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [VPNサービス] を選択します。

[VPNサービス] ページが表示されます。

5. [VPNサービスを有効にする] チェックボックスが選択されていることを確認します。

6. ページで任意のVPNサービス設定を指定します。

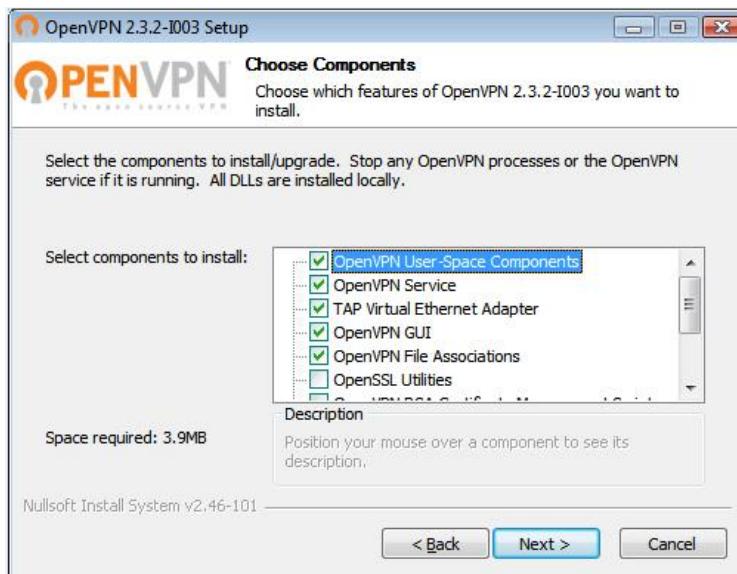
詳細については、[ルーターでのVPNサービスの設定](#) (136ページ) を参照してください。

7. [Windows] ボタンをクリックし、OpenVPNの設定ファイルをダウンロードします。

8. openvpn.net/index.php/download/community-downloads.html (英語) にアクセスし、OpenVPN クライアントユーティリティをダウンロードします。
9. ページの [Windows Installer (Windowsインストーラー)] のカテゴリで、**openVPN-install-xxx.exe** リンクをダブルクリックします。
10. Open VPNソフトウェアをPCにダウンロードしてインストールするには、**openVPN-install-xxx.exe** ファイルをクリックします。



11. [次へ] ボタンをクリックします。
12. 使用許諾契約書を読み、[I Agree (同意する)] ボタンをクリックします。



13. 図に示すようにチェックボックスを選択した状態にして、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。

14. インストール先フォルダーを指定するには、【Browse（参照）】ボタンをクリックし、インストール先フォルダーを選択します。



15. 【Install（インストール）】ボタンをクリックします。

ウィンドウにインストールの進行状況が表示され、その次に、最後のインストールページが表示されます。



16. 【完了】ボタンをクリックします。

17. ダウンロードした設定ファイルを解凍し、VPNクライアントがインストールされている、機器上のフォルダーにコピーします。

Windows64ビットシステムのクライアント機器の場合、VPNクライアントはデフォルトではC:\Program files\OpenVPN\config\にインストールされています。

18. Windowsのクライアント機器の場合は、VPNインターフェイス名をNETGEAR-VPNに変更します。

- PCで、【ネットワーク】ページに移動します。Windows10を使用している場合は、【コントロールパネル】>【ネットワークと共有センター】>【アダプターの設定を変更】を選択します。
- ローカルエリア接続のリストで、機器名が**TAP-Windows Adapter**であるローカルエリア接続を見つけます。
- そのローカルエリア接続を選択し、接続の名前（機器名とは異なります）を**NETGEAR-VPN**に変更します。

VPNを使用したネットワークへのアクセス

VPNインターフェイス名を変更しないと、VPNトンネル接続が失敗します。

Windows PCでのOpenVPNの使用の詳細については、

<https://openvpn.net/index.php/open-source/documentation/howto.html#quick>を参照してください（英語）。

MacへのOpenVPNソフトウェアのインストール

OpenVPNソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各Macにインストールする必要があります。

▶VPNクライアントソフトウェアをMacにインストールします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [VPNサービス] を選択します。
[VPNサービス] ページが表示されます。
5. [VPNサービスを有効にする] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ページで任意のVPNサービス設定を指定します。
詳細については、[ルーターでのVPNサービスの設定](#)（136ページ）を参照してください。
7. [Mac OS X] ボタンをクリックし、OpenVPNの設定ファイルをダウンロードします。
8. <https://tunnelblick.net/index.html>にアクセスし、Mac OS X用のOpenVPNクライアントユーティリティをダウンロードします。
9. ファイルをダウンロードしてインストールします。
10. ダウンロードした設定ファイルを解凍し、VPNクライアントがインストールされている、機器上のフォルダーにコピーします。
クライアントユーティリティのインストールは、管理者権限を持つユーザーが行う必要があります。
MacでのOpenVPNの使用の詳細については、
<https://openvpn.net/index.php/access-server/docs/admin-guides/183-how-to-connect-to-access-server-from-a-mac.html>を参照してください（英語）。

iOSデバイスへのOpenVPNソフトウェアのインストール

OpenVPNソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各iOSデバイスにインストールする必要があります。

▶VPNクライアントソフトウェアをiOSデバイスにインストールします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [VPNサービス] を選択します。
[VPNサービス] ページが表示されます。
5. [VPNサービスを有効にする] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ページで任意のVPNサービス設定を指定します。
詳細については、[ルーターでのVPNサービスの設定](#)（136ページ）を参照してください。
7. [スマートフォン用] ボタンをクリックし、OpenVPNの設定ファイルをダウンロードします。
8. iOSデバイスで、Apple社のApp StoreからOpenVPN Connectアプリをダウンロードしてインストールします。
9. PCで、ダウンロードした設定ファイルを解凍してiOSデバイスに送信します。
.ovpnファイルを開くと、アプリのリストが表示されます。OpenVPN Connectアプリを選択して.ovpnファイルを開きます。
iOSデバイスでのOpenVPNの使用の詳細については、
http://www.vpngate.net/en/howto_openvpn.aspx#iosを参照してください（英語）。

AndroidデバイスへのOpenVPNソフトウェアのインストール

OpenVPNソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各Androidデバイスにインストールする必要があります。

▶VPNクライアントソフトウェアをAndroidデバイスにインストールします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [VPNサービス] を選択します。
[VPNサービス] ページが表示されます。
5. [VPNサービスを有効にする] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ページで任意のVPNサービス設定を指定します。
詳細については、[ルーターでのVPNサービスの設定](#) (136ページ) を参照してください。
7. [スマートフォン用] ボタンをクリックし、OpenVPNの設定ファイルをダウンロードします。
8. Androidデバイスで、Google PlayストアからOpenVPNConnectアプリをダウンロードしてインストールします。
9. PCで、ダウンロードした設定ファイルを解凍してAndroidデバイスに送信します。
10. Androidデバイスでファイルを開きます。
11. OpenVPN Connectアプリを使用して.ovpnファイルを開きます。
AndroidデバイスでのOpenVPNの使用の詳細については、
http://www.vpngate.net/en/howto_openvpn.aspx#androidを参照してください（英語）。

Windows PCでのVPNトンネルの使用

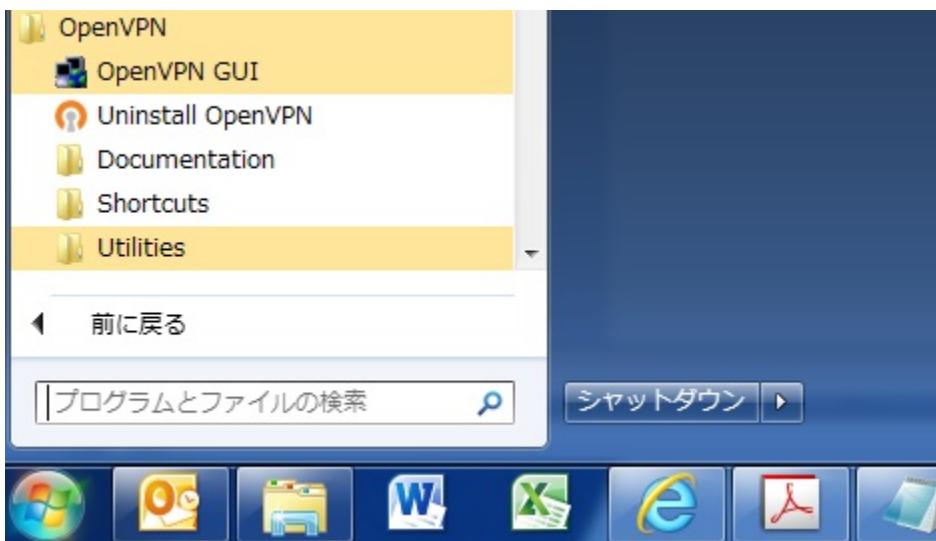
VPNを使用するようにルーターを設定し、PCにOpenVPNアプリケーションをインストールしたら、インターネット経由でPCからルーターまでVPNトンネルを開くことができます。

VPNトンネルが正しく機能するためには、リモートのルーターのローカルLANIPアドレスで使われているLANIP方式が、VPNクライアントPCが接続されているローカルLANのLANIP方式とは異なっている必要があります。両方のネットワークが同じLAN IP方式を使用していると、VPNトンネルが確立されたときにOpenVPNソフトウェアで家庭のルーターやホームネットワークにアクセスすることができません。

ルーターのデフォルトのLANIPアドレス方式は、192.x.x.xです。最もよく使われるIP方式は、192.x.x.x、172.x.x.x、および10.x.x.xです。競合が発生する場合は、ホームネットワークのIP方式、またはVPNクライアントPCが属するネットワークのIP方式のいずれかを変更してください。これらの設定の変更については、[LAN TCP/IP設定の変更](#) (54ページ) を参照してください。

▶VPNトンネルを開きます。

- 管理者権限を使用してOpenVPNアプリケーションを起動します。



Windowsタスクバーに [OpenVPN] アイコンが表示されます。

ヒント VPNプログラムへのショートカットを作成してから、そのショートカットを使用して設定にアクセスし、[管理者として実行] チェックボックスを選択します。こうすると、このショートカットを使用するたびに、OpenVPNが管理者権限で自動的に実行されます。

- [OpenVPN] アイコンを右クリックします。



- [接続] を選択します。

VPN接続が確立されます。次のことを実行できます。

- ウェブブラウザーを起動し、ルーターにログインする。
- Windowsファイルマネージャーを使用してルーターのUSB対応機器にアクセスし、ファイルをダウンロードする。

ルーターのUSB対応機器とメディアへのVPNを使用したアクセス

▶ USB対応機器にアクセスしてファイルをダウンロードします。

1. Windowsファイルマネージャーで、[ネットワーク]を選択します。

ネットワークリソースが表示されます。ReadySHAREのアイコンは[コンピューター]のセクションにあり、リモートルーターのアイコンは[メディア機器]のセクション（ルーターでDLNAが有効になっている場合）にあります。



注 ネットワークの表示方法については、コンピューターのマニュアルを参照してください。

2. アイコンが表示されていない場合は、[更新]ボタンをクリックして画面を更新します。ローカルLANとリモートLANが同じIP方式を使用していると、リモートのルーターアイコンは[メディア機器]や[ネットワークインフラストラクチャ]のセクションに表示されません。
3. USBドライブにアクセスするには、[ReadySHARE]アイコンをクリックします。
4. ルーターのネットワーク上にあるメディアにアクセスするには、リモートルーターのアイコンをクリックします。

VPNを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス

外出先でインターネットにアクセスするときには、通常、ローカルのインターネットサービスプロバイダーを使用します。例えば、コーヒーショップでは、その店のインターネットサービスアカウントを使用してウェブページを閲覧できるようにするコードが提供されることがあります。

本ルーターでは、外出しているときに、VPN接続を使用して、自分が利用中のインターネットサービスにアクセスできます。家で使用しているインターネットサービスが利用できない場所に旅行する場合などでも使えます。

ルーターでのVPNクライアントインターネットアクセスの設定

デフォルトでは、ルーターはホームネットワークに対するVPN接続のみを許可するように設定されていますが、インターネットアクセスを許可するように設定を変更できます。VPN経由でリモートからインターネットにアクセスすると、インターネットに直接アクセスするより速度が遅い場合があります。

▶VPNクライアントに自宅のホームネットワークの使用を許可します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [VPNサービス] を選択します。
VPNのページが表示されます。
5. [VPNサービスを有効にする] ラジオボタンを選択します。
6. [クライアントはアクセスにこのVPN接続を使用します。] セクションまで下にスクロールして、[インターネットおよびホームネットワーク上のすべてのサイト] ラジオボタンを選択します。
ローカルのインターネットサービスを使用する代わりにVPN接続を使用してインターネットにアクセスするときには、ホームネットワークからインターネットサービスを使用します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
8. [Windows] ボタンまたは [Mac OS X] ボタンをクリックし、VPNクライアント用の設定ファイルをダウンロードします。
9. 設定ファイルを解凍し、VPNクライアントがインストールされている、機器上のフォルダーにコピーします。
Windows 64ビットシステムのクライアント機器の場合、VPNクライアントはデフォルトではC:\Program files\OpenVPN\config\にインストールされています。

ルーターでのVPNクライアントインターネットアクセスの禁止

デフォルトでは、ルーターは、ホームネットワークへのVPN接続だけを許可し、ホームネットワーク用のインターネットサービスへのVPN接続は許可しないように設定されています。この設定は、インターネットアクセスを許可するように変更しても、元に戻すことができます。

▶VPNクライアントにホームネットワークへのアクセスのみを許可します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

VPNを使用したネットワークへのアクセス

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [VPNサービス] を選択します。
[VPN] ページが表示されます。
5. [VPNサービスを有効にする] ラジオボタンを選択します。
6. [クライアントはアクセスにこのVPN接続を使用します。] セクションまで下にスクロールして、
[ホームネットワークのみ] ラジオボタンを選択します。
これはデフォルトの設定です。VPN接続は、ホームネットワークに対してのみで、ホームネットワーク用のインターネットサービスに対しては許可されません。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
8. [Windows] ボタンまたは [Mac OS X] ボタンをクリックし、VPNクライアント用の設定ファイルをダウンロードします。
9. 設定ファイルを解凍し、VPNクライアントがインストールされている、機器上のフォルダーにコピーします。
Windows64ビットシステムのクライアント機器の場合、VPNクライアントはデフォルトではC:\Program files\OpenVPN\config\にインストールされています。

VPNトンネルを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス

▶自宅のホームネットワークにアクセスします。

1. 自宅のホームネットワークへのVPNアクセスを許可するようにルーターを設定します。
[ルーターでのVPNクライアントインターネットアクセスの設定](#) (145ページ) を参照してください。
2. PCで、OpenVPNアプリケーションを起動します。
Windowsタスクバーに [OpenVPN] アイコンが表示されます。
3. アイコンを右クリックし、 [接続] をクリックします。
4. VPN接続が確立されたら、インターネットブラウザーを開きます。

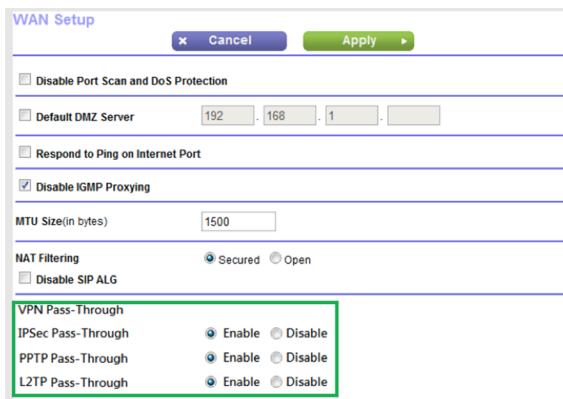
VPNパススルー設定の変更

この機能を使用できるのは、ブラジル、ロシア、インド、中国（BRIC地域）のみです。

ルーターでネットワークアドレス変換（NAT）が有効になっていると、暗号化されたトンネルパケットがNATでフィルタリングされ、それらのパケットが無効になります。VPNパススルーを使用すると、暗号化されたトンネルパケットがフィルタリングされずに通過し、IPSec、PPTP、L2TPのパケットでデフォルトで有効になります。特定の理由がない限り、IPSec、PPTP、またはL2TPでVPNパススルーを無効にしないでください。

▶VPNパススルー設定を変更します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [設定] > [WAN設定] を選択します。



5. 1つ以上のプロトコルでVPNパススルーを無効にする場合は、[VPNパススルー] セクションで対応する【無効にする】ラジオボタンを選択します。
デフォルトでは、ルーターがパススルーをサポートするすべてのプロトコル (IPSec、PPTP、L2TP) でVPNパススルーが有効になっています。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ポートのインターネットトラフィックルールのカスタマイズ **13**

ポート転送とポートトリガーを使用して、インターネットトラフィックのルールを設定できます。これらの機能を設定するには、ネットワークの知識が必要です。

この章には次の内容が含まれます。

- ローカルサーバーへのポート転送 (149ページ)
- ポートトリガー (152ページ)

ローカルサーバーへのポート転送

ホームネットワークにサーバーが含まれている場合、特定のタイプの受信トラフィックがサーバーに到達することを許可できます。例えば、ローカルのウェブサーバー、FTPサーバー、ゲームサーバーをインターネットから表示でき、使用できるようにすることもできます。

ルーターは、特定のプロトコルを使用する受信トラフィックを、ローカルネットワーク上のPCに転送できます。アプリケーション用のサーバーの指定が可能で、ルーターがその他の受信プロトコルすべてを転送する宛先となるデフォルトDMZサーバーを指定することもできます。

ローカルサーバーへのポート転送の設定

▶特定の受信プロトコルを転送します。

1. どのタイプのサービス、アプリケーション、またはゲームを提供するかを決めます。
2. サービスを提供する、ネットワーク上のPCのローカルIPアドレスを調べます。
この情報は通常、アプリケーションの提供者、ユーザーグループ、またはニュースグループに問い合わせることで確認できます。
サーバーコンピューターは常に同じIPアドレスを使用する必要があります。
3. サーバーコンピューターに予約IPアドレスを割り当てます。
[予約LAN IPアドレスの管理](#) (57ページ) を参照してください。
4. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
5. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
6. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
7. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー] を選択します。

#	サービス名	外部ポート	内部ポート	サーバーIPアドレス
	FTP	192.168.1.1		

[サービスの編集](#) [サービスの削除](#) [カスタムサービスの追加](#) [内部IPでアレンジ](#)

8. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
9. [サービス名] ドロップダウンリストで、サービス名を選択します。
追加するサービスがドロップダウンリストに含まれていない場合は、カスタムサービスを作成します。[ポート転送の追加](#) (150ページ) を参照してください。

10. [サーバーIPアドレス] の欄に、サービスを提供するPCのIPアドレスを入力します。
11. [追加] ボタンをクリックします。

リストにサービスが表示されます。

ポート転送の追加

▶ポート転送を追加します。

1. アプリケーションが使用するポート番号または番号の範囲を確認します。
この情報は通常、アプリケーションの提供者、ユーザーグループ、またはニュースグループに問い合わせることで確認できます。
2. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
3. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
5. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー] を選択します。
[ポート転送/ポートトリガー] ページが表示されます。
6. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
7. [カスタムサービスの追加] ボタンをクリックします。
[ポート転送 - カスタムサービス] ページが表示されます。
8. [サービス名] 欄に、サービスの名前を入力します。
9. [プロトコル] ドロップダウンリストで、プロトコルを選択します。
不明な場合は、 [TCP/UDP] を選択してください。
10. [外部ポート範囲] フィールドにポート範囲を入力します。
11. 次のどちらかの方法で、内部ポートを指定します。
 - [内部ポートに同じポート範囲を使用] チェックボックスを選択した状態にします。
 - [内部開始ポート] フィールドと [内部終了ポート] フィールドにポート番号を入力します。ポート範囲と固定ポートは1つのルールで入力できます。例えば、外部 (30-50, 78, 100-102) 、内部 (40-60, 99, 200-202) のようになります。このルールでは、外部ポート30-50は内部ポート40-60に転送されます。
12. [サーバーIPアドレス] 欄にIPアドレスを入力するか、表に示されている接続機器のラジオボタンを選択します。
13. [適用] ボタンをクリックします。
これでサービスが [ポート転送/ポートトリガー] ページのリストに表示されるようになります。

ポート転送の編集

▶ポート転送を編集します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー] を選択します。
[ポート転送/ポートトリガー] ページが表示されます。
5. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
6. 表から、サービス名の横にあるラジオボタンを選択します。
7. [サービスの編集] ボタンをクリックします。
[ポート転送 - カスタムサービス] ページが表示されます。
8. 必要に応じて設定を変更します。
9. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ポート転送の削除

▶ポート転送を削除します。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー] を選択します。
[ポート転送/ポートトリガー] ページが表示されます。
5. [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
6. 表から、サービス名の横にあるラジオボタンを選択します。
7. [サービスの削除] ボタンをクリックします。
サービスが削除されます。

適用例：ローカルウェブサーバーの公開

ローカルネットワークでウェブサーバーをホストしている場合、ポート転送を使用して、インターネット上の任意のユーザーからのウェブリクエストがウェブサーバーに到達できるようにします。

▶ローカルウェブサーバーを公開します。

1. ウェブサーバーに、固定IPアドレスを割り当てるか、DHCPアドレス予約を使用して動的IPアドレスを割り当てます。
この例では、ルーターは常に、ウェブサーバーに対してIPアドレス192.168.1.33を指定します。
2. [ポート転送/ポートトリガー] ページで、**192.168.1.33**にあるウェブサーバーのローカルアドレスにHTTPサービスを転送するようにルーターを設定します。
HTTP（ポート80）は、ウェブサーバーの標準プロトコルです。
3. （オプション）ダイナミックDNSサービスを使用してホスト名を登録し、ルーターの [ダイナミックDNS] ページでその名前を指定します。
ダイナミックDNSによって、インターネットブラウザーに名前を入力可能になるため、インターネットからサーバーへのアクセスが大幅に容易になります。この方法を使用しない場合は、プロバイダーが割り当てたIPアドレスを知っておく必要があり、一般に、このアドレスは変化します。

ルーターでのポート転送ルールの実行方法

次の手順は、ポート転送ルールを設定する効果を説明しています。

1. ブラウザーにURLとして「www.example.com」と入力すると、ブラウザーは以下の宛先情報とともにウェブページリクエストメッセージを送信します。
 - ターゲットアドレス：www.example.comのIPアドレスで、これはルーターのアドレスです。
 - ターゲットポート番号：80です。これがウェブサーバープロセスの標準ポート番号です。
2. ルーターはメッセージを受信し、受信ポート80のトラフィックに関するポート転送ルールを見つけます。
3. ルーターはメッセージ内の宛先をIPアドレス192.168.1.123に変更し、メッセージをそのPCに送信します。
4. IPアドレス192.168.1.123にあるウェブサーバーがリクエストを受信し、ルーターに応答メッセージを送信します。
5. ルーターがソースIPアドレスに対するネットワークアドレス変換（NAT）を実行し、ウェブページリクエストを送信したPCまたは無線LAN子機に、インターネット経由で応答を送信します。

ポートトリガー

ポートトリガーは、以下の場合に役立つ動的なポート転送の拡張機能です。

- アプリケーションがポート転送を複数のローカルPCに対して使用する必要がある（ただし同時に使うしない）。
- アプリケーションが、送信ポートとは異なる受信ポートを開く必要がある。

ポートトリガーの使用時に、ルーターはユーザーが指定した送信“トリガー”ポートからインターネットに向かうトラフィックを監視します。そのポートからの送信トラフィックについて、ルーターはトラフィックを送信したPCのIPアドレスを保存します。ルーターは、受信ポートまたはユーザーがルールで指定したポートを一時的に開き、その受信トラフィックを宛先に転送します。

ポート転送では、ポート番号またはポートの範囲から、単一のローカルPCへの静的なマッピングが作成されます。ポートトリガーは、必要なときに任意のPCに対して動的にポートを開き、必要でなくなったときにポートを閉じることができます。

注 マルチプレイヤーゲーム、ピアツーピア接続、またはインスタントメッセージングやリモートアシスタンス（Windows XPの機能）といったリアルタイムコミュニケーションのアプリケーションを使用する場合は、UPnP（Universal Plug and Play）を有効にしてください。[Universal Plug and Playによるネットワーク接続の改善](#)（80ページ）を参照してください。

ポートトリガーの追加

▶ポートトリガーサービスを追加します。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー] を選択します。
[ポート転送/ポートトリガー] ページが表示されます。
5. [ポートトリガー] ラジオボタンを選択します。
ページの表示が変更されます。
6. [サービスの追加] ボタンをクリックします。
7. [サービス名] 欄に、サービスの名前を入力します。
8. [サービスユーザー] ドロップダウンリストから、ユーザーオプションを選択します。
 - [すべて]（デフォルト）を選択すると、インターネット上のどのPCもこのサービスの使用を許可されます。
 - [單一アドレス]を選択すると、サービスは特定のPCに限定されます。
9. [サービスタイプ] ドロップダウンリストから、[TCP] または [UDP] または [TCP/UDP]（両方）を選択します。
不明な場合は、[TCP/UDP]を選択してください。
10. [トリガーポート] 欄に、受信ポートを開く送信トラフィックのポート番号を入力します。

11. [接続タイプ]、[開始ポート]、[終止ポート]欄に、受信接続情報を入力します。

12. [適用] ボタンをクリックします。

これでサービスがポートマップ表に表示されるようになります。ルーターがポートトリガーを使用する前に、ポートトリガーを有効にする必要があります。[ポートトリガーの有効化](#) (154ページ) を参照してください。

ポートトリガーの有効化

▶ポートトリガーを有効にします。

1. ネットワークに接続されているコンピューターやモバイルデバイスでウェブブラウザーを開きます。

2. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー] を選択します。

[ポート転送/ポートトリガー] ページが表示されます。

5. [ポートトリガー] ラジオボタンを選択します。

6. [ポートトリガーを無効にする] チェックボックスのチェックを外します。

このチェックボックスが選択されると、ポートトリガーの設定を指定した場合でも、ルーターはポートトリガーを使用しません。

7. [ポートトリガーのタイムアウト時間] 欄に、最大9999分の値を入力します。

ルーターでアクティビティが検出されないときに受信ポートが開いたままになる時間をここで設定できます。ルーターはアプリケーションがいつ終了したかを検出できないため、この値を必ず指定する必要があります。

8. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

適用例：インターネットリレーチャットのための

FTPサーバーやIRCサーバーなどの一部のアプリケーションサーバーは、複数のポート番号に応答を送信します。ポートトリガーを使用すると、特定の送信ポートのセッション開始後に、より多くの受信ポートを開くようにルーターに指示できます。

例となるのはインターネットリレーチャット (IRC) です。PCは宛先ポート6667でIRCサーバーに接続します。IRCサーバーはソースポートに応答するだけでなく、ポート113でPCに“識別”メッセージも送信します。ポートトリガーを使用するときには、「宛先ポート6667でセッションを開始するときに、送信元コンピューターに接続するためにポート113でトラフィックの受信を許可する必要もある」ことを、ルーターに指示できます。次の手順は、このポートトリガールールの影響を説明しています。

1. PCで、IRCクライアントプログラムを開いてチャットセッションを開始します。
2. IRCクライアントは、宛先ポート番号として、IRCサーバープロセスの標準ポート番号である6667を使用して、IRCサーバーに対するリクエストメッセージを作成します。ご利用のコンピュータはこのリクエストメッセージをあなたのルーターに送ります。
3. ルーターは、内部セッションテーブルに、PCとIRCサーバー間の通信セッションについて記述するエントリを作成します。ルーターは本来の情報を保存し、ソースアドレスとポートでNATを実行し、このリクエストメッセージをインターネット経由でIRCサーバに送ります。
4. ルーターは、ユーザーのポートトリガールールを認識し、宛先ポート番号6667を観察して、ポート113の受信トラフィックをすべてPCに送信する別のセッションエントリを作成します。
5. IRCサーバーは、NATに割り当てられたソースポート（例：ポート33333）を宛先ポートとして使用してルーターに応答メッセージを送信し、宛先ポート113を使用してルーターに“識別”メッセージを送信します。
6. ルーターは、宛先ポート33333へのメッセージを受信すると、セッションテーブルをチェックし、ポート番号33333のセッションがアクティブかどうかを確認します。アクティブセッションを見つけると、ルーターはNATにより置き換えられた本来のアドレス情報を復元し、この応答メッセージをあなたのコンピュータに送ります。
7. ルーターは、宛先ポート113への受信メッセージを受信すると、セッションテーブルをチェックし、ポート番号113でPCと関連付けられているアクティブセッションを検出します。ルーターはメッセージのターゲットIPアドレスをあなたのコンピュータのIPアドレスアドレスで置き換え、メッセージをあなたのコンピュータに転送します。
8. チャットセッションが終了したら、ルーターは最終的に通信中に動作していない時間を検出します。このあと、ルーターはセッション情報をセッションテーブルから削除し、ポート番号33333または113では受信トラフィックが受理されなくなります。

トラブルシューティング

14

この章では、ルーターで発生する可能性のある問題の診断と解決に役立つ情報を提供します。この章で解決策が見つからない場合は、<http://support.netgear.com>にあるNETGEARサポートサイトで製品や連絡先の情報をご確認ください。

この章には次の内容が含まれます。

- トラブルシューティングのヒント (157ページ)
- LEDを使用したトラブルシューティング (157ページ)
- ルーターにログインできない (159ページ)
- インターネットにアクセスできない (160ページ)
- インターネット閲覧のトラブルシューティング (161ページ)
- 変更が保存されない (161ページ)
- 無線LAN接続のトラブルシューティング (162ページ)
- pingユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング (162ページ)
- Plexアカウントへのログイン時の404エラーメッセージに対するトラブルシューティング (164ページ)

トラブルシューティングのヒント

このセクションでは、一般的ないくつかのトラブルシューティングのヒントを示します。

ネットワークを再起動する手順

ネットワークを再起動する必要がある場合は、以下の手順に従います。

1. モデムの電源を切り、電源コードを抜きます。
2. ルーターの電源をオフにします。
3. モデムの電源コードを接続し、電源を入れます。2分間待ちます。
4. ルーターの電源を入れ、2分間待ちます。

LANケーブルの接続の確認

デバイスの電源が入らない場合、LANケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認します。イーサネットケーブルがルーターに接続され、モデムがしっかりと接続されており、モデムとルーターの電源が入っている場合、ルーターのインターネットLEDが点灯します。電源が入っているPCがLANケーブルでルーターに接続されている場合、対応する番号のLANポートLEDが点灯します。

ワイヤレス設定

コンピューターとルーターのWiFi設定が完全に一致しているかどうか確認してください。ルーターとPCなどの無線LAN子機のネットワーク名（SSID）とセキュリティ設定が、一致している必要があります。

アクセス制御を設定した場合は、各無線LAN子機のMACアドレスを、ルーターのアクセス制御に追加する必要があります。

ネットワーク設定

子機のネットワーク設定が正しいことを確認します。有線接続の子機や無線LAN接続の子機は、ルーターと同じネットワーク上のネットワークIPアドレスを使用する必要があります。最も簡単な方法は、DHCPを使用してIPアドレスを自動的に取得するようにそれぞれの子機を設定することです。

一部のプロバイダーでは、最初にアカウントに登録された子機のMACアドレスを使用する必要があります。MACアドレスは、[接続デバイス] ページで参照できます。

LEDを使用したトラブルシューティング

デフォルトでは、ルーターはLEDをオンにするよう設定されています。電源LEDを除くLEDをオフにした場合、トラブルシューティングを行うには、LEDをオンにする設定に戻す必要があります。LED設定の制御方法については、[LEDのオン/オフの切り替え](#) (15ページ) を参照してください。

ルーターの電源を入れたときのLEDの動作

ルーターの電源を入れた後、LEDが以下のように動作することを確認します。

1. 最初に電源を入れたときに、電源LEDが点灯することを確認します。
2. 約2分経過したら、以下のことを確認します。
 - 電源LEDが白色点灯である。
 - インターネットLEDが点灯している。
 - 無線LANをオフにしていなければ無線LAN LEDが点灯している。

ルーター前面のLEDをトラブルシューティングに使用できます。

電源LEDが消灯または点滅している

これにはいくつかの原因が考えられます。以下のことを確認してください。

- 電源アダプターがルーターにしっかりと接続されていて、コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- 製品本体に同梱の電源アダプターを使用していることを確認します。
- 電源LEDがゆっくり続けて点滅する場合、ルーターのファームウェアが破損しています。これは、ファームウェアアップグレードの破損やルーターがファームウェアに問題をみとめた場合に起こる可能性があります。エラーが解決されない場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。復元の手順やハードウェアの問題に関するサポートについては、<http://www.netgear.jp/supportInfo/>でテクニカルサポートにお問い合わせください。

LEDが消灯しない

ルーターの電源を入れると、LEDは約10秒間点灯し、その後消灯します。すべてのLEDが点灯したままの場合、ルーター内部の障害を示しています。

電源をオンにした後1分たってもすべてのLEDが点灯している場合は、以下を実行してください。

- 電源を切ってから再度入れてみて、ルーターが正常に戻るかどうか確認してください。
- リセットボタンを長押しして、ルーターを工場出荷時の設定に戻します。詳細については、[工場出荷時の設定](#)（166ページ）を参照してください。

エラーが解決されない場合は、ハードウェアの問題が原因である可能性があります。

<http://www.netgear.jp/supportInfo/>にアクセスしてテクニカルサポートにお問い合わせください。

インターネットまたはLANポートのLEDが消灯している

イーサネット接続が行われたときにLANポートLEDまたはインターネットLEDが点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- イーサネットケーブル接続が、ルーター側とモデムまたはコンピュータ側でしっかりと確立されているかどうかを確認してください。
- 接続したモデムやPCの電源が入っていることを確認します。
- 正しいケーブルを使っていることを確認します。

ルーターのインターネットポートをモデムに接続するときには、モデムに付属していたケーブルを使用してください。このケーブルは、標準のストレートLANケーブルまたはイーサネットクロスケーブルです。

無線LAN LEDが消灯している

無線LAN LEDが消灯したままの場合、ルーター上の無線LANオン/オフボタンが押されていないか確認してください。このボタンでルーターの無線機能のオン/オフが切り替わります。無線LANがオンのときに無線LAN LEDが点灯します。

ルーターにログインできない

ローカルネットワークのコンピュータからルーターにログインできない場合は、以下を点検してください。

- 有線で接続している場合は、コンピューターとルーターの間のケーブルを確認します。
- コンピューターのIPアドレスが、ルーターと同じサブネット上にあることを確認します。推奨されるアドレス方式を使用している場合、PCのアドレスは192.168.1.2から192.168.1.254までの範囲内になります。
- 子機のIPアドレスが169.254.x.xのように表示される場合、新しいバージョンのWindows OSやMac OSでは、子機がDHCPサーバーに到達できないときにIPアドレスを生成し、割り当てます。これらの自動生成されたアドレスは169.254.x.xの範囲内になります。IPアドレスがこの範囲内にある場合は、コンピュータからルーターへの接続を確認し、コンピュータを再起動してください。
- ルーターのIPアドレスが変更され、現在のIPアドレスが分からぬ場合は、ルーターの設定を工場出荷時の初期設定に戻してください。初期化すると、ルーターのIPアドレスが192.168.1.1に戻ります。詳細については、[工場出荷時の設定](#)（166ページ）を参照してください。
- ブラウザーでJava、JavaScript、またはActiveXが有効になっていることを確認します。Internet Explorerを使用している場合は、[\[更新\]](#)ボタンをクリックして、Javaアプレットが確実に読み込まれるようにします。
- ブラウザーを終了し、もう一度起動してみてください。
- 正しいログイン情報を使用していることを確認します。ユーザー名は「**admin**」で、デフォルトパスワードは「**password**」です。この情報を入力するときにCaps Lockがオフになっていることを確認してください。
- ネットワーク上で、ADSLゲートウェイの代替としてNETGEARルーターを設定しようとしている場合、ルーターは多くのゲートウェイサービスを実行することができません。例えば、ルーターはADSLデータやケーブルデータをイーサネットネットワーク情報に変換できません。NETGEARはそのような設定をサポートしていません。

インターネットにアクセスできない

ルーターにアクセスできてもインターネットにはアクセスできない場合は、ルーターがインターネットサービスプロバイダー（ISP）からIPアドレスを取得できるかどうかを確認してください。プロバイダが固定IPアドレスを提供している場合を除き、ルーターはプロバイダにIPを要求します。NETGEAR genieの高度なホームページを使用して、リクエストが成功したかどうかを判断できます。

► WAN IPアドレスを調べます。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でウェブブラウザーを開きます。
2. netgear.comなどの外部サイトを選択します。
3. 「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。
ログインウィンドウが開きます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genieの基本ホームページが表示されます。
5. [高度] タブをクリックします。
NETGEAR genieの高度なホームページが表示されます。
6. インターネットポートのIPアドレスが表示されることを確認します。0.0.0.0が表示される場合、ルーターはプロバイダーからIPアドレスを取得していません。

ルーターがプロバイダーからIPアドレスを取得できない場合は、ネットワークを再起動することで、ケーブルモデムやDSLモデムに新しいルーターを強制的に認識させる必要が生じことがあります。詳細については、[ネットワークを再起動する手順](#)（157ページ）を参照してください。

それでもルーターがプロバイダからIPを取得できない場合、以下のいずれかの問題が考えられます。

- ご利用のプロバイダーではログインプログラムが必要な可能性があります。プロバイダーに、PPPoE（PPP over Ethernet）やその他のタイプのログインが必要かどうかをお問い合わせください。
- プロバイダーでログインが必要な場合、ログイン名とパスワードが正しく設定されていない可能性があります。
- プロバイダーがご利用のPCのホスト名を調べている可能性があります。[インターネット設定] ページで、プロバイダーアカウントのPCホスト名をアカウント名として割り当ててください。
- プロバイダーで許可される、インターネットに接続するためのイーサネットMACアドレスが1つだけで、PCのMACアドレスを調べている場合は、以下のいずれかを実行します。
 - 新しいネットワーク機器を購入したことをプロバイダーに連絡し、ルーターのMACアドレスを使用するように依頼します。
 - コンピュータのMACアドレスをクローンするよう、ルーターを構成してください。

ルーターがIPアドレスを取得していても、ウェブページが表示できない場合、以下の1つ以上の原因による可能性があります。

- PCがどのDNSサーバーのアドレスも認識していない可能性があります。

トラブルシューティング

DNSサーバーは、インターネット名（wwwアドレスなど）を数値のIPアドレスに変換するインターネット上のホストです。一般に、プロバイダーはユーザーが使用するために、1台または2台のDNSサーバーのアドレスを提供します。ルーターの設定中にDNSアドレスを入力した場合は、PCを再起動し、DNSアドレスを確認します。OSのマニュアルで説明されているように、手動でDNSアドレスを指定してPCを設定できます。

- お使いのPCでルーターがTCP/IPゲートウェイとして設定されていない可能性があります。
PCがDHCPによってルーターから情報を取得する場合、PCを再起動し、ゲートウェイアドレスを確認します。
- 必要でなくなったログインソフトウェアを実行している可能性があります。
ご利用のプロバイダがインターネットへのログイン用プログラム (WinPoETなど) を提供している場合、ルーターをインストールした後は、このソフトウェアは不要となります。Internet Explorerに移動し、[ツール] > [インターネットオプション] と選択し、[接続] タブをクリックして、[ダイヤルしない] を選択する必要がある場合があります。ほかのブラウザーにも類似のオプションが用意されています。

インターネット閲覧のトラブルシューティング

ルーターがIPアドレスを取得できていっても、ウェブページが表示できない場合は、以下の原因による可能性があります。

- トラフィックメーターが有効になっていて、限度に達しました。
トラフィック制限に達してもトラフィックメーターがインターネットアクセスをブロックしないよう設定すれば、インターネットアクセスを再開できます。プロバイダーが使用制限を設定している場合は、超過分に対して課金されることがあります。
- PCがどのDNSサーバーのアドレスも認識していない可能性があります。DNSサーバーは、インターネット名（wwwアドレスなど）を数値のIPアドレスに変換するインターネット上のホストです。一般に、プロバイダーはユーザーが使用するために、1台または2台のDNSサーバーのアドレスを提供します。ルーターの設定中にDNSアドレスを入力した場合は、コンピュータを再起動してください。または、お使いのPCのマニュアルを参照し、手動でDNSアドレスを指定してPCを設定できます。
- お使いのPCでルーターがデフォルトゲートウェイとして設定されていない可能性があります。
コンピュータを再起動し、ルーターアドレス (www.routerlogin.net) がデフォルトゲートウェイアドレスとしてコンピュータに表示されているかどうかを確認します。
- 必要でなくなったログインソフトウェアを実行している可能性があります。ご利用のプロバイダがインターネットへのログイン用プログラム (WinPoETなど) を提供している場合、ルーターをインストールした後は、このソフトウェアは不要となります。Internet Explorerに移動し、[ツール] > [インターネットオプション] と選択し、[接続] タブをクリックして、[ダイヤルしない] を選択する必要がある場合があります。ほかのブラウザーにも類似のオプションが用意されています。

変更が保存されない

ルーター管理Webページで行った変更がルーターに保存されない場合は、以下を実行します。

- 設定を入力するときには、別のページやタブに移動する前に必ず [適用] ボタンをクリックします。そうしないと変更内容が失われます。
- ウェブブラウザーで [更新] ボタンまたは [再読み込み] ボタンをクリックします。変更が行われても古い設定がウェブブラウザーのキャッシュに残っている可能性があります。

無線LAN接続のトラブルシューティング

ルーターへの無線LAN接続に問題が発生している場合は、問題の切り分けを行います。

- 使用しているPCや無線LAN子機では、無線LANネットワークが検出されていますか？ 検出されていない場合、ルーター前面の無線LANLEDを調べてください。LEDが消灯している場合は、ルーター上の**無線LANオン/オフ**ボタンを押し、ルーターの無線LANをオンにすることができます。ルーターのSSIDブロードキャストを無効にした場合、無線LANネットワークは非表示になり、無線LAN子機の一覧に表示されません。（デフォルトでSSIDブロードキャストは有効になっています。）
- 無線LAN子機は、無線LANネットワークのために使用しているセキュリティ（WPAやWPA2）をサポートしていますか？
- 現在のルーターのWi-Fiセキュリティを確認する場合は、イーサネットケーブルを使ってコンピュータをルーターのLANポートに接続します。次に、ルーターにログインして、**[基本] > [ワイヤレス]**を選択します。

注 設定を変更したら必ず **[適用]** ボタンをクリックしてください。

無線LAN子機がネットワークを検出しても、信号強度が弱い場合は、以下のような状態でないか確認してください。

- ルーターが無線LAN子機から離れすぎている、または近すぎていることはありませんか？ 無線LAN子機はルーターの近くに配置しますが、少なくとも1.8メートルは離して設置し、信号強度が向上するかどうかを確認します。
- ルーターと無線LAN子機の間に、ワイヤレス信号を遮る障害物がありませんか？

pingユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング

ほとんどのネットワーク機器やルーターには、指定した機器にエコー要求パケットを送信するpingユーティリティが用意されています。エコー要求が送られると、機器はエコー応答を返します。PCまたはワークステーションでpingユーティリティを使用して、簡単にネットワークのトラブルシューティングを行うことができます。

ルーターへのLANのパスのテスト

コンピュータからルーターをPingすることで、ルーターへのLANパスが正しく設定されているかを点検することができます。

► Windows PCからルーターにpingするには

- Windowsツールバーの**【スタート】**ボタンをクリックし、**【ファイル名を指定して実行】**を選択します。
- 次の例に示すように、表示される欄に**ping**に続けて、ルーターのIPアドレスを入力します。
ping www.routerlogin.net
- 【OK】**ボタンをクリックします。

次のようなメッセージが表示されます。

```
Pinging <IP address> with 32 bytes of data
```

パスが正しく機能していれば、次のようなメッセージが表示されます。

```
Reply from < IP address >: bytes=32 time=NN ms TTL=xxx
```

パスが正しく機能していない場合は、次のようなメッセージが表示されます。

```
Request timed out
```

パスが正しく機能していない場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。

- ケーブルの接続に不具合がある
有線接続の場合、接続したポートの番号が付いたLANポートLEDが点灯していることを確認してください。
使用中のネットワーク機器に対して、適切なLEDが点灯していることを確認してください。ルーターと子機が個別のイーサネットスイッチに接続されている場合は、子機とルーターに接続されているスイッチポートのリンクLEDが点灯していることを確認してください。
- ネットワーク設定に不具合がある
イーサネットカードのドライバーソフトウェアとTCP/IPソフトウェアがどちらも子機にインストールされ、設定されていることを確認してください。
ルーターとコンピュータのIPアドレスが正しく、同じサブネットであることを確認してください。

PCからリモート機器へのパスのテスト

▶ PCからリモート機器へのパスをテストします。

- Windowsツールバーの【スタート】ボタンをクリックし、【ファイル名を指定して実行】を選択します。

- Windowsの【ファイル名を指定して実行】ウィンドウで、次のように入力します。

```
ping -n 10 </IP address>
```

</IP address>には、プロバイダーのDNSサーバーのようなリモート機器のIPアドレスが入ります。

パスが正しく機能している場合は、[ルーターへのLANのパスのテスト](#)（162ページ）に示したようなメッセージが表示されます。

- 応答が受信されない場合は、以下のことを確認してください。

- ルーターのIPアドレスがPCのデフォルトゲートウェイとして表示されることを確認します。DHCPがPCのIP設定を割り当てている場合、この情報はPCの【ネットワーク】コントロールパネルには表示されません。ルーターのIPアドレスがデフォルトゲートウェイとして表示されているかどうか確認してください。
- PCのネットワークアドレス（サブネットマスクによって指定されるIPアドレスの部分）が、リモート機器のネットワークアドレスとは異なっていることを確認します。
- ケーブル modem または DSL modem が接続されていて、機能していることを確認します。
- プロバイダーが PC にホスト名を割り当てた場合は、【インターネット設定】ページで、そのホスト名をアカウント名として入力します。
- プロバイダーが、1台を除くすべてのPCのイーサネットMACアドレスを拒否している可能性があります。

多くのプロバイダーは、ブロードバンドモデムのMACアドレスからのトラフィックのみを許可することで、アクセスを制限しています。一部のプロバイダーではさらに、そのモデムに接続された1台のPCのMACアドレスへのアクセスも制限されます。ご利用のプロバイダーがそうしている場合は、承認済みPCのMACアドレスの"クローン"または"スプーフィング"を行うようにルーターを設定してください。

Plexアカウントへのログイン時の404エラーメッセージに対するトラブルシューティング

Plex Media Serverを使用して、ルーターに接続されている外付けUSBハードドライブに保存されている写真、ビデオ、オーディオファイルを管理することができます。ルーターは、ルーターモードとAPモードの両方でPlex Media Serverをサポートします。しかし、ルーターがAPモードである場合は、Windows 10を使用してPlexアカウントにログインしたときにエラー404のエラーメッセージが表示されることがあります。

▶ルーターでPlexを有効にした後に404エラーメッセージを解決するには

1. コンピューターのホーム画面で右下にあるネットワークアイコンを右クリックします。
2. [ネットワークと共有センター] > [アダプター設定の変更] を選択します。
3. ルーターに接続するネットワークアダプターを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
4. [接続プロパティ] ウィンドウで、[インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)] チェックボックスを選択解除し、[OK] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

この章には、ルーターの技術情報を記載しています。

この章には次の内容が含まれます。

- [工場出荷時の設定](#) (166ページ)
- [技術仕様](#) (167ページ)

工場出荷時の設定

ルーターを工場出荷時の設定に戻すことができます。ペーパークリップの端や、その他の細い物を使い、ルーター背面のリセットボタンを7秒間以上長押しします。ルーターはリセットされ、次の表に示す工場出荷時の設定に戻ります。

表 3 : 工場出荷時の初期設定

機能	デフォルトの設定	
ルーターログイン	ユーザーログインURL	www.routerlogin.comまたはwww.routerlogin.net
	ユーザー名（大文字と小文字を区別）	admin
	ログインパスワード（大文字と小文字を区別）	password
インターネット接続	MACアドレス	デフォルトのハードウェアアドレスを使う
	WAN MTUサイズ	1500
	ポート速度	自動検知
ローカルネットワーク (LAN)	LAN IP	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	DHCPサーバー	有効
	DHCP範囲	192.168.1.2～192.168.1.254
	タイムゾーン	国・地域により異なる
	DHCP開始IPアドレス	192.168.1.2
	DHCP終止IPアドレス	192.168.1.254
	DMZ	無効
	タイムゾーンを夏時間に合わせて調整	無効
	SNMP	無効
ファイアウォール	インバウンド（インターネットからの通信）	無効（ポート80のHTTPポートのトラフィックを除く）
	アウトバウンド（インターネットへの通信）	有効（すべて）
	ソースMACフィルタ	無効

表3:工場出荷時の初期設定(続き)

機能		デフォルトの設定
無線LAN	ワイヤレス通信	有効
	SSID名	ルーターラベルを参照
	セキュリティ	WPA2-PSK (AES)
	ブロードキャストSSID	有効
	転送速度	自動 ¹
	国/地域	国・地域により異なる
	RFチャンネル	国・地域により異なる
	動作モード	2.4 GHzで最大800 Mbps、5 GHzで1773 Mbps、60 GHzで4.6 Gbps

¹ IEEE標準802.11規格に基づく最大ワイヤレス信号速度です。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。

技術仕様

表4:ルーター仕様

機能	説明
データとルーティングプロトコル	TCP/IP、RIP-1、RIP-2、DHCP、PPPoE、PPTP、Bigpond、ダイナミックDNS、UPnP、SMB
電源アダプター	<ul style="list-style-type: none"> 北米：100 V、50/60 Hz入力 イギリス、オーストラリア：220 V、50/60 Hz入力 ヨーロッパ：100~240 V、50/60 Hz入力 すべての地域（出力）：19 V/3.16 ADC出力
サイズ	224 x 168 x 74 mm
重量	1865 g
動作温度	0~40 °C
動作湿度	最大90%、結露なきこと

表4:ルーター仕様(続き)

機能	説明
取得規格	FCC Part 15 Class B EN 55022 (CISPR 22)、Class B C-Tick N10947
LAN	RJ45: 10BASE-T, 100BASE-TX, 1000BASE-T
WAN	RJ45: 10BASE-T, 100BASE-TX, 1000BASE-T
10G SFP+ LANポート	SFP+:10GBase-SR, 10GBase-LR, 10GBase-LRM
無線LAN	最大無線LAN信号速度はIEEE802.11標準に準拠 ²
無線データ速度	自動速度探知
無線LAN規格	<ul style="list-style-type: none"> • IEEE® 802.11b/g/n 2.4 GHz 256 QAMのサポート • IEEE 802.11a/n/ac 5.0 GHz 256 QAMのサポート • IEEE 802.11ad 60 GHz
無線LANネットワークごとの最大PC数	ノードごとに生成される無線LANネットワークトラフィック量によって制限(通常は50~70ノード)
動作周波数範囲	AD7200 WiFi ³ <ul style="list-style-type: none"> • 2.4 GHz 256 QAMで最大800 Mbps • 5 GHz 11ac 256 QAMで最大1733 Mbps
802.11セキュリティ	WPA2-PSKおよびWPA/WPA2

² IEEE標準802.11規格に基づく最大ワイヤレス信号速度です。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境(ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど)が実際のデータ処理速度に影響します。

³ NETGEARは、本製品と将来標準化されるいかなる規格との互換性も保証しません。